

森林法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
森林法中改正法律案(政府提出)
林業種苗法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月十五日(水曜日)午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事長野 綱良君 理事馬岡 次郎君

理事池田 清秋君 理事小山田義孝君

松尾 四郎君 松浦周太郎君

伊藤 五郎君 深澤 吉平君

卯尾田毅太郎君 村瀬 武男君

松尾 孝之君 山川頼三郎君

中田 儀直君 伊東 岩男君

川俣 清音君 菊地養之輔君

小田 榮君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 松村 謙三君

農林省山林局長 村上富士太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

森林法中改正法律案(政府提出)

林業種苗法案(政府提出)

○小山委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、伊

東君ノ發言ヲ求メマス

○伊東委員 森林政策ニ關スルコト及ビ方

針等ニ付キマシテ農林大臣ニ御尋シタイノ

デアリマスケレドモ、丁度農林大臣ハ都合

ガアルノデ、後デ御出席ニナルト云フコトデ

アリマスカラ、農林大臣ニ對スル質問ハ後廻

シニ致シマシテ、先ヅ山林局長ニ御尋致シ

マス、私ハ總テ理窟ヲ抜キニシテ具體的ナ

問題ニ付テ御尋シタイト思フノデアリマス

第一ハ部分林制度ノ問題ニ付テ御尋致シ

マス、將來造林ノ大擴張計畫ガアルノデア

リマスガ、之ニ付テハ色々ナル方策ガ立テ

ラレテ居ルヤウデアリマス、其ノ中増植計

畫ノ一ツトシテ部分林制度ヲウント擴張シ

テハドウカト云フ問題デアリマス、部分林

ハ其ノ實質ハ遠ク藩政時代カラ行ハレテ居

リマシテ、東北デモ秋田トカ、庄内、相馬、

或ハ四國デハ高知、九州ノ鹿兒島、就中飢

肥藩ニ於テ最モ盛シニ部分林ガ行ハレテ居

ルノデアリマス、殊ニ飢肥藩ノ如キデハ昔

カラ三分一山トカ或ハ二分一山トカ稱シマ

シテ、昔カラ藩有地ニ對シテ植林ヲ非常ニ

獎勵致シタノデアリマシテ、今デモ全國デ

ハ有名ナル部分林ノ造林地トシテ其ノ名ヲ

成シテ居ルノデアリマスガ、其ノ後國有林

制度ノ確定後ト雖モ、官公林ヲ尊重シテ部

分林制度ガ今日マデ盛シニ行ハレテ居ルノ

デアリマス、ソコデ私ハ造林擴張ノ便法ト

シテ部分林制度ハ非常ニ良イコトダト考ヘ

テ居ルノデアリマス、現在造林ノ直營ヲ國

ハヤツテ居リマス、之ニハ相當ナ經費ガ要

ルバカリデナク、最近努力ガ不足シ、且又

勞働賃銀モ非常ニ高クナツタノデアリマス

ガ、一體造林ハ人ノ手ヲ借ラザレバ手入管

理ノ出來ナイ仕事デアリマス、ソコデ是等

ノ問題カラ考ヘマシテ、一番容易ニ造林ノ

目的ヲ達スルニハ、部分林制度ヲ擴張シテ

官收ト民收ノ歩合ヲ確定シテ置キサヘスレ

バ自然ニ立派ナ造林ガ出來ルコトニナリマ

スノデ、是ハ極メテ得策ナ造林計畫ノ主ナ

ルモノダト思ツテ居リマスガ、將來ノ方針

等ニ付テ局長ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマ

ス

○村上政府委員 部分林制度ニ付キマシテ

ハ吾々トシテモ、公有林等ガ少クシテ、民

間ニ於テ相當造林ヲ希望スルヤウナ所ニ於

テ、國有林以外ニ適地ヲ求メ難イト云フ處

ニ對シマシテハ、將來相當國有林ノ一部ヲ

開放致スコトハ趣旨トシテ諒トスベキ

モノト思ヒマス、殊ニ最近二千六百年記念

造林トシテ各地ニ於テ國有林ノ一部ニ部分

林ヲ設定シテ造林ヲシタイト云フヤウナ希

望ガ地元町村等ヨリ大分出テ居リマスガ、

是等ニ付テハ相當好意的ニ處理シテ、或ル

程度ニ於テ此ノ際部分林ノ設定ヲ認メヨウ

ト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ飢肥地

方ニ於ケル部分林制度ニ付キマシテハ、御承

知ノ通り部分林設定區ヲ設ケテ居リマス、

現在之ニ依リマシテ植林セラレタモノハ、

約七千數百町步尙ホ残り六千何百町步ト云

フモノハ、マダ造林未済ニナツテ居リマス、

是等ノモノニ付キマシテハ、更ニ造林ヲ促

進スベク一層ノ方策ヲ講ズル必要ガアルノ

デハナイカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマ

ス

○伊東委員 九州ノ中デモ飢肥地方ニ御話

ノ如ク部分林制度ノ擴張ノ見地カラ新設定

區ニ部分林ヲ設ケテアルノデアリマスガ、

是等ニ付テハ民間ニ於テモ非常ナ熱意ヲ以

テ只今増植シツツアルノデアリマス、ドチ

ラカト申シマスレバ、此ノ新設定區部分林

ハ、今マデノ緣故部落ニ主トシテ植林セシ

ムル方針ヲ執ツテ居リマスノデ、之ヲ又斯

様ニシテ戴クコトガ適當ダト思フノデアリマス、尙ホ参考書類ニ依リマス、部分林制度ノアル縣ハ全國デ二十六縣ニ及ブ、サウシテ其ノ總面積ハ四万一千五百八十二町步餘ニナツテ居ルノデアリマス、段々各縣ニ依ツテ部分林ノ反別モ違ヒマスケレドモ、其ノ中デ一番多イノハ宮崎縣ノ一万七千五百四十三町步、即チ總面積ノ四割三分ニ相當致シテ居ルノデアリマス、又現ニ部分林ノ成績モ頗ル見ルベキモノガアルト信ジテ居リマス、又此ノ地方ニハ相當官行林モ行ハレテ居リマスガ、寧ロ私ハ官行林ヲオヤリニナルヨリモ、斯ウ言ツタヤウナ能ク部分林ニ馴レテ、サウシテ部分林ノ有利ナル點モ承知シテ居ル地方等ニ於テハ、更ニ部分林ノ制度ヲ擴張サレルコトガ特ニ必要ダト思フノデアリマスガ、之ニ付テモ只今同情アル御答辯ガアツタノデアリマス、併シ更ニ先程御話ガアリマシタ通りニ、來ル二千六百年祭ニ當ツテハ、色々ナル記念事業ヲナスコトニ相成ツテ居リマス、就中宮崎縣ハ皇祖發祥ノ地デアルバカリデナク、林業トハ最モ緣故ノ深い宮崎縣獨特ノ肥森林ノ如キハ、洵ニ見ルベキモノガアルト考ヘテ居リマスノデ、今回ノ記念スベキ二千六百年祭ノ記念事業トシテ、特ニ縣ニ於テ相當廣イ反別

ノ記念造林ヲショウト云フ考ヲ以テ、ソレゾレ本省ニモ諒解ヲ求メツツアルコト思ツテ居リマス、更ニ町村ニ於テモサウ云ツタヤウナ目論見ガ非常ニ多イノデアリマス、由來宮崎縣ノ中、殊ニ縣ノ南ノ方ニ於キマシテハ、官有地ニ全部引上グラレテ、民有地ト云フモノハ甚ダ少イノデアリマシテ、ドウシテモ國有地ヲ開放シテ戴カナケレバ、植林スルコトガ出來ナイト云フヤウナ情勢デアリマス、普通デアリマスナラバ、中々國有地ノ開放ト云フコトハ容易ニ本省ガ之ヲ認メナイノデアリマスケレドモ、少クトモ二度ト來ナイ二千六百年ノ記念事業ノ爲ニ、有意義ナ施設トシテ之ヲ記念シ、又一面ニ於テハ森林ノ振興及ビ山林ノ造林増植ト云フヤウナ立場カラ、極メテ時宜ヲ得タモノダト思フノデアリマスガ、サウ云フ趣旨ニ依ル出願ガアツタ場合ニハ、縣若クハ地方團體等ニ於テモ、相當量開放シテ戴キタイト思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル本省ノ方針ハ如何デアリマスカ

○村土政府委員 洵ニ御尤ナ御趣旨デアリマシテ、此ノ最モ記念スベキ所ノ二千六百年ノ記念事業ト致シマシテ、造林ヲ行フト云フコトハ機宜ニ適シタ施設ト思ヒマス、ソコデ國有林ノ非常ニ多クシテ公有林ノ少イ地方ニ於キマシテ、村等ヨリ國有林ノ一部ニ部分林ヲ設定シテ、造林ヲシタイト云フ願ガアリマシタ場合ニ於テハ、一定面積ヲ限ツテ之ヲ許可スルコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、サウシテ苗木等ニ於キマシテモ、相當配給ニ付キ便宜ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 只今ノ御答辯ニ依リマスルト意義アル右申上ゲルヤウナ二千六百年祭等ニ際シテ、地方ガ願フシタ場合ニハ相當許ス方針デアアル、斯ウ云フ風ナ御答デアリマスルガ、之ニ付テハ大體國トシテ許可スル方針ハ出來テ居リマスルガ、其ノ場所反別其ノ他ノ具體的ナコトニ付テ御調査デモ出來テ居ルノデアリマスルカ、此ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○村土政府委員 無論向フカラ願出ルコトデアリマシテ、コチカラ積極的ニ勸メル譯デアリマセヌカラ、場所ハドノ位ニナリマスルカ、ソレハ今此處デ豫想ハ付カスト思ヒマス、造林ニ適スル地ガアリマシテ、サウシテ村カラ願出ルナラバ村ノ經營能力其ノ他ヲ考ヘマシテ、適當ナル面積ハ部分林ニ開放シテ宜シイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 左様ナ場合ガアツタ時ニハ是非一ツ特別ナル御配慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、サウシテ此ノ部分林ノ伐採跡地ノ處理ノ問題デアリマスルガ、只今部分林伐採後ノ伐跡地ト云フモノハ全部國有地デアリマスカラ、是ハ一應引上グラレルノデアリマス、ソコデ從前ノ造林權ト云フモノハ全ク失ハレルノデアリマシマス、造林者ガ四十年、五十年ト云フ永イ間、部分林ヲ愛撫育成致シテ、本當ニ自己ノ造林トシテ今日マデ來テ居ルノデアリマスガ、ソレヲ處分シテ伐採スル、所デ伐採後ト雖モ其ノ土地ニ對スル愛著心ガ非常ニ深イノデアリマス、ソコデ此ノ造林權ヲ失フコトヲ洵ニ非常ナル悲哀ト地方ノ者ハ感ジテ居ルノデアリマス、理想ノ造林ハドウシテモ人ヲ得ルコトト、愛林思想ガ大事ダト思フノデアリマスガ、此ノ部分林ノ伐跡地ニ對シテハ、繼續シテ部分林トシテ成ベク其ノ緣故者ニ植林セシムルト云フヤウナコトガ極メテ適切ナルコトト思フノデアリマスガ、之ニ對シテハ如何ニ考ヘテ居ラレルノデアリマスカ

○村土政府委員 部分林ノ伐採跡地ニハ更ニ部分林トシテ植栽ヲ認メルト云フコトハ原則トシテハ大體左様ニナツテ居リマス、但シ宮崎縣ハ御承知ノ通り、昔隨意ニ造林致シマシタガ爲ニ、今ノ部分林ハ國有林ノ

中ニ點々散在シテ居ルヤウナ關係ニナツテ居リマス、管理上カラ言ヒマシテモ色々面倒ナコトガ起ツテ居リマス、ソコデ御承知

ドモ、部分林設定區内ノモノハズツト部分林トシテ繰返シテ行ク、斯様ニ致シタイト考ヘテ居リマス

アリマス
○村上政府委員 常時ニアリマシテハ國ノ產物ヲ賣拂フノハ、原則トシテ競争入札ニ依ル、是ハ會計法ノ大原則デアリマス、併シナガラ國有林ノ產物賣拂ニ付キマシテハ、從來カラモ特ニ地元ノ緣故關係等ヲ尊重致シマシテ、地元ニ薪炭材ヲ賣拂フ、或ハ地元

○伊東委員 山村ニ於キマスル所ノ製炭業者ハ洵ニ慘メナ生活ヲ致シテ居リマス、山奥ノ人程惠マレナイモノハナイデアリマス、實際ノ生活狀態ヲ見テミマスルト、同じ人間デモコソナ生活ヲシナケレバナラナイカト實ニ同情ガ起ツテ來ルデアリマス、左様ナ立場カラ致シマシテ、山村救済ノ爲

シテ其ノ植栽ヲ爲ス所ノ相手方ハ、ヤハリ是ハ地元ノ村竝ニ部落民ニ契約ヲシテ參リマスコトガ一番愛林思想擁護ノ上カラ言ツテモ宜シイト考ヘマスノデ、契約ノ相手方ヲ村ニ致シテ、サウシテ部分林ノ分收分ノ内、村ニ行キマスモノノ中ノ約九割ガ部落民全體ニ行キ渡ルヤウニ致シテ居リマス、斯様ナ制度ヲ執ツテ居リマスガ、此ノ制度ハ一番宜シイト思ヒマス、在來ハ個人々々ニ部分林權利者ヲ認メマシタガ、サウ致シマス、往々ニシテ其ノ部分林ガ、一二ノ有力ナル所ノ資産家ニ合併吸收サレテシマフト云フヤウナ形ニナリマス、サウナリマス

○伊東委員 部分林ノ問題ハ此ノ程度ニ致シテ置キマシテ、次ニ國有林產物ノ處分ノ問題デアリマスガ、即チ競賣特賣ニ對スル方針デアリマス、國有林ノ處分ハ會計法ニ依ルコトニ相成ツテ居リマスノデ、大體競賣主義ニナツテ居ルト思ツテ居リマス、併シ原料不足ノ今日ニ於テハ當業者ガ已ムナク糶上ゲヲ爲シテ豫定價格ノ二倍以上ニモナツテ居ルヤウナ例ハ九州地方ニモ時々耳ニスル所デアリマス、國有財產ヲ競賣ニ附シテ成ベク高く賣ルト云フ方針ハ、國策デアリマスル低物價政策ト非常ナ矛盾ヲ來シテ居ルヤウニ思フデアリマスガ、是非

デ、ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ、モウ一ツハ、先程カラ部分林ノ話ノ時ニアリマシタヤウニ、國有林ト地方民ノ緊密ナル關係ヲ保ツテ行クト云フコトハ非常ニ必要デアアルデアリマス、此ノ見地カラ薪炭用材ノ如キ、部落民ガ消化シ得ル製炭用材ノ如キハ地元ニ優先的ニ特賣スルコトが適當ダト思フデアリマスガ、斯ウ云ツタヤウナ方針ニ付テ御示ヲ願ヒタイト思フノデ

○伊東委員 山村ニ於キマスル所ノ製炭業者ハ洵ニ慘メナ生活ヲ致シテ居リマス、山奥ノ人程惠マレナイモノハナイデアリマス、實際ノ生活狀態ヲ見テミマスルト、同じ人間デモコソナ生活ヲシナケレバナラナイカト實ニ同情ガ起ツテ來ルデアリマス、左様ナ立場カラ致シマシテ、山村救済ノ爲ニモ此ノ薪炭原料木ノ拂下等ニ對シテハ特ニ價格ノ問題ヲ相當顧慮サレテ、尙ホ手續等ニ付テモ極メテ簡易化スルト云フヤウナコトガ必要ダト思フデアリマス、更ニ製品ノ販賣ニ十分注意ヲサレテ、中間搾取ガナイヤウニシナケレバナラナイデアリマスケレドモ、實際ハ山奥ノ製炭業者ハ主トシテ中間搾取ガ多イノデ、非常ニ利潤ヲ減少サレテ居ルデアリマス、尙ホ又先程御話ガアリマシタヤウニ、原料木ニ付テハ特ニ特賣ノ方針ヲ執ツテ居ラレルコトハ極メテ宜イコトデアリマス、併シ資本金ノ少ナイ山奥ノ製炭業者ノ人達モ特賣ヲ受ケルニ付テハ少クトモ一年分若クハ二年分、或ハ三年分ヲ一時ニ原料ヲ仕入レテ置クト云フヤウナコトニナルデアリマス、左様ナ場合ニ資金ガナイデアリマスカラ、此ノ資金緩和ノ爲ニ官收金ヲ分割シテ納付セシメルト云フヤウナコトハ出來ナイデアリマ

スルカ、左様ニ致シマスルト、山奥ノ人達ノ製炭業者ノ救済ニモ頗ル適切ダと思フノデアリマスガ、其ノ點如何デアリマスカ

○村上政府委員 洵ニ御尤ナ御意見デ、私共モ山元ノ薪炭業者等ニ對シテハ、相當救済ヲ圖リ、其ノ便宜ヲ圖ル必要ガアルト思ヒマス、其ノ爲ニ本年一月特ニ規則ヲ改正致シマシテ、二百圓以上ノ拂下代金ニ上リマスモノニ付キマシテハ、地元ノ部落ノ團體等ニ拂下ヲ爲スモノニ付テハ代金延納ノ途ヲ認メタノデアリマス、即チ一年間代金ノ延納デ拂下ヲ致スト云フ制度ヲ特ニ執ツテ居ルノデアリマス

○伊東委員 製炭業者ノ救済ノ爲ニ、原木代ノ延納制度ノ御設定ガ出來タヤウニ承リマシテ非常ニ安心致シマシタガ、尙ホ此ノ趣旨ガヨリ以上徹底スルヤウニ、且又此ノ制度ノ擴大ヲ希望シテ置キマス

更ニ御尋致シタイコトハ、國策タル「ガソリン」代用ニナル木炭デアリマスガ、之ニ對シテハ國モ相當只今考ヘテ居ラレルヤウデアリマス、之ニ對スル國ノ助成ノ方針及ビ原木ノ拂下價格等ニ付テ特ニ考慮サレテハドウカト云フ點ガ一ツ、モウ一ツハ地方デ只今出征軍人ノ家族ノ者ガ自家用若クハ製炭用材トシテ拂下ヲ希望シテ出願シテ居ル

向キガ多イヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ場合ニ於ケル拂下價格等ニ付テハ、或ハ適當ナ手心ヲ加ヘル必要ガアリハシナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點如何デアリマスカ

○村上政府委員 「ガソリン」代用木炭ノ獎勵ノ爲ニハ、此ノ度豫算ト致シマシテ二十五萬七千圓ヲ提出致シマシテ、御協賛ヲ仰イデ居ル次第デアリマス、之ニ依ツテ「ガソリン」代用木炭ノ爲ニスル炭窯ノ築造ニハ其ノ四分ノ一ノ助成金ヲ交付スルコトニナツテ居リマス

第二ノ出征家族ニ對スル薪炭ノ用材ノ拂下ニ付キマシテハ、前ニ御説明申上ゲマシタ代金延納ノ問題ニ付キマシテモ、二百圓ト云フ金額ヲ付セズシテ、百圓デモ或ハ百五十圓デモ總テ代金延納ヲ認メルコトニ致シマシタ、尙ホ是等ノ人ニ對スル拂下ノ代價ニ付キマシテハ、是ハマサカ時價ヨリ割引イテ實行スル譯ニハ行キマセヌケレドモ、成ベク穩當ナ價格デ拂下ヲ實行スルヤウニソレモ注意ヲシテ居リマス

○伊東委員 官有地ノ内ノ開墾適地ノ開放ノ問題デアリマスガ、山村民ノ救済ニハ第一ニ山村民ニ食糧ヲ與ヘルト云フコトガ一番大事デアリマス、現在山村民ノ一番困

ツテ居ルコトハ食糧不足デアリマス、其ノ自給自足ノ爲ニハ耕地ガ必要デアアルノデアリマス、此ノ開墾適地ノ拂下若クハ貸付ニ付テハ、地方ガ非常ニ希望シテ居ルニモ拘ラズ、此ノ開放ニ非常ニ難澁サレテ居ルヤウニ思ツテ居リマスガ、是ハ一體ドウ云フ方針ニナツテ居リマスノカ、尙ホ又此ノ手續等ニ對スル簡易化ト云フコトモ極メテ必要ダと思フノデアリマス

モウ一ツ部分林ノ伐跡地ニハ從來ハ民間ニ「コバ」作ト申シマシテ二三年間解放シテ、サウシテ作付ヲサシタモノデアリマス、又左様ニ致シマスルコトガ次ノ造林ニ非常ニ適當シタコトト思ツテ居リマスケレドモ、此ノ點ガ最近左様ニサセナイ方針ニナツテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハドウデアリマスカ、尙ホ山村民ガ山村ヨリ離ラレナイヤウニスル方策ガ一番必要デアリマスノデ、是ニハ山林地ヲ資本家ニ買收サレルコトヲ防止スルコトガ極メテ必要デアリマス、是等ニ對スル御所見ヲ承リタイ

○村上政府委員 國有林中開墾適地ノモノハ之ヲ開放スル方針ヲ持ツテ居リマス、即チ之ヲ拂下ヲスルカ、或ハ貸付ヲスルカ、サウ云フコトニ付テハ私共ト致シマシテハ

消極の方針ヲ執ツテ居リマセヌ、出願ガアリマシテ、眞ニ適地デアレバ之ヲ開放スルニ吝デナイノデアリマス、ソレカラ部分林ノ跡地ニ「コバ」作ヲ許サヌ方針ヲ執ルヤウニナツタ、是ハ左様ナ方針ヲ私共ノ方デ執ツタコトハゴザイマセヌ、或ハ地方ニ依リマシテハ中ニ左様ナモノモアルカモ知レマセヌガ、是ハ全般的ノ方針デアリマセヌ、若シ不都合ナコトガアリマスレバ、何時デモ之ヲ改正スルニ吝デナイノデアリマス

○伊東委員 國有地内ノ開墾地ノ開放ニ付テハ特ニ今後積極ノ方針ダト云フコトデアリマスルカラ、其ノ點ハ能ク諒承致シマスケレドモ、事實ハドウモ積極デナイヤウデアリマスカラ、ドウカ此ノ點ハ山林局長ノ御答辯ノヤウニ、下ノ方マデ徹底スルヤウニ御要望申上ゲテ置キマス

次ニ御尋シタイコトハ、木炭及ビ木材價格其ノ他ノ統制問題ニ付デアリマスガ、木炭ハ生活必需品デアアルコトハ申スマデモアリマセヌ、仍テ木炭ノ價格ガ安イト云フコトガ必要デアアルノデアリマス、併シ現在ノ公定價格ト云フモノニ對シテ私ハ非常ナル疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、只今勞力ハ非常ニ不足ヲ告ゲテ居ルバカリデナクテ、全ク人ガ居ラナイト云フ工合デアリマ

ス、隨テ勞銀モ二倍以上ニ暴騰致シテ居リマス、尙ホ其ノ他ノ諸物價、製炭諸費用ガ非常ニ高クナツテ、生産費ハ意外ニ高い、ソコデ此ノ公定相場ト云フモノハドウシテモ再檢討ヲサレル必要ガアルト思フノデアリマス、同時ニ木炭ノ規格統制ノ問題デアリマスガ、是ハ大概各縣デ木炭検査ヲヤツテ統制ヲ執ツテ居リマスケレドモ、其ノ種類ヲ全國のニ見マスト非常ニ種々難多ナモノデアリマスガ、之ヲモウ少シ國デ統一サレルコトガ、總テノ方面ニ極メテ必要デハナカラウカト思フノデアリマス、尙ホ木炭検査ニ付テハ各縣各樣デアリマス、或ハ縣營デヤツテ居ル所モアリ、或ハ組合検査ヲヤツテ居ル所モアルノデアリマスガ、之ニモ總テ此ノ検査ニハ一長一短ガアリマス、之ヲ縣營等デ統制スルコトガ、結局ハ規格統制ノ上ニ非常ニ有效適切デハナイカ、斯樣ニ思フノデアリマスガ、御意見ハ如何デアリマセウカ

○村上政府委員 木炭ノ規格ヲ統一シテ之ヲ單一化スルコトハ極メテ必要ナコトト思ヒマス、私共モ其ノ方針ニ從ツテ極力努力シタイト思ヒマス、今木炭ノ検査ハ全部府縣營ニナツテ居リマシテ、組合營ノ所ハ無クナツタト記憶シテ居リマス、木炭ノ現在

ノ公定價格ハ昨年ノ八月ニ定メマシタモノデアリマシテ、當時ニ於キマシテハ一昨年ノ木炭ノ價格ヨリ昨年ノ八月ノ木炭ノ價格ガ相當高クナツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ高い時ヲ基礎ト致シマシテ、現在ノ公定價格ヲ設定シタ次第デアリマス、其ノ後色色ノ情勢ノ變化モアリマスノデ、只今ノ公定價格ガ三月デ一應終ルコトニナリマスカラ、三月ニ公定價格ヲ改定致シマス時ニハ御希望ノ趣旨モ十分ニ採入レマシテ、木炭價格ノ公定ニ付テハ山ノ炭燒ガ喜ンデ木炭ヲ燒クコトガ出來來ルヤウニ、ソコヲ十分ノ基礎ト致シマシテ公定價格ヲ定メタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊東委員 木炭ノ公定價格ノ問題ニ付テハ色々議論ガアリマスルノデ、御尋シタイノデアリマスルケレドモ、只今御答辯ニ依ルト、之ニ對シテハ相當考慮スル餘地ガアルバカリデナクテ、來ル三月ニ至ツタナラバ十分善處スルト云フコトデアリマス、今ノ儘デ置キマスルト、製炭業者ハ利益ガ無イノデアリマスルカラ、製炭セナイト云フコトニナルト、生産スル量ガ非常ニ減ジテ來マス、生産スル量ガ減ジテ來マスルト、隨テ需要供給ノ關係カラ市價ガ一層高クナル、併シ公定相場デ抑ヘラレルト云フヤウ

ニ、ソコニ非常ナル矛盾ガ起ルノデアリマスルノデ、特ニ此ノ點ニ對シマシテハ、三月ノ改訂ノ時期ニハ御話ノヤウニ積極的ニ十分ナル考慮ヲ拂ハレルヤウニ御願ヲ致シテ置キマス

次ニ「バルブ」原料ノ價格ノ標準ト申シマルカ、其ノ算定基礎ト申シマスルカ、是ハ非常ニ難カシイ質問デアリマスルガ、無論原本ノ種類、品質其ノ他ノ關係デ、價格ト云フモノハ一定シテ居ラナイノデアリマス、是ハ一昨日デアツタカ知ラント思ヒマスルガ、松浦君ノ御話ニ依リマスルト、北海道著ノ「バルブ」材ノ原價ハ外材デ七八百圓、北海道産ハ千二百圓ニ付イテ居ルト云フヤウナ御話ヲ承ツテ居ルノデアリマス、今回九州ノ中、宮崎縣デハ杉資材ヲ原料ニシタ初メテノ試ミノ「バルブ」會社ガ、而モ二千萬圓ト云フ大キナ資本ヲ投ジテヤルヤウニナツタノデアリマス、所デ其ノ製品ナドノ結果カラ言ヒマシテモ頗ル成績ガ宜シイ、又會社ノ御話ヲ聽イテモ非常ニ結果ガ好イト云フコトニ相成ツテ居リマスルノデ、地方振興及ビ林業振興ノ上ニ非常ニ良イコトダト喜ンデ居ルヤウナ次第デアリマス、所デ從前「バルブ」原料ト云フモノハ松其ノ他ヲ使ツテ居ツタノデ、是等ニ對シテハ大體

ノ標準ガアルヤウデアリマスルケレドモ、杉ハ初メテノ試ミデアリマスルカラ、其ノ基準價格ト云フモノガ分ツテ居ナイ、ソコデ價格ハ總會社即チ資本案ノ一方的決定ニ依ツテ只今決定ヲサレテ居ルノデアリマシテ、生産者デアリマスル造林家ハドウモ正當ナ價格ガドノ點ニアルカト云フ、所謂材價ニ對スル標準ト云フモノガ全ク分ラナイ、唯資本案ノ一方的決定ニ任セテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスルノデ、此ノ點ハ相當地方デモ心配ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、一體是等ノ價格ノ算定基準ト云ヒマスルカ、基礎ト云ヒマスルカ、ドウ云フ風ニヤルコトガ正當ナ價格ダト云フ斷定ガ付クノデアリマスルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○村上政府委員 昨年間伐木ノ伐出シニ付キマシテ農林省デ積極的ニ之ヲ慫慂シ、出テ來マシタ間伐木ニ付キマシテハ、是ガ販賣ヲ斡旋スルコトニ致シタノデアリマス、隨テ宮崎縣ニアリマス所ノ「バルブ」會社ニ對スル資材ニ付キマシテモ、間伐木ニ付キマシテハ農林省竝ニ農林省ノ意圖ヲ受ケマシタル所ノ大日本山林會聯合會竝ニ府縣山林會、是ガ價格ノコトニ付キマシテ會社ト折衝致シマシテ、一定ノ價格デ會社ニ引取

ラセルコトニシテ居リマス、大體ソレニ依ツテ適當ナ價格デ、會社ノ方ニ全部只今供給ガ圓滑ニ出來テ居ルヤウナ狀態デアリマス。

尙ホ其ノ價格ノ基礎ト云フコトニナリマス、是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、「パルプ」ノ生産「コスト」カラ見ル價格ト云フヤウナコトハ、中々是ハ難カシイコトデアリマスカラ、結局其ノ材ノ他ノ方面ノ用途ニ對スル價格、即チ杭木ニ對スル價格、斯ウ云ツタヤウナモノト比較對象シテ價格ヲ定メルヨリ仕方ガナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○伊東委員 只今ノ間ハドウモハツキリシナイ間デ、答ヘ惡クカツタト思フノデアリマス。ケレドモ、實際地方トシテハ一番聽キタイ問題デアリマス、併シ是ハ農林省トシテ言ハレナイ點モアルヤウニ思ヒマス。ケレドモ、眞ニ地方ノ造林者ヲシテ安ンジテ業ニ就カセ、安ンジテ林產物ヲ賣ラセルト云フコトガ非常ニ必要デアリマス。ソレデ、唯山林會ナドガ仲介シテ相當ナ價格ヲ決メテ、無理ガ行カナイ方法デ會社ニ引取ラセルト云フヤウナ、極ク大雜把ナ抽象的ナコトデハドウシテモイカナイ、會社自體ノ一方的決定デハ造林家ガ非常ニ損ヲス

ル、斯ウ云フヤウニ思フノデアリマス。ルノデ、此ノ點ニ付テハドウゾ一ツ最善ノ御配慮ヲ戴イテ、又農林省等ニ於テモ此ノ點ニ十分ニ注意ヲ拂ツテ戴イテ、適切妥當ナル價格ニ依ツテ取引ガ出來ルヤウニ、一ツ御心配ヲ願ヒタイト云フコトヲ御願致シテ置キマス。

更ニ「パルプ」資材ニ付テ伺ヒマスガ、只今ハ各方面ニ「パルプ」工場ガアルノデアリマス、例ヘバ九州ニモ三箇所アルノデアリマス。ガ、成ベク生産費ガ要ラナイヤウニ致シマス。ルニハ、運賃ノ節約デアリマス。ガ、所デ只今ノ狀態カラ言ヒマス。ル、九州ノ南部ニ拵ヘマシタ杉資材ノ「パルプ」會社ガ四國カラ用材ヲ持ツテ來ル、或ハ九州ノ南部即チ飲肥地方ニアリマス。會社ノ膝下ニアル材料ヲ今度ハ九州ノ北ノ方ノ八代ノ工場ニ持ツテ行クト云フヤウナ工合ニシテ、全ク統制ガ取レテ居ラナイ爲ニ、其ノ間ニ非常ナル無駄ガアルノデアリマス。カラ、私ハ工場中心ノ原木配給統制ト云フヤウナコトヲスルコトガ、非常ニ必要ダ、斯様ニ思フノデアリマス。ガ、之ニ付テ何等カノ處置ヲサレテ居ルノデアリマス。カ、又今後ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、ソコデ問題ハ材料ヲ集積スル區域ヲ大體目安ヲ付

ケルト云フコトガ必要デアリマス。ガ、サウ云ツタヤウナコトニ依ツテ統制シテ、又ソレガ行ハレルノデアリマス。ガ、會社ハ利潤本位デアリマス。カ、殊ニ最近ノヤウニ原料木ノ不足シテ居ル今日ニ於テハ、競フテ原料ヲ集メルト云フヤウナ關係カラ、之ヲ統制シテモ、區域ヲ決メテモ、行ハレナイト云フコトニナリハシナイカ、ソレハ生産者カラ云フト競争サレテ買ツテ貰フカラ非常ニ好イヤウデアリマス。ケレドモ、木材ノ生産「コスト」ノ上ニ一番影響ノアル運賃ガ非常ニ高マルノデアリマス。カラ、其ノ運賃自體ハ何レニシテモ生産者デアリマス。造林家ガ負擔スルト云フ結論ニ相成リマス、此ノ點ハ相當大キナ問題ダト思フノデアリマス。ガ、之ニ對スル御所信ヲ承リタイト思ヒマス。

○村上政府委員 御説ノ通りデアリマシテ、成ベク運搬費ヲ節約シナケレバナリマセヌ、隨テ工場ノ近クニアル木ハ其ノ工場ニ集メ、遠イ所ニ持ツテ行クトハ避ケナケレバナラスト思ヒマス、其ノ方針ノ下ニ昨年ヨリ販賣斡旋事業ヲ開始致シマシテ、大體左様ニナツテ居リマス、又會社ノ方ニ於キマシテモ、吾々ノ言フ所ニ聽從シテ、大體其ノ方針ヲ採リツツアリマス、唯四國ニ

ハ御承知ノ通りニ「パルプ」會社ガアリマセヌカラ、之ヲ四國ノ近クノ九州ニ運ンデ消化スルノハ仕方ガナイ、其ノ爲ニ四國ノ材ガ九州ニ流レルト云フコトハ是ハ已ムヲ得ナイカト思ヒマス、又日本「パルプ」工業ハ杉ヲ使ツテ「パルプ」ヲ造ツテ居リマス、所ガ他ノ會社ハ杉ハ使ヘナイヤウナ工場施設ニナツテ居ル所モアリマス、隨テ一部松等ガ他ニ流レルト云フコトモ、是モドウモ已ムヲ得ナイコトト思ヒマス、併シナガラ成ベク地元ノ物ハ地元デ使フ、斯ウ云フ方針ノ下ニ更ニ一層配給網ヲ完備シタイト考ヘテ居リマス。

○伊東委員 同ジ配給上ノ問題デアリマス。ガ、支那方面ニ木材ヲ輸出スル場合ノ問題デアリマス、上海方面ハ九州ニ一番近イノデアリマス、丁度長崎カラ上海ニ行クニハ二十六七時間デ行ケル、東京ニ來ルニモ二十六七時間掛リマス、ソコデ上海ハ遠イヤウデ、九州カラ言ヒマス。ト非常ニ近イノデアリマス、隨テ只今上海方面カラ木材ノ注文ガ非常ニ多い、是ハ軍用材ガ主デアリマス。ガ、此ノ軍用材ハ軍直接デナクテ、請負業者ノ手ヲ經テ只今注文ガ入ツテ居リマス、所デ船ガ不足シテ居ル爲ニ非常ニ運送ニ困ツテ居ルノデアリマス。ガ、之ヲ緩和ス

ル方法ハナイカドウカ、又軍用資材デアツ
タヤウナ場合ニハ、直接契約ヲスルヤウナ
便法ハナイカ、此ノ點ヲ御同致シマス

○村上政府委員 船ノコトハドウモ私共ノ
方カラ何トモ手配ガ付キマセヌ、船腹ノ不
足ト云フコトハ是ハ一般的ナ現象デアリマ
スカラ、ソコハ相當或ル程度マデハ忍バナ
ケレバナラスコトカト思ヒマス、尙ホ軍用
材等ニ付テハ、軍ガ直チニ註文ヲ發シテ、
中ニ請負者ヲ介スルコトヲ止メタラ宜カラ
ウト云フ御説デアリマスルガ、私共モ出來
レバサウ云フヤウニシタ方ガ宜カラウト思
ヒマス、是モ軍ノコトデアリマスカラ、此
處デ私共カラ何トモ申上ガ兼ネマス

○伊東委員 同ジク軍ニ關スルコトデアリ
マスカラ御答辯ガ出來ヌカモ知レマセヌ
ガ——是ハ御答辯ガ出來ルカト思フノデアリ
マス、今ノ問題トハ違ヒマスガ、只今
軍用資材トシテ一番要ルノハ樫材デア
リマス、所デ段々此ノ樫材ト云フモノ
ガ不足シテ參リマシテ、九州方面ニ於
テハ之ニ代ルベキ「イス」ダトカ「タブ」
トカ云フヤウナ適材ガアルノデアリマスガ、
是等ノ代用材ヲ軍ニ使ハセルヤウナコトニ
ナリマス、地方トシテモ非常ニ結構ナコ
トダト思フノデアリマス、又樫材デナケレ

バナラナイモノモアリマセウカラ、代用材ヲ
使ハシテ、樫材ノ如キハヤハリソレノ補足
ニスルト云フヤウナ方針ヲ御採リニナルコ
トガ必要デアル、斯ウ云ツタヤウナ堅木類
ハ、百五十年、二百年ヲ要スルモノデアリ
マシテ、急ニ出來ナイ資材デアリマスカラ、
特ニ此ノ點ニハ御注意ガ必要ダト思フノデ
アリマスガ、御意見如何デアリマスカ
○村上政府委員 一寸速記ヲ止メテ下サイ

○小山委員長 速記ヲ止メマス

〔速記中止〕

○小山委員長 速記ヲ始メマス

○伊東委員 ソレデハ其ノ點ハモウ餘リ多
ク質問致シマセヌ、是ヨリ法案ノ内容ニ付
テ疑義ヲ質シタイト思ヒマス、第九條中ノ
命令事項ニ付デアリマスガ、第九條第一
項ノ命令事項ノ一ハ「施業案ノ編成セラル
ベキ森林ハ一市町村ノ區域内ニ於テ一團地
大約五十町歩以上ノ地積ヲ有スル公有林、
社寺有林及私有林トスルコト」トアリマス
ガ、此ノ一團地ト指サレテ居ルノハ、公有
林、又ハ私有林ノミヲ指サレテ居ルノデア
リマスカ、或ハ部落有林ト私有林ガ一緒ニ
アツタ場合ニ、之ヲ一團地トシテ施業シ得
ルノデアアルカドウカト云フ點ガ一ツデアリ
マス

モウ一ツハ二ノ施業案ノ内容ニ付デア
リマスガ、此ノ内容ニ付テハハツキリシテ
居ルヤウデアリマスガ「施業案ノ内容ハ森
林ノ生産力ト森林所有者ノ經濟的能力ニ即
應シタル造林及伐採ノ計畫ヲ定ムルモノト
スルコト」ト明ニ規定サレテ居リマスカレ
ドモ、私ハ分リ易ク具體的ナコトニ付テ御
説明ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○村上政府委員 五十町歩以上ト云フノハ、
一人ノ人ノ持つテ居ル私有林ガ五十町歩以
上アル場合ニ於テハ獨立ノ施業案ヲ作ル、
公有林デモ社寺有林デモサウデアリマス、
公有林ト私有林ト相連絡シテ五十町歩以上
アル場合、是ハ普通デアリマスガ、是ハ施
業案ヲ獨立ニ作ルノデハナイノデアリマス、
一人ノ持つテ居ル森林ガ一市町村内ニ於テ
五十町歩以上アル場合ニ於テ、其ノ森林所
有者ガ獨立シテ施業案ヲ作ル、斯ウ云フコ
トニナルノデアリマス

第二ノ問題ハ、施業案ノ内容ハ森林ノ生
産力ト云フコトヲ十分ニ見ナケレバナラス
ノデアリマシテ、杉ノ立ツ所ニハ杉、松ノ立
ツ所ニハ松ト云フヤウニ植エテ行カナケレ
バナラスノデアツテ、地味ノ稍、粗惡化シタ
ヤウナ所ニ杉ヲ植エテモ、杉ハ育チマセヌ、
斯様ナ所ニ於テハ松ヲ作ルノガ一番宜シイ

ノデアリマスカラ、サウ云フ森林ノ生産力
ト云フモノヲ十分ニ見テ、其處ニ松ヲ植エ
ルカ、杉ヲ植エルカ、或ハ櫟ノヤウナ薪炭
林ヲ作ルカト云フヤウナコトヲ決定スルノ
デアリマス、「森林所有者ノ經濟的能力」ト
申シマスノハ、杉ノ伐期デアリマシテモ、
色々アリマシテ、長イ所デハ百年位ノ伐期
ヲ採ル所モアリマス、或ハ短イ所デハ三十
年位ノ伐期ヲ採ル所モアリマス、大體其ノ
人々ノ經濟的能力ト云フコトモ考ヘナケレ
バナラス、又實地ニ於キマシテ、薪炭林ノ
ヤウナ資金ノ回收ノ早イモノヲ設ケルカ或
ハ用材林ヲ造ルカ、斯ウ云フヤウナコトモ
ヤハリ其ノ人ノ經濟的能力ト云フコトヲ十
分ニ考慮シナイトイケマセヌノデ、サウ云
フコトヲ考慮シテ施業案ヲ作ル、斯ウ云フ
譯デアリマス

○伊東委員 同ジ第九條中ノ第二項ニ「地
方長官必要アリト認ムルトキハ前項ノ施業
案ノ變更ヲ命スルコトヲ得」トアリマスガ、
「施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得」ト云フ場
合ハドンナ場合デアリマスカ、モウ一ツハ
次ノ項ニ「第一項ノ規定ニ依リ施業案ヲ編
成スルコトヲ要スル者又ハ前項ノ規定ニ依
リ施業案ノ變更ヲ命セラレタル者之ヲ編成
セス又ハ變更セサルトキハ地方長官ハ其ノ

者ニ代リテ之ヲ編成シ」云々トアリマスル
ガ「其ノ者ニ代リテ」ト云フノハ、地方廳ニ
施業案ヲ編成スル何カ代行機關デモ出來ル
ノデアリマスルカ、此ノ點ヲ御伺シタイト
思ヒマス、尙ホ施業案編成ニ當ツテ其ノ物
件ニ擔保等ガアツタ場合ニハ、相當顧慮セ
ネバナラス問題デハナカラウカト思フノデ
アリマスルガ、是等ノ點ニ付テ御伺致シマ
ス

○村上政府委員 變更ヲ命ズルト申シマス
ノハ、施業案ガ如何ニモ實地ニ適シナイ
施業案ハ各個人ガ作ルノデアリマスルカ
ラ、是ガ例ヘバ公益ニ適シナイヤウナ施業
案ヲ作ツタリスル、即チ荒地ニ杉ヲ植エ
ト云フヤウナコトハ、是ハ實地ニ於テ不可
能ノ施業案デアリマスルカ、サウ云フ場合
ニハ施業案ノ變更ヲ命ズル、或ハ杉ヲ二十
年デ全部伐ルト云フヤウナ施業案デモ作
テアレバ、サウ云フコトハ變更ヲ命ズル、
斯ウ云フ譯デアリマス、ソレカラ施業案ノ
變更ヲ地方長官ガスルト云フノハ、御承知
ノ通り府縣ニハ山林ノ技術官ガ相當居リマ
スカラ、其ノ者ニ命ジテ施業案ヲ作ル譯デ
アリマス、尙ホ其ノ森林ガ擔保ニ入ツテ居
ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、施業案ノ編
成方針ニ於テモ多少サウ云フコトモ考慮シ

テ作ラナケレバイカスト思ヒマス

○伊東委員 此ノ第十條デアリマスルガ、
是ハ非常ニ大切ナ、今度ノ改正サレタ中デ
モ一番重要ナ問題デアルト思フノデアリマ
ス、第十條ノ適用ヲ受クル者ノ山林反別ハ
五百町歩以上トナルコトト思フノデアリマ
ス、尙ホ伐採ノ方法竝ニ伐採ニ伴フ指定事
項トアリマスルガ、此ノ指定事項トハドン
ナモノデアルカ、是ガ非常ニ大キナ問題ダ
ト思フノデアリマスルカ、之ヲ詳細御説
明ヲ願ヒマス、尙ホ本案ニ依ツテ早伐、濫
伐、過伐ガ防止サレルト云フコトニナルノ
デアリマス、殊ニ本條ニ依ツテ幼齡樹ノ伐
採制限ト云フヤウナコト等ガ確保サレルノ
デ、木材ノ供給確保ノ上ニ於テハ是非此ノ
方針ニ依ラナケレバ已ムヲ得ヌコトト考
テ居リマスルケレドモ、本條ニ依ツテ非常
ナル無理ガ起ルコトト思フノデアリマス、
併シ濫伐ヲ防グ絕對ノ方法トシテハ斯様ナ
方法ニ依ラナケレバナラナイカトモ思フノ
デアリマスルケレドモ、此ノ點ハ餘程將來
ノ監督指導ノ上ニ於テモ大切な問題デア
ルト思フノデアリマスルガ、ドウゾ分り易ク
御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

施業案編成未済ノ森林等ニ付キマシテハ斯
ウ云フ法條ガアリマセスト、或ハ幼齡林ヲ
濫伐シ、或ハ早伐スルト云フヤウナコトガ
ナイデモナイト思ヒマス、ソコデサウ云フ
ヤウナ弊ガ顯著デアルト云フ場合ニ於キマ
シテハ、施業案編成未済ノ中ニ伐採ノ方法
ニ付テ一定ノ指示ヲ爲サウ、即チ例ヘバ三
十町歩以上ノ皆伐ハシテハイカストカ、尤
モ是モ地勢ニ依リマス、三十町歩以上ノ皆
伐ヲシテ宜シイ所モアラウト思ヒマスガ、
山嶽ノ相當峻峻ナ所デ森林涵養上、或
ハ治水其ノ他ノ關係上保安林ニスル必要
ハナイケレドモ、非常ニ大キナ空地ガ
一遍ニ出來ルト危險デアルト云フヤウ所
モアル、左様ナ場合ニ於テハ一定ノ期
間ダケハ五十町歩或ハ三十町歩以上ノ皆
伐ヲシテハイカヌ、斯ウ云フノモ、伐採方
法ノ指定ニナルノデアリマス、又場合ニ依
レバ幼齡林ノ二十年位ノ木ヲ一遍ニ皆伐ス
ルト云フヤウナ弊ノアル所デアレバ、何年
間ハ二十年以下ノ森林ヲ何町歩以上一遍ニ
伐ツテハイカヌ、斯ウ云フヤウナ指定ヲ爲
サウ、是ハ要スルニ施業案ガ出來レバ施業
案ニ準據シテ仕事ガ出來ルシ、又施業案ニ
準據セズシテ亂暴ナヤリ方ラスレバ、第十
一條デ伐採停止モ命ジラレマス、施業案編

成未済ノ地ニ於テ施業案ノナイコトヲ奇貨
ト致シテ亂暴ナ森林ノ施業ヲヤルヤウナ場
合ニ付テ、特ニ必要アル場合ニ於テ斯ウ云
フ規定ヲ設ケテ、濫伐、早伐ヲ防ガウト云
フノデアリマス、隨テ地方長官ガ此ノ命令
ヲ下シマスニハ、餘程ソコニ慎重考慮ヲ要
スルコトト考ヘテ居リマス、勿論農林大臣
ノ指揮ヲ受ケテヤラナケレバイカヌ、斯ウ
考ヘテ居リマス

○伊東委員 十條ト併セテ最モ大切ナル問
題ハ十一條ノ問題デアリマス、是ハ造林ヲ
セザルモノニ對スル造林命令ノ問題デアリ
マス「公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有
者第九條ノ規定ニ依ル施業要件ニ準據セス又
伐採、造林其ノ他ノ施業要件ニ準據セス又
ハ前條ノ規定ニ依ル指定ニ從ハサルトキハ
行政官廳ハ伐採ノ停止ヲ命ジ又ハ其ノ者ニ
代リテ自ラ伐採、造林其ノ他施業上必要ナ
ル行爲ヲ爲シ若ハ公共團體ヲシテ之ヲ爲サ
シムルコトヲ得」トアリマスガ、一體造林ヲ
代ツテ爲ス公共團體トハ何ヲ指スノデアリ
マスカ、此ノ點、左様ナ場合ニハ無論國庫
ハ之ニ助成金ヲ與フルコトト思フノデアリ
マスガ、其ノ助成金ノ内容、モウ一ツハ伐
採禁止ノ問題デアリマスルガ、是ガ一番當
業者ノ苦痛トスル所デアラウト思フノデア

リマス、併シ之ニハ後段ニ於テ緩和ノ途ガ開カレテ居リマス、即チ「前項ノ伐採停止ニ關スル規定ハ森林所有者カ其ノ生活ヲ維持スル爲ノ已ムヲ得サルニ出テタル伐採ニ付テハ之ヲ適用セス」トアリマスガ、其ノ生活ヲ維持スルニ已ムヲ得ザルト云フ意義ヲハツキリシテ戴クコトガ必要ダト思フノデアリマス、此ノ點ヲ御伺致シマス

○村上政府委員 公共團體トハ市町村ヲ申シマス、此ノ金ハ結局其ノ造林ヲ怠ツタ人カラ取ツテ市町村ニ交付スルコトニナリマス、ソレカラ「生活ヲ維持スル爲ノ已ムヲ得サルニ出テタル伐採」ト云フノハ、之ヲ伐採シナケレバ破産ノ宣告ヲ受ケル、或ハサウデナクとも一家離散スル、或ハソレニ類スルヤウナソコニ於テ從來通りノ生活ヲスルコトガ出来ナクナルグラウト云フヤウナ時ヲ言フノデアリマシテ、外ニ物ガアツテソレヲ賣ツテモ宜イノダケレドモ木ヲ伐ルノガ便利ダカラ伐ツタ、斯ウ云フヤウナ便宜的ナ場合ヲ含ミマセヌ

○伊東委員 地方デハ能ク山林ノ收入ヲ教育費ニ充テルト云フ方針デ造林ヲ爲シテ居ル者ガ多イノデアリマス、例ヘバ長男ノ教育費ハ此ノ山、次男ノハ此ノ山、三男ノハ此ノ山ト云フ工合ニ、初メカラハツキリサシ

テ造林ヲシテ居ルト云フヤウナ場合ガアルノデアリマス、若シ夫レ其ノ伐採ヲ禁止サレルト云フコトニナルト生活以上ニ困ル、自分ノ子供ノ教育ニ支障ガ起ルト云フコトガ事實アリ得ルト思フノデアリマスルガ、左様ナ場合デモ絶對ハ伐採ヲ御許シナラスノデアリマスカ

○村上政府委員 子供ノ教育費ノ爲ニ木ヲ植エテ行ク場合ニ於テハ、大體其ノ伐期及ビ間伐收入ヲ目的トシテ木ヲ植エラレテ居ルノデアリマシテ、二十年以下ノヤウナ薪ノ値段ニシカナライモノノ伐採收入ヲ目當テニ子供ノ教育ヲスルト云フコトハナカラウト思ヒマスルカラ、サウ云フ御心配ハ普通ノ場合ニ於テハナカラウト思ヒマス

○伊東委員 ソレハ山林局長ノ解釋ガ非常ニ違フノデス、一體教育費ト云フモノガ一番地方デハ困ツテ居ルノデアリマス、教育費ニ充テルノニ間伐位デ教育ノ出来ルモノデヤナイ、是ハ全伐ヲシテモ尙ホ足りナイ、財産ヲ全部賣ツテモ尙ホ足りナイ場合ガ多イノデアリマス、是ハ私ノ地方ナドデハ特ニスウ云ツタヤウナ例ガ多イノデアリマスルノデ、唯「生活ヲ維持スル爲ノ已ムヲ得サルニ出テタル場合」ノミヲ限定サレルト云フコトニナルト、全ク私有權ト云フモノガココ

デハツキリ停止サレルノデアリマスルカラ、非常ニ困ルコトニナルコト思フノデアリマス、之ニ付テハ必ズ各議員カラ非常ニ議論ノ百出スルコト思フノデアリマスルガ、ナントカモウ少シ緩和ノ途ヲハツキリ法律ノ上ニ於テ明ケテ置カレルコトガ非常ニ必要ダト思フノデアリマス、今御説明ノヤウナ建前デ行クト云フコトニナルト、折角山ヲ育テテモ其ノ山ガ役ニ立タヌト云フコトニナルノデアリマス、モウ少シナントカ考ヘ直サレル考ハナイノデアリマスカ

○村上政府委員 教育費ニ充テル爲ニ山ヲ伐ル場合ニ於テ、山ノ造林費ノ費用ニモ償ハナイヤウナ値段デ處分スルコトハ恐ラクアルマイト思フ、二十年以下ノ木ヲ伐ルト云フ場合ハ是ハ造林費ニモ達シナイカラ、恐ラク山ヲ伐ラレテ教育費ニ充テラレルト云フノハヤハリ相當ナ伐期ニ達シテ居ル、三十年或ハ三十五年ニ達シテ居ル所ノ山ヲ伐ラレルノグラウ、マサカ一町歩百圓ニモナラナイヤウナ薪ニスルヨリ仕方ガナイト云フヤウナ造林地ヲ伐ツテ教育費ニ充テラレルト云フコトハアルマイト思フ、ソコデ三十年トカ三十五年デ伐採サレルノハ是ハモウ吾々ノ方デハ一々ソレヲ伐採停止ハ致サナイ積リデアリマス、左様ナコトハナイ

ト思ヒマス

○伊東委員 其ノ救済策ニ付テハ後デ更ニ御尋シタイト思ヒマス、尙ホ十一條ノ三ノ命令事項ノ中國土保安其ノ他公益上特ニ必要アル場合ニ限ルモノトナツテ居ルノデアリマスガ、如何ナル場合ヲ指スノデアリマスルカ、其ノ具體的ノ説明及ビ其ノ施業技術員、是ハ施業技術員ノ押賣ニナルノデアリマス、造林者ハ洵ニ迷惑ヲスルト思フノデアリマスルガ、左様ニ施業技術員ノ押賣ヲサレタ場合ニ、技術員ト造林者トノ間ガ果シテ圓滿ニ協調ガ出来ルカドウカト云フ問題、及ビ費用ハ造林者ノ負擔ニナルノデアリマスルケレドモ、其ノ中技術員ノ補助ダケハ若干アルヤウニ考ヘテ居リマス、尙ホ技術員給ノ外ニ補助ガアル場合ノ其ノ内譯ヲ聽キタイト思フノデアリマス

○村上政府委員 是ハ大キナ山ガ非常ニ荒廢シテ居リマシテ、相當技術的ニ管理シナイト、下流ニ洪水ガ起ル、斯ウ云フヤウナ國土保安上特ニ必要ナ場合ニ限ツテ命ズルノデアリマシテ、是ハ極メテ特例デアリマス、勿論技術者ヲ押賣スルト云フヤウナ考ハ毛頭ゴザイマセヌ、ソレカラ若シ命令ヲ受ケタ技術者ト所有者トノ間ガウマク行カナクナリヤシナイカ、斯ウ云フヤウナ御話

デアリマスガ、勿論此ノ人ハ雇入ハ命ゼラレマシテモ雇入レラレタ限リ、ヤハリ所有者ノ使用人デアリマスカラ、所有者ノ命令ヲ守ツテ忠實ニ其ノ職務ヲ執行シナケレバナラヌノデアリマス、決シテ官吏或ハ官吏ニ類スル者デハナイノデアリマス、ソコハヤハリ所有者ノ統制ニ服シテヤルベキデアルト考ヘテ居リマス

ソレカラ補助ハ俸給旅費ノ三分ノ一ヲ森林組合ノ場合ニハ補助スルコトニナツテ居リマス、又市町村ニ於キマシテハ治水費ニ依リマシテ縣ノ職員ヲ市町村ニ駐在サセルト云フ制度デアリマシテ、今三百數十人置イテ居リマスカラ、之ヲモウ少シ増シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 ソコデ考ヘマスルノニ、第九條ニ於テモ施業案ヲ強制サレノデアリマス、第十條ニ於テモ幾多ノ條件ヲ指定サレノデス、第十一條ニ於テハ伐採ヲ停止シテ私有權マデ失フノデアリマス、第十一條ノ二及ビ三ニ於テモ色々ノ命令事項ガアルノデアリマス、其ノ他段々ナル制限事項ノ爲ニ造林者ハ造林ニ對シテ嫌氣ガ出ヤシナイカト思ヒマス、コンナニドウモ干渉サレルナラバ何カ他ノコトヲヤツタ方ガ宜イト云フヤウニ思想上ニ非常ニ良クナイ

考ガ出來テ、林業ノ發展ニ支障ガ起リヤシナイカ、生産ヲ阻止スルヤウナ憂ハナイカ、之ヲ救済スルニハ色々ナ方法ガアルト思フノデアリマスルガ、此ノ救済ノ方法ニ付テ如何様ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマスルカ、尙又此ノ法律ガ出タ場合ニハ可ナリ民間デハ反對論ガ起ルト思フ、此ノ法律ハ通過サセナケレバナリマセスカラ通過シマス、併シ此ノ場合ニ民間デハビツクリシテ反對ガ起ル、斯ウ私ハ今カラ想像ヲ致シテ居リマスルガ、是等ニ對シテ今カラ當局トシテハ準備ガ必要ダ、斯ウ云フ工合ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點如何デアリマスカ

○松村政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ私カラ御答ヲ申上ゲマスガ、私共ハ此ノ案ガ通りマシテモ、山林ノ所有者ヲ左様ニ刺戟スルモノトハ存ジテ居リマセス、是ハ決シテ山林ヲ持ツテ居ル人ノ利益ヲ阻害シナイ、ソレカラ施業案ナドニ付キマシテモ、成程御質問ノヤウナ風ニ御心配ニナルノハ御尤デアリマスガ、ソレハサウ云フ強イ意味ヲ期シテ居ル譯デハアリマセヌノデ、サウ云フ人ガ造林ヲスル時ニ、將來斯ウ云フ風ニシテ施業シ、利益ヲ擧ゲテ行カウト云フ其ノ人々ノ考ヲモ多分ニ入レテ行クコトデアリマスカラ、山林ノ所有者ニ此ノ法案ガ通

リマシテモ、其ノヤウナ心配ヲ掛ケルコトハ大體ナカラウ、又ナイヤウニ努メタイ、其ノヤウニ考ヘテ居リマス、其ノ趣旨ハ十分徹底致スヤウニ致シマス、山林所有者ノ利益ヲ阻害スルモノニアラズ、其ノ利益ヲ増進擁護スルモノデアルト云フコトノ趣旨ヲ十分徹底シテ、サウ云フ御心配ヲ除キタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 只今ノ御答辯ニ依リマスト、施業案其ノ他、餘リ強イ意味ノ法律デヤナイト云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、第九條、第十條、第十一條ノ二、三、是レ位ノ強イ法律ハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、モウ殆ド是ハ私有權ニ或ル程度束縛ヲ受ケルノデアリマスカラ、非常ナル苦痛ヲ感ズルコトニナルノデアリマス、私モ大體之ニ付テハ研究シテ見マシタケレドモ、中々研究スレバスルダケ疑問ガ出來テ、サツパリ何ガ何ヤラ分ラヌヤウニナツテシマツテ、最後ハドウモ餘程ノ反對ガ起リハシナイカ、斯ウ云フ結論ヲ持ツテ居リマス、ソコデ特ニ斯ウ云ツタヤウナ厄介ナ條文ニ向ツテハ能ク説明ヲ求メテ、又私達モ一般ニ之ヲ説明シテ、眞ニ此ノ法律ガ活キテ行クヤウニシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、今ノ私共ノ考デハ是ハ容易ナラザル間

題デハナカラウカト思フノデアリマス、併シヤツテ見レバソレ程デモナイカモ知レマセスケレドモ、是ハ難問題デアアル、容易ナラザル問題デアリマス、ソコデドウシテモ之ヲ救済スル途ヲハツキリ今カラ明ケテ戴イテ、民間ノ反對ノ聲ガ起ラナイヤウニ積極的ナ對策ヲ、森林振興ノ立場カラ御立テヲ願ハナケレバナラヌノデアリマスガ、之ニ付テハ本會議デモ可ナリ議論ガアリマシタ金融對策ノ問題、是ハドウシテモ一番必要ナ問題デアリマス、木ヲ育テテ、伐ルコトガ出來ナイトスルナラバ、茲デ金融ノ途ガ閉ザサレルノデアリマスカラ、之ヲ緩和スルニハ金融ノ途ヲ立テレバ民間ノ反對議論ヲ抑ヘルコトガ出來ル、ソコデ民間ノ方デモ我慢スルコトガ出來ルト云フコトニナリマスノデ、特ニ金融ヲ圓滑ニスル根本的ナ案ヲ立テテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ從來色々サウ云ツタヤウナ考デ微溫的ナガアルノデアリマスケレドモ、少クトモ此ノ法律ガ改正サレル以上ハ思フ其ノ點ニ置カレルコトガ一番必要ダト思フノデアリマスガ、此ノ場合ニ左様ナ問題ヲ解決スル爲ノ金融機關トシテハ色々ナ案ガアルコトト思フノデアリマス、即チ森林組合ヲ作ルト云フ趣旨モ其ノ點デアリ、

之ニ縣ノ聯合會ヲ作ルト云フヤウナコト、或ハ全國ノ聯合會ヲ作リ林業金庫等ヲ作ルカ、或ハ産業組合ト漁業組合ノ關係ノヤウナ金融施設ニ改組スルカ、何レニ致シマシテモ林業金融ト云フモノガ非常ニ長期ヲ要スルモノデアリマスカラ、特ニ低利デナケレバナライノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ他ノ委員カラモキツト質問ガアツタコトト思フノデ、重複スル虞ガアルカモ知レマセヌガ、一ツ納得ノ行クヤウニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○松村政府委員 只今ノ御尋ハ御尤ノ點デアリマシテ、昨日モ他ノ委員ノ御方カラ御質問モアリマシタガ、實際森林金融ハ豫テノ懸案デアリマシテ、尙ホ今日デモ解決シテ居リマセヌコトハ洵ニ遺憾ナ點デアリマス、今度斯ウ云フ、組合ガ出來マシタナラバ、之ニ依ツテモヤハリ金融ハ幾分カハ圓滑ニナルトハ思ヒマスケレドモ、併シナガラ本當ノ森林金融ノ問題ヲ解決スルニハ勿論足リマセヌ、殊ニ又今仰セラレルヤウナ御心配モアルコトデアリマスカラ、森林組合ニ付キマシテハ根本的ニ一ツ考ヘタイト思ヒマス、ソレデ其ノヤリ方ニ付キマシテハ只今御話ノヤウニ森林組合ヲ作リマスカ、或ハ勸業銀行ナドヨリ特ニ森林ニ對スル貸付ヲ

増スヤウニ致シマスカ、ソレ等ノコトニ付テハマダ決ツテ居リマセヌガ、併シ省内ニ其ノ問題ヲ解決スル爲ニ今度委員會ヲ設ケマシテ、ソレデ省内ノミナラズ大藏省ノ關係ノ人達モ委員ニ御願ヲシテ、既ニ調査ニ著手致シテ居リマス、隨デ只今ノ所其ノ調査ノ結果ヲ俟タナケレバ、ドウ云フ方法デ此ノ問題ヲ解決スルカト云フコトハ申上ガ難ネマスケレドモ、是非近イ中ニ此ノ問題ヲ解決致シタイト云フコトデ、當局ニ於キマシテハ今日銳意努力シテ居ル所デアリマス

○伊東委員 御話ノヤウニ一ツ特別ナル御配慮ヲ得タイノデアリマスガ、サウスルニ付テハヤハリ山林ヲ擔保トシテ金融ヲ受ケルト云フコトニナリマスノデ、ソレニハ森林保險ノ改善ノ問題ガアリマス、是ハ常識のカラ言ヒマシテモ、保險料ノ低下、保險標準金額ノ向上、是ガ必要デアルコトハ勿論デアリマスガ、更ニ樹齡二十年マデ保險ヲ掛ケ得ルコトニ相成ツテ居リマスガ、是レ以上ノ二十年以上ノモノニ對シテモ其ノ途ヲ開クコトガ非常ニ必要デアル、又金融擔保力モ一番旺盛ニナル時期デアルノデアリマス、之ニ對スル御意見ハドウデアリマスカ、更ニ天然林ニ對シテ保險制度ヲ發

表スル考ハナイノデアリマスカ、森林保險ノ標準金額ハ杉ノ場合ト、松ノ場合トソレゾレ違フノデアリマスガ、先ヅ松ノ場合ヲ申シマス、一町歩ニ付テ五年以下ガ八十圓、十年以下ガ百五十圓、十五年以下ガ二百圓、二十年以下ガ三百圓ト云フコトニナツテ居リマス、保險料カラ申シマス、千圓ニ付テ一箇年十年以下ノモノニ付テハ五圓八十二錢、二十年以下デ四圓四十七錢ト云フコトニ相成ツテ居リマス、右ノヤウニ保險料ガ高クテ、サウシテ保險標準金額ガ低イト云フコトデハ擔保價值ガ非常ニ低減スル、ドウシテモ此ノ問題ヲ積極的ニ御改正ニ相成ラザレバ、假ニ林業銀行ガ出來テモ、其他ノ金融機關ガ出來マシテモ駄目ダ、斯ウ云フコトニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點一ツシツカリシタ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○松村政府委員 只今ノ保險ノ御話デアリマスガ、森林保險ヲ設ケマシタ際議會ニ於テモ色々議論ガアリマシテ、私共モ是デ足レリトハ勿論考ヘテ居ツタノデアリマセヌ、唯アノ場合先ヅ二十年以下ノ幼齡林ニ對スル保險ト云フコトヲ手初メニシテヤツタ譯デアリマシテ、是デ保險料ノ點モ満足トハ思ツテ居タ譯デアリマセヌガ、先

ヅ基礎ダケ早く作ツテ實行シタイ、斯ウ云フヤウナコトデアノ時ハ政友會モ民政黨モ政府モ一ツニナツテ此ノ問題ヲ解決シタ譯デアリマス、爾來今日マデノ經過ハ幸ニ惡クハナイノデアリマスガ、御話ノ通り料金モ高イシ、金額モ僅カデアリマスルシ、是デハ決シテ満足致シテ居リマセヌ、殊ニ此ノ森林金融ノ問題ヲ解決スルノニハ、當然此ノ保險ノ問題ト併セテ考ヘルコトガ必要デアリマスノデ、此ノ金融ノ問題ヲ解決スルノニ對シテ必要デアリマスナラバ、保險ニ付テモ十分ノ考慮ヲ致シタイト存ジマス、尙ホソレニ對スル具體的ノ話ハ村上山林局長カラ御答ヲ申上ゲマス

○村上政府委員 只今ノ森林保險ハ幼齡林ニ對シマシテ再造林ノ費用ヲ與ヘヨウト云フ趣旨カラ大體出テ居リマス、金融ト云フ點カラ言ヘバ、二十年以下ノ造林地ノミニ限リマシテハ大ナル效果ヲ期待シ難イト思ヒマス、ソコデ森林金融改善ニ伴フ所ノ保險ノ擴張ト云フコトハ、是ハ洵ニ御尤ナ御意見デアリマシテ、精密ナル所ノ資料ヲ蒐集ガ出來上リ次第此ノ二十年ト云フ保險ヲ更ニ成熟林ニ對シテ——即チ金融ノ客體トナツテ既ニ伐期ニ達シテ居ル所ノ成熟林ニ對シテ之ヲ及ボサナケレバ、金融制度ノ上

カラ言フト現在ノ國營保險デハ極メテ不十分デア、又天然林ニ對シマシテモ出來得レバ擴張シタイト思ツテ居リマス、尤モ天然林ニ對シマシテハ、危險率ノ算定等ニ付キマシテ相當ムヅカシイコトガアリマス、デ、人工造林ト一緒ニ實現出來ルカドウカト云フコトハ一寸御請合ハ致シ兼ネルト思ヒマス、尙ホ保險料率ノ低減デゴザイマスルガ、實施以來一年ノ成績ニ依リマスルト、大體罹災率等ハ割合ニ少ウゴザイマス、是ガモウ少シ續キマシテ、罹災率ノ少イコトガ確定致シマスレバ、保險料率ハ低減致シタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 只今政務次官ノ御話ニ依リマス、國營森林保險ガ出來マシタコトハ非常ニ結構ナコトデ其ノ當時先輩ノ御盡力ニハ感謝致シマス、無論其ノ後ノ成績モ好イト云フ御話デアリマスルケレドモ、是ハ森林業者ガ他ニ頼ツテ金融ノ途ガナイカラ已ムナク不本意ナガラ、不満足ナガラ此ノ保險ニ掛ツテ金融ヲ受ケルト云フコトニナルノデアリマス、先程カラ段々御話申上ゲルヤウニ、此ノ窮屈ナ法律ガ出ルニ付テハ、之ヲ救済スル途ハ其ノ重點ヲ金融ノ圓滑ト云フ點ニ置カナケレバナライノデアリマス、ダカラ此ノ法律ヲ出スト同時ニ此ノ問

題ヲ先ニ寧ロ解決サレルコトガ本當デアツタト云フ工合ニ私ハ思フノデアリマス、斯ウ言ツタヤウナ救済ノ途ガハツキ致シテ居レバ窮屈デア、此ノ法律モ不平ナク、不滿ナク民間デハ喜ンデ迎ヘマスケレドモ、其ノ救済ノ途ハ後廻シニナツテ、唯法デ強制ダケサレルノデハ中々是ハ民間ノ不平ヲ抑ヘ難イト思フノデアリマス、併シ事態ハドウシテモ斯ウ言ツタヤウナ法律ヲ作り、又此ノ改正モ當然シナケレバナラス改正デアリマスケレドモ、造林者カラ言フナラバ、改正サレタ爲ニ或ハ非常ニ迷惑ヲ受ケルト云フヤウナコトニモナリマスルカラ、特ニ段段今マデ御話ノヤウナ救済ノ問題ニ付テハ、特段ノ御配慮ヲ仰ギタイト思フノデアリマス

次ニ六十四條ノ問題ニ付テ少シ質シテ置キタイト思ヒマス、是ハ森林組合ノ問題デアリマス、組合ノ資格ノ問題ガ一ツ、ソレカラ法人ハ組合員トナリ得ルノデア、ルカト云フコトガ一ツ、モウ一ツハ組合ノ地區ノ問題デアリマス、一體山林ハ地積ガ非常ニ廣大デ人口ハ稀薄デア、而モ部落ハ點在致シテ居リマス、無論施業案ノ山ニ對スル統制デアリマスカラ、人ノ統制デハナイノデアリマスケレドモ、是ハ人ト山トヲ共ニ考ヘナケレバナラス問題デアリマス、法ニ

依リマスルト、一町村ヲ一區域ニスルコトガ標準ニナツテ居ルヤウデアリマス、無論監督指導ノ上ニ於テハ此ノ區域ガ最モ宜イト考ヘテ居リマスルケレドモ、非常ニ地域ノ廣イ場合ニハ、別ニ方法モ設ケテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、兎ニ角山林ハ廣イノデアリマスカラ、此ノ區域ノ問題付テハ可ナリ考ヘネバナライ、併シ組合ヲ小サクスレバ經費ノ負擔ガ過重ニナリ、大キクスレバ組合ノ統制ガ執レズニ目的ヲ達セラレナイ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、之ヲドウ云フ工合ニ御考ニナツテ居ラレマスルカ御伺致シマス

○村上政府委員 大體一町村ト考ヘテ居リマスガ、特別ノ事情アル場合、即チ非常ニ大キナ村デアリマシテ、林域ガ二ツニ分レテ居ル、斯様ナモノニアリテハ二組合或ハ三組合ガ出來ルコトモアラウト思ヒマス、其ノ反對ニ兩村ニ跨ツテ居ルト云フヤウナ場合ニ於テハ兩村一區域トスル森林組合ヲ作ツテモ宜シイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラモウ一ツノ御質問ハ一寸聽取レマセヌデシタガ、何法人デゴザイマスカ

○伊東委員 造林會社見タイナモノモ法人ノ一ツデアリマスガ、サウ云ツタヤウナ場

合……

○村上政府委員 森林組合ニハ營利會社デモ無論組合員ニナレマス、亦ナル義務ガアルノデアリマス

○伊東委員 七十條ノ問題ニ付テ簡單ニ御尋致シマス、「森林組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムルコトヲ得」トアリマスガ、無論出資ハ強制サレテ居リマセヌ、然ラバ無出資組合ヲ認ムルコトニナルノデアリマスルガ、無出資組合ト云フコトニナルト資本ガ無いノデアリマスルカラ活動ニ支障ガ起ル、然ルニ組合員ハ森林ヲ持ツテ居リマスルノデ、施業案ニ依ツテ其財產權ノ先取權モアルノデアリマスガ、低利資金等ノ融通ニ依ツテ活動モ出來ルノデアリマス、併シ無出資ニナリマスルナラバ、大體ガ借錢ヲ目標ニシテ行カナケレバナラスヤウニ思フノデアリマス、併シ賦課金ガアリマスカラ、ソレノミデ生キテ行クノデアリマスカ、是ハ分リ切ツタヤウナ問題デアリマスケレドモ、此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○村上政府委員 無出資組合ハ、經費ヲ賦課シテ之ヲ取立テルコトニ致シマス、無出資組合ト雖モ、低利資金ノ融通ハ可能デゴザイマス

○伊東委員 無出資組合デモ無論金融ハ可能デアアルコトハ、其ノ通りデアリマス、森林組合ニ對スル問題ハ、此ノ程度デ大體分リマシタ、併シ内容ニ付テハドウモ分ラスコトガ多イヤウデアリマスケレドモ、此ノ程度デ質問ヲ終リマス

更ニ林業種苗法ニ付テ若干御尋シタイト思フノデアリマス、林業種苗法ト云フ法律ガ制定サレルコトハ、洵ニ喜バシイコトデアリマス、造林ノ成績ガ其ノ種苗ニ依存スルト云フコトモ、全ク其ノ通りデアリマシテ、種苗ノ良否ハ數十年ノ後ニ其ノ結果ガ現ハレテ來ルノデアリマス、其ノ種苗ノ選定ヲ誤ツタナラバ、永年ノ努力ガ水泡ニ期シマスルノデ、本法ノ出現ニ依ツテ其ノ效果ヲ確信スル者デアリマスガ、此處デ御尋致シタイコトハ、母樹及ビ母樹林ノ問題デアリマス、第三條ノ第一項ノ命令事項ハ、主トシテ此ノ種子林ニ關スルコトノヤウニ思フノデアリマス、其ノ命令事項ハ「母樹又ハ母樹林ノ適格性ハ環境條件中庸以上ノ土地ニ於テ普通以上ノ生長ヲ爲シタル場合相當豐富ニ結實スル樹齡ノ範圍ニ在リ材質良好ニシテ健全ナル生育ヲ爲スモノトスルコト」トアルノデアリマス、仍デハ種子林ニ依ル母樹若クハ母樹林ヲ目指シタモノ

ト思フノデアリマスガ、九州地方デハ、種子ニ依ル苗木ハ絶對植エナイノデアリマス、殊ニ吉野杉ノ如キハ絶對不適當デアリマスカラ植エナイ、何ヲ植エルカト云フト、杉デハ穂木ニ依ル苗木デアリマス、サウスルナラバ、杉ノ穂木ヲ採ル適格性ト申シマスト、ドウ云フ場合ヲ此ノ適格性ト御考ニナツテ居ルノデアリマスカ、此ノ點デアリマス

○村上政府委員 九州地方ノ杉ハ挿穂造林デゴザイマス、此ノ挿穂ヲ採ル木モ母樹林トシテ指定シテ宜シイト思ツテ居リマス、此ノ命令事項ハ種子ヲ採ル方ガ多イモノデスカラ、ソレヲ標準ニシテ茲ニ書キマシタノデ、九州地方等ニ於キマシテハ、挿穂ノ母樹モ考ヘテ宜シイト思ツテ居リマス

○伊東委員 種ニ依リマスル母樹又ハ母樹林ハ、大體適格性ガ想像ガ著キマスケレドモ、穂木ヲ採ル母樹、母樹林ノ適格性ヲハツキリシテ戴カナイト、將來ハ非常ニ大切ナ、大キナ問題デアルノデ、此ノ爲ニ地方ノ造林ヲ非常ニ荒廢セシムルト云フ虞ガアルノデアリマス、ソコデ種子ニ依ル採取林ハ、先程カラ申シマスマウニ、母樹ノ指定モ、又保護モ簡單ニ行ケマスケレドモ、穂木ニ依ル母樹若クハ母樹林ハ容易

デハナイノデアリマス、先程カラ申シマスマウニ、宮崎縣デハ實生杉苗ノ如キハ一本モ植エマセヌ、全ク吉野杉ノ如キハ植エル者ガナイノデアリマス、即チ飢肥杉ト云フ特徴ヲ持つテ居ルモノデ統制ヲサレテ居リマス、同ジ飢肥杉ニ致シマシテモ十三四種類アリマスルガ、只今其ノ中デ飢肥ノ赤杉ト云フモノヲ殆ド一般ニ採用致シテ居ルノデアリマシテ、適格性カラ言ヒマスルナラバ、此ノ品種等ニ付テモ、同ジ杉ノ穂木母樹林ト言ヒマシテモ、サウスツタモノニ非常ニ關係ガアルノデアリマス、又種ヲ採ル母樹林ト穂木ヲ採ル母樹林トハ非常ニ違フノデアリマス、非常ニ廣イ面積ヲ要スルノデアリマシテ、實際問題トシテハ區域ノ決定ノ如キモ容易デハアリマセヌ、又母樹林ノ區域ヲ決定致シマシテモ其ノ中ニ不良性ノモノモ存在ヲ致シテ居リマス、或ハ穂木ヲ濫取致シマスルナラバ、非常ナル母樹ニ被害ガアリマスノデ、殊ニ此ノ穂木ヲ採ル種類ハ、私共ノ見ル所ニ依ルト、ヤハリ十年乃至二十五年以内ノ生長旺盛期ノ穂木ニアラザレバ完全デナイノデアリマス、是ハ非常ニ大切ナル問題デアリマスカラ、此ノ適格性ト云フコトニ付テハ、特ニ一ツハツキリ御答辯ヲ得テ置キタイト思フ

ノデアリマス

○村上政府委員 種子ヲ採ル母樹林ト、穂木ヲ採ル母樹林トハ無論違ハナケレバナラヌ、種子ヲ採ル母樹ハ相當ナ壯齡ノ樹デナケレバイケナイガ、穂木ヲ採ル母樹ハ只今仰セノ通りニ若木デ、生長ノ旺盛ナモノヲ採ルノガ當然デアリマス、隨テ九州ノ飢肥等ニ於テノ穂木母樹林等ニ付テハ十分技術的ニ研究致シマシテ、飢肥杉ガ今仰セノ通り十數種モアルカラ、其ノ中ノ赤杉ガ一番宜シイカ、更ニ二三交ヘルカ、ソコヲ所モ十分ニ研究シマシテ、實行致シタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 第七條ノ第一項ノ命令事項ハ御示シノ通りデアリマシテ、「母樹又ハ母樹林ノ所有者ニ對シテハ母樹又ハ母樹林ノ價格ヲ基準トシテ一定ノ金額ヲ毎年補償スルモノトスルコト」トアルノデアリマス、所デ杉ノ穂木ノ採取林ニ對スル補償ノ方法ハ如何ト云フ問題デアリマス、先程カラ申シマスルヤウニ、種ハ壯齡ノ杉母樹林カラ採ルノデアリマス、穂木ハ幼齡樹デナケレバイケナイノデアリマス、ソコデ澤山採ルト非常ニ被害ガアル、其ノ頃合ヒガ非常ニムジカシイノデアリマス、少量ノ穂木ヲ採ルト云フコトニナルト、廣大ナル面積ノ母樹

林ヲ必要トスル、而シテ穗木ノ生産費ハ非常ニ高クナル、面白コトハ只今官行林ヲヤツテ居ラレマスガ、官行林ノ穗木ハ、豫算ガ少ナイノデアリマスカラ、安ク買ハナケレバナラス、所デ幼樹林ハ高ク付クノデアリマスカラ、ドウ云フモノヲ官行林ニ民間ノ者ガ納メルカト云フト、全伐ヲシタ三十年、四十年ノ老齡ノ杉ノ木ノ枝ヲ取ツテ納メルノデアリマス、ソレナラバ一本カラ何百本ト云フ穗木ガ採レルノデアリマスカラ、非常ニ安クツクノデアリマス、其ノ結果、御承知ノ通り官行林ノ成績ガ惡イコトハソレガ原因ヲナシテ居ルノデアリマス、民間ノモノハドウカト云フト、自分ノ母樹林ノ中カラ選リ取りヲシテ、十年二十年ノ一番良イ杉カラ、一本カラ三本カ四本ツツ採ルノデアリマスカラ、隨テ母樹モ傷マナイシ、穗木モ亦優良ナモノガ採レルト云フコトニナルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ問題ハ此ノ法律ガ如何ニ机ノ上デ拵ヘラレタカト云フコトガハツキリ分ルノデアリマス、全ク是ハ机ノ上ノ法律デアツテ、實際之ヲ適用シテ見ルト此ノ法律ノ適用ハ出來マセヌ、又無理ニ之ヲ適用スレバ、第五條或ハ其ノ他ニ依ツテ補償ノ方法モハツキリシテ居リマスガ、補償ノ金モ是ハ相當多額

ニ準備シナケレバ、完全ニ穗木母樹林ヲ擁護シ、且ツ完全ナル穗木ニ依ル苗木ヲ養成スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリマスカラ

○村上政府委員 色々御教ヘテ戴キマシテ私モ得ル所ガ多クタト思ヒマス、御承知ノ通り、自分ノ造林ヲスル爲ニ自分ノ山カラ採レルモノハ、是ハ別ニ母樹トシテ指定スル必要モナカラウト思ヒマス、茲ニ母樹トシテ指定シマスモノハ、苗木商等ノ生産スル所ノモノニ對シマシテ母樹トシテ指定シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、補償ニ付キマシテモ、種ヲ採ル所ノ母樹ト穗木ノ母樹トニ付キマシテハ補償ノ算定方法等モ違ヘナケレバナラスト云フコトハ勿論デアリマス、サウ云フ點ハ實施ニナリマス時ニ十分研究シテ作リタイト考ヘマス

○小山委員長 伊東君、御諮リ致シマス、アナタノ御質問中農林大臣ニ對スル御質疑ハ之ヲ保留シテアリマシタ、只今大臣御出席デアリマスカラ、此ノ際御質問ヲ願フコトガ宜シイト思ヒマス

○伊東委員 然ラバ保留致シマシタ農林大臣ニ對スル質問、即チ森林政策ニ關スル問題及ビ森林ノ將來ノ御方針等ニ付テ二三承

リタイト思フノデアリマス、其ノ中ノ一番大キイ問題ト申シマスルカ、御尋シタイコトハ、私昨日ハ出席致シマセヌデシタガ、一昨日松浦委員カラ非常ニ力説サレマシタ森林特別會計ノ問題ニ付テハ私モ同様ノ感ヲ持ツテ居ルノデアリマス、全國土ノ七割ヲ占メル山林資源ノ開發、戰時體制下ニ於ケル生産擴充計畫ノ重點ヲ斯ウ云フ方面ニ置クコトガ非常ニ必要ダト思フノデアリマス、隨テ森林振興費ニ其ノ收入ヲ還元スルト云フコトハ當然デアルト思フノデアリマス、私ハ此ノ場合ニ於テ一步ヲ進メテ「パルプ」事業ヲ國營ニシタラドウカ、サウシテ得ラレタ莫大ナ利益金ヲ還元シテ森林國策ヲ樹立シタラドウカト思フ、企畫院デハ「パルプ」ノ五箇年計畫ト云フモノヲ決定サレマシテ、昭和十七年マデニ百六十五萬噸ノ生産目標ヲ置カレテ、サウシテ國內ノ自給自足ヲ達スルヤウニスル、此ノ爲ニハ新ニ國策會社モ御作リニナルヤウデアリマス、其ノ他色々ナル生産擴充ノ爲ノ計畫ヲサレテ居リマスルノデ、私ハ、此ノ機會ニ更ニ一步ヲ進メテ、積極的、建設的ニ木材「パルプ」工業ヲ國營化シテ、サウシテ國有森林ヲ理想的ニ利用スル、併セテ民有林ノ保護統制ニ資スル、サウシテ國ノ内外ヲ通ズル一

大造林計畫ヲ樹立シテ、恆久性ノアル「パルプ」國策ト相呼應シテ、森林資源ノ開發ニ一路邁進サレタラドウカ、斯ウ思フノデアリマスルガ、之ニ對スル農林大臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス、併シ是ハ非常ニ大キナ問題デアリマスルガ、此ノ場合ニ、「パルプ」國營ヲ提唱スルニ當リマシテ、其ノ特長ト有利ナ點ヲ、時間ヲ省略スル爲ニ列記的ニ申シマスルナラバ、一、其ノ原料即チ資材ハ國有林内ノ大部分ガ「パルプ」原本デアリ、頗ル豊富デアアルコト、二、今後ノ造林ハ國營又ハ部分林制度デ大増殖ヲ圖レバ宜イ、三、外地領土ノ森林資材ノ保護統制ガ理想的ニ圖レル、四、本法ノ改正デ民有林ノ資材ハ確保持制ガ出來ルヤウニナル五、民有林ノ價格ガ合理化サレテ造林ガ盛シニナル、六、動力ハ電氣ノ國家管理デ低廉豊富デアアル、七、森林ヲ保護スレバ水源ガ涵養サレテ發電力ガ増加スル、八、造林ハ長年ヲ要スル難事業デアルカラ、「パルプ」ニ依ル利益金ヲ造林施設費ニ充當スル、九、林業ガ起レバ森林ガ完備シテ國土ノ保全ガ出來ル、十、國土ノ保全ニ依ツテ各種ノ災害ヲ防除スル、十一、災害ノ防除ニ依ツテ河川堤防治水費ガ輕減スル、十二、水害ニ依ツテ崩壊スル耕地ヲ少クシ、生産ヲ

増加スルコトが出来ル、十二、紙ノコトデ、一資本家ノ獨占事業ノ弊害ヲ除去シ得ル、十四、「パルプ」製品ガ低廉トナリ、國民生活ガ安定スル、十五、輸入ヲ防止シテ國際收支ノ均衡ヲ圖リ得ル、斯ウ云フ風ナ利益ガアルト私ハ思フノデアリマスルノデ、極メテ絶體のナ好條件ヲ持ツテ居ル事業デアリマス、資本金或ハ人的資材ノ問題、或ハ既設會社ノ問題等モアリ、色々複雑ナ問題モアリマセウケレドモ、斷ジテ行ヘバ別ニ大シタ問題デハナイ、私ハ斯様ニ思フノデアリマス、特ニ私ノ國營論ヲ堅持スル所以ノモノハ、現時ノ王子製紙會社ノ問題デアリマス、王子製紙會社ノ製紙業ノ獨占ニ依ツテ大衆ガ受ケル脅威ハ蓋シ莫大ナモノデアリマス、而モ王子會社ノ樺太國有林ニ對スル獨占的地位ヲ見マスルト、現在樺太國有林ヨリノ拂下年額ハ千五六百万石ダト思ツテ居リマス、其ノ中王子ノ割當ハ昭和二十二年度マデ毎年九百二十万石、及ビ王子系日本人絹會社ニ百五十万石デアリマスルカラ、合セテ千七十万石、其ノ總量ノ三分ノ二ニ當ツテ居ルノデアリマス、而モ左様ナ見地カラ致シマシテ樺太ノ國有林ト云フモノハ或ル一ツノ營利會社ノ所有林化シテ居ル狀態デアアルコトハ事實デアリマス、斯

ノ如ク國有資源ヲ獨占シテ濫ニ價格的若クハ數量的ノ威力ヲ高揚シテ居ルコトハ大イニ重視セナケレバナナイ問題ダト思フノデアリマス、是ハ王子會社ノ一例ニ過ギマセヌガ、私ハ一般的ノ「パルプ」會社ノ發展ノ儘ニ原本ノ濫伐ヲ放任スルニ於テハ、年ナラズシテ日本ノ森林ト云フモノハ禿山トナツテ荒廢スルコトハ火ヲ賭ルヨリ明カダト思フノデアリマス、故ニ木材「パルプ」工業ヲ國營トシテ幾多ノ弊害ヲ防除シ、是ト併行シテ森林ノ革命的改善振興策ヲ樹立シテ併セテ國土ノ保安ノ重大使命ヲ果スベキデハナイカト思フノデアリマスルガ、私ハ茲ニ自分ノ私見ノ一端ヲ申上ゲテ農林大臣ノ御所見ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 伊東君ノ御質疑ノ點ハ森林特別會計ヲ設ケテ森林ノ收入ヲ地方ニ還元スルノ途ハ考ヘテ居ナイカト云フコトガ一點、今一點ハ國營「パルプ」會社ヲ拵ヘテ「パルプ」資材ニ要スル所ノ森林ヲ整理統制シテ國益ヲ圖ツテハドウデアラウカ、斯ウ云フ御意見デアツタト考ヘルノデアリマス、森林特別會計ノ問題ニ付キマシテハ既ニ本席ニ於キマシテモ一兩度御答辯ヲ申上ゲマシタガ、日本ノ森林政策遂行ノ上カラ言ヒマシテ、將來是ガ特別會計ヲ設クルト云フ

コトハ其ノ必要ガ起ツテ來ルト考ヘテ居リマス、故ニ特別會計ヲ設定ヲ致スト云フコトニ付キマシテハ今日具サニ調査研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯此ノ特別會計ヲ拵ヘタ結果トシテ直チニ非常ナ巨額ナ金額ガ山村ニ還元スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、本年ノ豫算カラ考ヘテ見マスト、サウハナツテ居リマセヌ、ソレハ災害復舊費ヲ含ミマスカラ、サウ云フ結果ニナルノデアリマシテ、平年度ニ於テ災害ノナイ場合ニ於テハ相當ノ還元ヲ見ルデアラウト考ヘテ居リマス、何レニセヨ此ノ問題ハ目下當局ト致シマシテモ具サニ研究考慮致シテ居ルノデアリマシテ、只今之ニ向ツテ何時之ヲ實行スルトカ、或ハ之ニ對シテ反對デアアルトカト云フコトハ申シ兼ねマスガ、私ノ意見ト致シマシテハ將來是ハ特別會計ヲ設クベキモノデアアル、斯様ナ考カラ致シマシテ調査ヲ致シテ居ルト云フコトダケヲ御答辯申上ゲテ置キマス

第二ノ「パルプ」ノ問題デアリマスガ、是ハ御承知デモアリマス如ク今日「パルプ」ノ國策會社ト云フモノガ出來テ居リマス、出來テ居リマスガ、此ノ會社ハ御承知ノ如ク需要者ヲ中心トシタ株主ガ多イノデアリマシテ、伊東君ノ御話ニナル趣旨ト合致致スカ

致サスカト云フコトニ付キマシテハ茲ニ明言ヲ致シ兼ねルノデアリマスガ、農林當局ト致シマシテハ、此ノ會社ニ對シマシテ相當ナル監督取締指導ト云フモノニ對シマシテハ遺憾ナキヲ期シテ居ルヤウナ譯デアリマス、今日ハマダ「パルプ」資材ト云フモノガ比較的日本ニ於テ生産シテ居ルノハ少イノデアリマスケレドモ、纖維工業ノ前途ヲ考ヘマス時ニ、此ノ點ハ深く注意シナケレバナラヌ問題デアリマスガ故ニ、當局ト致シマシテモ此ノ「パルプ」事業ニ付キマシテハ十分ナル注意ヲ拂ツテ居リマス、「パルプ」事業ヲ國營トシテ致ス結果トシテノ利益ナ點ヲ只今御指摘ニナリマシタガ、御指摘ニナツタ點ニ付キマシテハ大體私モ之ヲ認メル者デアリマス、併シ中々斯ノ如キ事柄ハ簡單ニハ參ラヌノデアリマシテ、既ニ茲ニ一ツノ國策的見地カラ獎勵サレテ出來タ會社ガアリマスノデ、其ノ會社ノ實績ヲモ考慮ニ入レマシテ、更ニ將來必要ガアリマシタナラバ、或ハ御話ノヤウナ計畫モ致サナケレバナラヌカモ知レマセヌガ、今日ニ於テハ今國營ノ「パルプ」事業ヲ致スト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、而シテ森林ノ將來ニ考ヘテ見テ、斯ウ云フ事業ハ國營トシテ、而シテ森林ノ發達ヲ圖ルト云フコトガ宜イデ

ハナイカト云フ御意見ニ付キマシテハ、是ハ認メルノデアリマスガ、今日提案致シマシタ此ノ森林法ノ如キモ、施業案ノ普及其ノ他ヲ俟チマシテ、サウシテ所謂水源ノ涵養、或ハ森林ノ合理的伐採並ニ植林ノ發達、有ユル方面ニ力ヲ注ギタイ、斯ウ云フ見地カラ本案ヲ提案致シタヤウナ譯デアリマス、一應御答辯申上ゲマス

○伊東委員 「バルプ」ノ國營ニ對スル御答辯ハ極メテ圓滑ナ御答辯デアリマス、併シ何レモ私ノ問ニ對シテ外レテ居リマスノデ、私ハドウモ要領ヲ承知スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレトテ之ヲ追究シテ行ツテ見タ所デ、實際問題トシテハ理想論ダト云フコトニ相成リマスルナラバソレマデノコトデアリマスケレドモ、是ハ他ノ國營事業トハ違ツテ、森林自體ガ國有ニナツテ居ルノデアリマシテ、ソコニ澤山ナ「バルプ」資源ガアルノデアリマス、例ヘバ煙草ノヤウナモノハ之ヲ農村ニ作ラセテ、サウシテ其ノ原料ヲ以テ國營ニシテ、煙草ガ專賣サレテ居ルノデアリマス、所デ今申上ゲル「バルプ」ノ如キハ、段々申上ゲルヤウニ、原料自體ノ殆ドヲ國家ガ現在持ツテ、サウシテ其ノ原料ノ經營ヲヤツテ居ルノデアリマスカラ、是ハ他ノ國營事業トハ違ツテ、

極メテ必要ナ、而シテ非常ナ又利益ノアル仕事デアルト云フコトハ、王子製紙ノ如キヲ見マシテモ、最近殆ド二割乃至三割ノ利益率ヲ示シテ居ルヤウデアリマス、其ノ爲ニ昭和十一年度ニハ一舉ニ資本金ヲ三億圓ニ増資ヲ致シ、サウシテ此ノ巨大ナル資本金ヲ悠々ト樺太ノ國有林ニ投資シテ、之ヲ占有シテ居ル、サウシテ大衆ハ市價ノ昂上ガノ爲ニ困ツテ居ル、就中新聞社ノ如キハ一大脅威ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此ノ獨占ニ對シテハ相當檢討スベキ問題ダト思フノデアリマス、ソコデ先程私條項ヲ舉ゲテ申上ゲマシタガ、之ヲ細論スルト非常ニ時間ガ掛リマスカラ申上ゲマセヌガ、是ハ國營トスベキ中ノ一番肝要ナ、又國營トスルニ最モ適切ナル條件ヲ具備シテ居ルモノト思フノデアリマス、唯質問者ノ意見ニハ賛成スルト云フヤウナ意味ダナクシテ、將來ノコトニ付テモウ少シ森林大臣ノ意味深長ナ御話ヲ一ツ聽キタイト思フノデアリマ

マシテハ十分誤ラナイヤウナ政策ヲ立テナケレバナラヌト思ツテ居リマス、只今例ニ御取リニナツテ、王子製紙ガ非常ナ金儲ケヲシテ居ル、巨利ヲ占メテ居ル、國家ガ持ツテ居ル山林ヲ伐出シテ、サウシテ公益ノ事業トモ云フベキ新聞紙ノ紙代ナドヲ高クシテ金ヲ儲ケテ居ルト云フヤウナ御意見ノヤウニ拜聽シタノデアリマスガ、私ハ王子製紙ガドウ云フ經營ヲ致シテ居ツテ、ドウ云フ風ナ利益ヲ舉ゲテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、茲ニ之ヲ御話スルノ必要ハナイト思ヒマスガ、アノ資材ハ御承知ノ如ク北海道並ニ樺太廳ノ管轄ガ多イノデアリマシテ、既ニマダ多クノ人ノ目ヲ著ケヌ、安イ時ニ山林ヲ買ツテ、サウシテ安イ資材ヲ手ニ入レル途ヲ講ジテ居ツタ結果ガ、左様ナコトニナツテ居ルノデハナカラウカト云フ風ニ想像致シテ居ルノデアリマス、隨テ是等ニ鑑ミテ將來ノ爲ニ一營利會社ノ利益トセズシテ、山村全部ノ利益、延イテハ國家ノ利益ノ爲ニ此ノ資材ニ依ツテ起ル所ノ工業、即チ「バルプ」工業ノ如キ工業ヲ國家ガ經營ヲシロ、是ハ先刻モ申ス通り列舉ナサツタ理由ニ付テハ、私モ是ハ肯定スルノデアリマス、併シナガラ現在既ニ一ツノ國策會社ガ出來テ居ルノデアリマシテ、政府

ガ相當ニ監督ヲ致シテ居リマス、又之ニ供給スル資材ハ森林關係ガ一番主ナモノデアリマスガ故ニ、農林當局ト致シマシテモ之ニ向ツテハ徹底的ナ取締、並ニ監督或ハ指導ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、此ノ國策會社ガ巨利ヲ貪ル、不當ナル利益ヲ占メルト云フガ如キ場合ニハ、農林省トシテハ之ニ對スル對策ハアルノデアリマス、故ニ此ノ國策會社ガドウ云フ營業ヲスルカト云フコトニ付キマシテハ、常ニ注意ヲ拂ツテ行キタイト思ツテ居リマス、即チ資源ガ農林當局ノ管轄ノ中ニアルノデアリマスガ故ニ、其ノ資源ノ培養、並ニ之ヲ搬出スル方法、伐採ノ方法、總テ之ヲ適當ニ管理致シマシテ、國家ノ損失ニナラザルヤウ、山村ノ不利益ニナラザルヤウ、又山村ガ迷惑ヲセザルヤウ、此ノ點ニ付テハモウ十分ナル監督ヲ致ス考デ居リマス、將來國營「バルプ」會社ヲ起スカ、ドウカト云フコトニ付キマシテハ、今此處デ私ガ御答スル順序ニナツテ居リマセヌノデ、此ノ點ニ付キマシテハ、如何ニ意味深長ナコトヲ言ヘト仰シヤイマシテモ、申上ゲ兼ねマスノデ、此ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○伊東委員 ソレデハソレ以上追究致シマセヌ、御話ノヤウニ王子會社ハ其ノ當時非常

ニ安イ資材ヲ求メテ只今營業ガ非常ニ隆盛ニ相成ツテ居リマス、無論王子會社ガ其ノ以前ニ色々ナル會社ヲ合同シ、或ハソレ等ノ資材ヲ引繼イデ、サウシテ樺太ノ開拓ニ非常ナル努力ヲ致シテ居ルト云フコトハ私共モ肯定ヲ致シテ居リマス、所デ其ノ當時ハ無論樺太デアノ豐富ナル原料、而モ將來マデモ約束シテ、昭和二十二年マデ一會社ニ一千七十万石ト云フ巨大資材ヲ獨占セシメテ居ルノデアリマス、將來ノ利權マデ確保サレテ居ルノデアリマスガ、今假ニ現在毎年千七十万石ト云フ巨大ナル資材ヲ今ノ價格デ競賣シタトスレバ、其ノ當時ノ價格ト夥シイ差ガアルノデアリマス、ソコデ一層現在ノ營業モ原料ガ安ク手ニ入ツテ居ルカラ旨ク行ク譯デアリマス、隨テ非常ナル巨利ヲ博スル譯デアリマス、併シハ國家總動員法等ノ發動ニ依ツテ配當ノ制限等モ受ケル會社ノ中デ最も大キナモノダト思フノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ森林ニ依ツテ非常ナル利益ヲ王子會社ガ堅持致シテ居ルノデアリマス、此ノ受益金ノ若干ノ負擔ヲ適當ニ交渉ノ方法デ爲サシメテ、之ヲ一般造林資源、其ノ他ノモノニ振向ケル、又王子會社モ當然相當ノ受益金ヲ、時代ノ違ツタ今日ニ於テハ解放シ

テ宜イノヂヤナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマスガ、ハ併シ既得權デアルカラ、ソナコトハ出來ナイト言ヘバソレマデデアリマスガ、此處ガ時代性デアリマス、之ヲ一ツ婉曲ニ交渉サレテ、サウシテ王子會社カラ受益金ヲ取ツテ、森林資源ノ開發ノ爲ニ振向ケラレルト云フヤウニ、無論農林大臣ハ左様ナ外交手段ガアルト信ジテ居リマスガ、如何デアリマスカ

○櫻内國務大臣 王子製紙ガ利益ヲ得テ居ル其ノ利益ヲ斯ウ云フ時局ニ際シテ國家ニ提供サセルト云フコトニ付テ何カ考ガナイカト云フ風ナ御意見ノヤウニ取レルノデアリマス、王子製紙會社ガ北海道及ビ樺太開發ニ付テ貢獻シタト云フコトハ、既ニ御認ニナツタ通りデアリマシテ、今日王子製紙會社ガ利益ヲ得テ居ルト云フコトニ付テ、其ノ利益ヲドウ云フ名義ニ依ツテ國家ガ引上ゲルカ、是ハドウモ憲法治下ニ於テ財產ノ所有權ガ認メラレテ居ル以上、容易ニ出來ナイコトデアリマスガ、併シ所謂德義上、道德ノ上ニ於テ、茲ニ時局ヲ認識スル上ニ於テ王子製紙ノ有力ナル方々ガ自發的ニ國家ニ貢獻サレルト云フコトハ、是ハアツテ欲シイモノダ、斯ウ思フノデアリマス、承ル所ニ依ルト、一千万圓ノ造林事業ヲ經營シテ國家ニ貢獻シヨウト云フ風ナコトガアツタト云フコトモ聞イテ居リマスガ、私ハ是ハハシク存ジテ居リマセス、將來モ尙ホ是等ノ有力ナ會社ガ自發的ニ山林開發ノ爲ニ助力シテ、國家ニ貢獻サレルコトガアリ得ルコトヲ私ハ期待致シテ居リマスケレドモ、政府トシテハ之ニ同ツテ何等カノコトヲ要求スルト云フコトハ、是ハ稅法ニ依ツテ、儲カツタ會社ニ特別ナ稅金、即チ累加率ニ依ル所ノ稅金ヲ課スル以外ニハ方法ガナイノデアリマス、唯王子製紙ノ經營者ノ各位ノ德義心ニ懇ヘルノ外ナイト斯様ニ考ヘテ居リマス

ウ云フコトニ致セバ宜イノヂヤナイカト思フノデアリマスルガ、此ノ點ハ是デ質問ヲ打切リマス

次イデ私ハ交付金ノ問題ニ付テニツ農林大臣ニ提議シテ見タイト思フノデアリマス、是ハ豫テカラ制定シテアリマスル所ノ國有林所在地町村交付金ノ増額ノ問題デアリマス、廣大ナル國有林ノ保護管理ニハ地元ノ協力ガ一番必要デアラウト思フノデアリマス、官有林ハ其ノ所在地町村カラ元々ハ引上ゲタモノデ、相當地方民ハ迷惑ヲ受ケテ居ルノデアリマス、理窟カラ言フナラバ、緣故地方ニ之ヲ拂戻スト云フノガ本當デアリマスガ、只今ノ時代デハソレハ出來ナイコトダト思フノデアリマス、現在山林所在地町村ハ何レモ貧弱デアルノデ、財政上ノ圓滿ヲ圖ラルル爲ニ昭和四年カラ此ノ交付金ノ制度ガ設ケラレテ、官有林ノ保護ニ協力セシムルコトニ相成ツテ居ル、適切ナル政策デアリマスケレドモ、此ノ金額ハ極メテ微細デ、少額デアリマス、無論此ノ交付金ノ標準ハ、官有林ガ有租地デアツタ場合ニ課スベキ地方附加稅ニ相當スル額ヲ交付スルコトニ相成ツテ居リマスガ、此ノ金額デハ少イノデアリマスケラ、是非此ノ増額ヲ希望スルノデアリマス

モウ一ツハ、東北六縣ダケ此ノ交付金ノ率ガ違ツテ居ル、是ハ無論東北六縣ノ振興ノ立場カラ増額サレタモノト思フノデアリマスルケレドモ、此ノ點ガ甚ダ不公平デアリヤウデアリマスルカラ、是ハ寧ろ東北六縣同様澤山ナ國有地ヲ保有シテ居ル縣モ多イノデアリマスルカラ、之ヲ平等ニサレル御意思ハナイカト云フ點デアリマス

○櫻井國務大臣 國有林ノ所在地町村ニ對スル交付金ノ問題デアリマスガ、現在ノ規定ハ只今伊東君ノ御話ノ通りデアリマス、之ヲ現在増額スル意思ガアルヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、只今ノ所之ニ對シテ増額ラスルト云フ風ナ考ハ持つテ居リマセヌ、ソレカラ東北六縣ト他ノ地方ト違フ所ガアルガ、之ヲ統一シテ同ジ率ニシタラドウデアルカト云フ御意見ノヤウデアリマシガ、此ノ點ニ付キマシテハ、東北六縣ノ事情ハ御承知ノ通りデアリマシテ、非常ニ窮乏シテ居リマシタ結果、特殊ナ規定ガ出來テ、即チ縣ノ附加税モ一切含シタモノヲ交付金トシテ出スト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ各地ニ適用スルト云フコトニ付キマシテハ、當局トシテモ考ヘテ居ラスノデアリマセスケレドモ、未ダ色々ナ事情ガアリマシテ之ヲ實現スルニ至ツテ

居ラナイノデアリマス、將來ニ於キマシテハ、是等ノ地方ノ事情ニ應ジマシテ、今御話ノヤウナ風ニ其ノ増額ヲ致スコトノ必要ナ所ニ對シテハ増額ヲ致シタイト云フ希望ハ持つテ居リマスルケレドモ、マダ政府部内ニ於テ意見ガ一致シテ居リマセヌノデ、之ニ對シテ明ナコトヲ申上ゲルコトガ出來ナイノヲ遺憾ト致シマス

○伊東委員 參考書ニ依リマスルト、昭和九年度ノ各府縣内林野面積ニ對スル國有林面積ノ百分比ヲ見マスト、今ノ交付金ノ關係カラ致シマシテデアリマスガ、青森ガ六五%、山形ガ五九%、秋田ガ五六%、福島ガ四五%、岩手ガ四〇%、宮城ガ三五%ト云フコトニ東北六縣ハ相成ツテ居リマス、是ト同様ナ縣ガ全國ニハ可ナリ多イノデアリマスルガ、今其ノ例ヲ申上ゲマスルト、群馬縣ガ四六%、富山縣ガ四四%、新潟縣ガ四三%、鹿兒島縣ガ三八%、宮崎縣ガ三五%、栃木縣ガ三四%ト云フヤウナ國有林ガアル爲ニ、其ノ地方市町村ガ非常ニ貧弱ニ陥リ、地方ノ財政ガ涸渇シテ居ル關係等モアルノデアリマス、而シテ交付ヲ受ケテ居ル全國ニ於ケル町村ハ二千二百九十一ニナツテ居ル、交付金額ハ三十八万二千十二圓ニ相成ツテ居リマスルガ、此ノ交付金高

ノ縣別ニ一番大キナ所ノ四五縣ヲ申上ゲルト、宮崎縣ノ四万四千六百五十五圓、秋田縣ノ三万六千七百六十五圓、青森縣ノ三万三千六百八十五圓、福島縣ノ三万三千九圓、鹿兒島縣ノ二万九千四百四十五圓、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、是カラ推算致シテ見ルト、此ノ交付金額ハ只今宮崎縣、鹿兒島縣ナドガ非常ニ多イノデアリマス、併シ多イカラ有難イカト云フト、サウデヤナイノデス、ナゼカト云フト、之ヲ東北六縣ニ比ベルト、交付率ガ非常ニ少クナリマス、國有林ノ面積率カラ言ヒマシテモ、東北六縣ガ非常ニ多イ、ソコデ交付金ハドウカト云フニ、宮崎縣、鹿兒島縣ノ如キハ相當多イ、是ハ地租ノ關係デアリマサルカラ、若シ之ヲ東北ノ如クニシテ、宮崎縣、鹿兒島縣等ヲ同ジ特別率ニ擴張サレルト云フコトニナルト、此ノ金額ハ非常ニ殖エルノデアリマス、斯様ナコトカラ推算致シマシテ、此ノ交付金ノ制度ハ甚ダ不公平極マルモノデアルト云フコトガ斷定出來ルノデアリマスガ、尙ホ再考ノ餘地ハナイノデアリマスルカ、只今ノ御答辯デハ、成ベクサウシタイケレドモ、省内ノ話ガ纏ツテ居ナイト云フ、其ノ程度デハ甚ダ不滿デアリマス、此ノ點ノ御明答ヲ得タイト思

ヒマス
○櫻井內務大臣 御承知ノ通り森林ノ利用價值ト云フ點ナドモ考慮ニ入レナケレバナリマセヌシ、又地方ノ事情モ考慮ニ入レナケレバナリマセヌ、御話ノ如ク、成ベク現在國有林ガ澤山アル爲ニ困ツテ居ラレル地方ニ對シテハ相當ナコトヲシナケレバナラスト云フコトハ當然ナコトデアリマスノデ、是ハ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ研究ノ結果ドウ云フ風ニ之ヲ致スカト云フコトニ付テ、モウ少シハツキリシタ意見ヲ言ヘト云フコトデアリマスケレドモ、現在ノ所デハ調査中デアリ、且ツ是ハ農林當局ダケデハナク、外ニモ交渉シナケレバナラス所ガアルノデアリマシテ、今必ズ之ヲ何時カラ直ス、或ハ何時カラドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、此ノ席ニ於テハマダ申上ゲル場合ニ立至ツテ居ナイ、斯ウ申上ゲルヨリ外ナイノデアリマス

○伊東委員 ドウゾ一ツ公平ナル交付金制度ヲ設ケラレルヤウニ御願ヲ致シテ置キマシテモウ一ツ農林大臣ニ御尋シテ置キタイコトハ、電源地町村ニ特別交付金制度ヲ設ケテ貰ヒタイト云フ問題デアリマス、是ハ只今ノ王子會社ノ交付金ノ問題、所謂王子會社カラ受益金ヲ取ツテ、地方ヲ潤ハセ

ルト云フ趣旨トハ可ナリ違ツテ、是ハ農林省ノ肚一ツデハ、實行力ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ電氣會社ニ受益負擔金ヲ納付セシメ、サウシテ電源地地方町村ニ交付金ノ制度ヲ設ケルト云フ方法デアリマスルガ、私ハ是ハモウ早カラ實現シ得ベキ問題デハナカッタカト思フノデアリマス、電力ハ總テノ産業ノ本デアリマス、而モ水力發電所ハ山村ニアリマシテ、山ノ奥ニ在ルノデアリマス、由來水力電氣ハ水ニ依ツテ起ス、水ハ山ガナクテハ生ズルモノデハナイノデアリマス、殊ニ水源涵養ニハ森林ノ豐富ト云フコトガ一番大切デ、而シテ林相ノ適正ナル保存保續ガ絕對條件デアリマス、左様ニ森林ノ保續ヲ致シマスルニハ、山奥ノ山村ノ人達ガ此ノ山林ノ保護ニ當ルト云フ精神ガ極メテ必要ナノデ、此ノ發電力ト水力水源ト森林トノ關係ハ、極メテ不可分のナモノデアアルノデアリマス、萬一此ノ水源地地方ノ人達ガ、眞ニ之ニ協力セナイト云フコトニナルト、遂ニ水力ガ涸渇シテ、延イデハ水力電氣會社ガ十分ニ電力ヲ確保スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニモ相成リマスルノデ、此ノ點ハ電氣會社トシテモ可ナリ御理解ノアルコトと思フノデアリマスカラ、私ハ特ニ此ノ理解ヲ得ルト云フコト

デナクテ、先程ノ御話ノヤウニ會社自體ガ道德的ニ出ルト云フコトデナク、是コソハ相當ニ交渉提携ヲシテ、電氣會社ト云フモノハ相當利益ガアルノデアリマスカラ、此ノ利益ヲ受益金トシテ地方ニ還元スルノ方策ヲ立テル、即チ特別交付金ノ制度、左様ナ意味合ノモノヲ財源トスル方法ニ付テノ御調査等モ、私共アツタコトと思フノデアリマスルガ、御意見ヲ承リタイノデアリマ

○櫻内國務大臣 水力電氣ヲ經營スル場合

ニ於テ、電源地ノ涵養ト云フコトハ最モ重要ナル仕事ノ一ツデアリマス、其ノ電源地ガ山村デアアル關係上カラ、其ノ電源地ニ對シテ電力事業者カラ特別交付金ヲ交付シタラドウデアラウカ、或ハ奉納金ト申シマスカ、斯ウ云フモノヲ出シタラドウデアラウカ、斯ウ云フモノヲ御意見ノヤウニ拜承致スノデアリマス

〔委員長退席、馬岡委員長代理著席〕

理論トシテハ御説御尤ト拜承致シマス、現在ニ於テハ電力事業者ガ、ドウ云フ風ナコトヲ致シテ居ルカト申シマス、水利使用料ト云フモノヲ拂ツテ居リマス、ソレカラ縣ニ依リマシテハ水車稅ト云フモノヲ拂ツテ居リマス、可ナリ是ハ大キナ金額デアリ

マス、其ノ意味ハ、即チ其ノ水ヲ使フ河川ノ關係町村ニ對シテ、電氣會社ガ務メトシテ出シテ居ルヤウナ譯デアリマス、殊ニ電源地ノ涵養ハ電力會社トシテハ最モ大事ナコトデアリマス關係上、水力電氣會社ノ有カナル或ルモノハ、自ラ其ノ山林ヲ買收シテ、無暗ニ濫伐ヲシナイヤウニ増植ヲ圖リ、又間伐ヲ爲シ、或ハ種々ナル施業ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ此ノ水車稅或ハ水利使用料其ノ他ノ以外ニ、水源地涵養ニ對スル所ノ交付金ヲ爲セト云フコトニ付キマシテハ、多少理由ハアルト思ヒマスケレドモ、茲ニ重複スル傾キガアルデハナカラウカト云フ憂モアルノデアリマス、併シ會社自體ト致シマシテモ爲サナケレバナラス仕事ノコトデアリマスカラ、此ノ點ニ付キマテハ十分ナル調査ヲ遂ゲマシテ、電氣事業ノ監督官廳タル逓信省トモ協議ヲ致シマシテ、其ノ上ニ於テ方策ヲ立テルコトト致シタイ、斯様ニ考ヘマス

○伊東委員 以前ハ水力電氣、所謂發電ニ對スル公納金制度ガ確立シテ居ツタ、ソレヲ内務省ト逓信省ノ色々ナル話合ヒデ、此ノ確定シテ居ツタ公納金制度モ、遂ニ一片ノ通牒デ有耶無耶ニナツテ、公納金制度ガ壞サレテ、取ルコトノ出來ナイヤウナコト

ニナリ、最モ率ノ低イ水力利用ノ料金ヲ取ルト云フ程度ニ止ツテ居ルノデアリマス、是ハ其ノ當時ノ責任者ハ只今居ラレヌノデアリマスケレドモ、是コソハ農林省ガ腰ガ弱カツタカラデアリマス、農林省ガ本當ニ此ノ時代ニ頑張ツテ呉レタナラバ、依然トシテ此ノ公納金制度ト云フモノハ壞レナイノデアリマス、其ノ當時ノ公納金制度ト只今ノ水力利用料ノ納付金額トハ、非常ニ差ガアルノデアリマス、例ヲ宮崎縣ニ取リマスト、アノ制度ガアツタト致シマスルナラバ、只今宮崎縣デハ少クトモ四五十萬圓ノ公納金ガ取り得ル勘定ニナツテ居ルノデアリマスガ、只今ノ所デハ十二三萬圓シカ取レナイ、而モ一時ハ二十四五萬圓マデ交付金ヲ得テ居ツタノデアリマスケレドモ、今日デハ段々ソレガ少クナツタノデアリマス、是ハ少クトモ農林省ノ腰ガ弱カツタカラデアアル、併シ過去ノコトヲ今如何ニ言ツテモ仕方ガナイノデアリマスカラ、私ハドウシテモ此ノ公納金制度ヲ復活スル、併シ公納金制度ト云フモノノ復活ノ只今ノ所デハ困難ダト思フノデアリマスカラ、理窟ヤ名前ヲ變ヘテ、電源地地方町村ニハ必ズ由ツテ起ル利益ノ一部分ノ受益金ヲ公納セシメ、サウシテ之ヲ今マデハ縣ニ收得シテ居ツタ

ノデアリマスルケレドモ、縣デナシニ直接關係ノアル電源地地方町村ニ之ヲ交付スル制度ヲ確立スルコトガ極メテ必要デアル、是ハ大キナ問題デアリマス、今後十分善處シテ戴キタイと思フノデアリマスルガ、是ハズツト元ノ沿革ヲ引出シテ研究シテ戴クト分リマスガ、地方ハ此ノ爲ニ非常ニ助カ、是ハ單ニ山村ノ救済施設デハナクテ、此ノ財源ヲ以テスルナラバ、根本的ノ山村救済ノ財源ニナル、斯ウ云フ工合ニ思フノデアリマスガ、農林大臣ハドウ云フ風ニ其ノ點ニ對シテハ、御考デアリマスカ、モウ一應承ツテ置キタイと思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 御希望ノ點ニ付キマシテハ篤ト調査サセマス

○伊東委員 農林大臣ニモウ一點御尋致シマシテ私ノ質問ヲ終了致シマス、保安林ヲ全部國有ニスベシト云フ問題デアリマスガ、災害ノ防止、國土保安ガ森林ノ主ナル效用デアアルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、就中保安林制度ノ完璧ガ最モ大切デアリマス、殊ニ水源涵養ガ單ナル灌漑用水或ハ飲料水ノ關係ニ止ツテ居リマセヌ、産業全體ニ關係ガアル、今申上ゲタヤウナ水力電氣等ノ重要性ニ鑑ミテ、而モ本法ノ改正ニ當ツテ、何故此ノ問題ヲ此ノ改正法律案ノ

中ニ取入レナカッタカ、保安林ハ國自ラ之ヲ行フト云フ徹底シタ制度施設ニ依ラナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、嘗テ農林省デハ林野整備計畫ガアツタノデアリマス、保安林ガ社會公共ノ危害防止ノ爲ニ色々ナ役割ヲ持ツテ居ルノモ、保安林ノ一ツノ制度デアリマス、一層之ヲ強化シナケレバナリマセヌ、所デ民有林ヲ保安林ニ編入スルコトガ相當多イノデアリマスガ、是又公共上ノ危害防止ノ爲ニハ當然ダと思フノデアリマス、併シ左様ナ民有林ヲ保安林ニスル爲ニ、色々民間デハ困ルノデアリマスカラ、寧ロ民有林ヲ保安林ニスル場合ニハ、全部之ヲ買上ゲテシマフト云フコトガ必要ダと思フノデアリマス、併シ全部ヲ買上ゲルト云フコトニナリマス、茲ニ資金ノ問題ガ生ズルノデアリマス、此ノ資金ノ問題ニ付テハ先程申上ゲタヤウニ、林野整備ノ計畫ガ農林省デハアツタノデアリマスカ、此ノ計畫ハ一體其ノ後ドウナツタノデアリマスカ、此ノ問題ト併セテ保安林制度ニ對スル御意見ヲ承リタイノデアリマスカ、ハドウデアアルカト云フ御話デアリマスガ、民有林ヲ保安林ニ指定スル結果トシテ、個人ガ迷惑サレテ居ル點ニ付キマシテハ、私

モ全く同情ニ堪ヘナイノデアリマス、併シナガラ是ハ公益ノ關係上今日マデ左様ニナツテ居ルノデアリマシテ、之ヲドウ云フ風ニ改正スルカト云フコトニ付キマシテハ、私共モ之ヲ考ヘヌコトハナイノデアリマス、併シ此ノ度ノ施業案ガ出來タ其ノ曉ニ於キマシテハ、此ノ保安林ガ改良サレル點モ澤山出來ルデアラウト思ツテ居リマス、隨テ幾分力其ノ迷惑ヲ緩和スルコトガ出來ヤシナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、將來保安林ヲ全部國有ニシテハドウカト云フヤウナ御意見ニ付キマシテハ、是ハ私個人トシテハ洵ニ理由アルコトト考ヘマスガ、國ノ財政、其ノ他、種々ナル考慮研究ヲシナケレバナリマセヌノデ、只今ハ之ヲ國有ニスルト云フコトニ付テハ意見ヲ決定致シテ居リマセヌ、併シ將來之ニ對シテ相當ナ研究ヲ致シタイト斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス

○伊東委員 農林大臣御多忙ノヤウデアリマスカラ、モウ一ツ最後ノ質問ヲ致シテ農林大臣ニ對スル質問ヲ終リマス、只今ノ保安林問題ニ關聯致シマシテ、地方森林會ノ權限問題デアリマス、地方森林會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シテ居リマス、サウシテ保安林ノ編入、解除其ノ他法規ニ基ク審議權ヲ持ツテ居ルノデアリマス、但シ此ノ審議權デアリマスルガ、其ノ意見ハ決定的ナモノデナクシテ、唯單ナル參考決議デアリマス、私モ此ノ委員ニ參加シテ居リマスルガ、ドウモ地方森林會ノ決議位形式のナ無意味ナモノハナイノデアリマス、而モ將來ノ森林振興ノ上ニ於テ、此ノ森林會ヲ活カシテ行クコトガ非常ニ必要ダと思フノデアリマスカラ、今後此ノ權限ヲ一層擴大強化シテ、サウシテ森林政策ノ全面的ノ活用ニ役立ツヤウニシテハドウカト思フノデアリマス、更ニ此ノ森林法ノ改正ニ伴ツテ、地方森林會ノ法規モ從ツテ改正サルベキモノダと思フノデアリマスルガ、之ニハ何等ノ影響ガナイモウ一ツハ山林會法ノ制定ノ問題デアリマスルガ、是ハ本會議デモ議題ニナリマシタ、是ハ成ベク善處スルト云フ御話デアリマスルガ、是ハ急ニ實現サシテ戴イテ、サウシテ森林法改正ト相俟ツテ森林資源ノ開發、林業ノ伸展ニ寄與セシムベキモノダと思フノデアリマス、是ハ次ノ議會ニデモ此ノ法律ヲ提出サレルヤウナ御準備ガアルノデアリマスルカ、是ダケヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 府縣ニ於ケル森林會ノ問題ニ付キマシテハ、只今ノ所ハ改正スル考ハ持ツテ居リマセヌ、山林會法ノ問題ニ付

キマシテハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ
如ク、是ハ餘程考究スベキ點ガアリマスノ
デ、今直チニ之ヲ設ケルト云フコトヲ申上
ゲルマデノ順序ニナツテ居ラナイノデアリ
マス

○伊東委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○馬岡委員長代理 松尾四郎君

○松尾(四)委員 私ハ昨日ノ質問ニ於キマ
シテ政府委員カラ御答辯ガアリマシタコト
ニ付キマシテ、尙ホドウモ諒解出來ヌコト
ガアリマスノデ此ノ施業案ニ付キマシテ御
伺ヲ致シタイノデスガ、施業案ト云フモノ
ヲ作成サレマシタ爲ニ、山林ノ價值ニ關係
ガ及ブト私ハ考ヘルノデアリマスガ、政府
委員ノ方デハ、ソレハ寧ロ山林ノ價值ヲ上
ゲルノデアツテ、價值ニハ關係ガナイト云
フヤウナ御答辯デアツタノデアリマス、是
ハ餘程將來此ノ法案ヲ運用シテ行ク上ニ於
キマシテ、金融等ニ關係ガアリマスノデ、
施業案ト云フモノハ一應其ノ様式、雛形ヲ
政府ノ方デ作ラレテ、斯ウ云フ風ニスルノ
ダト云フ、サウ云フモノヲ一ツ拵ヘテ戴ケ
レバ茲ニ議論ガハツキリシテ來ルト思フノ
デアリマス、成ベク實例ニ近イヤウナモノ
ヲ拵ヘテ貰ヘマセヌデスカ

○村上政府委員 施業案ノ雛形ト云フコト

ニナルト、非常ニ龐大ナモノニナリマスガ、
雛形ト云ヘバ、例ヘバ地況、林況カラ書出
シマシテ、其處ニハドウ云フ樹種ヲ植エ、
サウシテ其處ノ伐木ハ幾ラ位ニスル、斯ウ
云ツタヤウナコトデアリマス、サウ云ツタ
ヤウナモノガ施業案デゴザイマスカラ、別
ニ架空ナ雛形ヲ作ツテ見テモ仕方ガナイト
思ヒマス、要スルニ地況ヲ書入レ、ソレカ
ラ大體其處ノ林況ヲ書ク、ソレカラ基岩ノ
性質ヲ書ク、ソレニ對シテドウ云フ樹種ヲ
植エルカ、ソレハドウ位ノ伐期ニナツタラ
伐ル、ソレダケガ施業案デアリマス、森林
關係法規ノ六十一頁ヲ一寸御開キテ願ヒマ
ス、此處ニ大體施業方法書ガ載ツテ居リマ
スガ、斯ウ云ツタ形デアリマス、所在地、
所有者、ソレカラ臺帳面積ト實測又ハ見込
面積、ソレカラ地況、林況ト云フノガアリ
マス、ソレカラ其ノ次ノ「施業方法ノ指定ヲ
必要トスル事由」ト云フノハ、現行法ノ荒廢
地ニ對スルモノデスカラ、斯ウ云フモノハ
今度ハ書キマセヌ、ソレカラ其ノ次ニドウ
云フコトヲヤルノダト云フコト、例ヘバ「本
林地將來「クリ」ヲ以テ主木トスル喬林ノ
經營ヲ目的トスヘシ」ト云フコトハ或ハ書
クカモ知レマセヌ、ソレカラ「本林樹木ノ
伐採齡ハ三十年以上タルヘシ」是ハ伐期ノ

コトデアリマスガ、斯ウ云フコトデモ宜イ
ト思ヒマス、ソレカラ「伐木ノ順序ハ別紙
圖面ノ區域番號順ニ依ルヘシ」斯ウ云フコ
トハ必要デナイト思ヒマス、ソレカラ四ノ
「毎年ニ於ケル伐採面積ハ五町歩ヲ超ユル
コトヲ得ス」是ハ荒廢地ニ對スル造林命令
ニ關スルコトデアリマスカラ斯ウ云フヤカ
マシイコトガ要リマスガ、一般ノ施業案ニ
ハ斯ウ云フヤカマシイコトハ必要ト致シマ
セヌ、ソレカラ其ノ次ノ「當分柴草ノ採收
ヲ禁ス」ト云フモノ、是モ荒廢林地ニ對ス
ル特別ノ施業方法デスカラ要ラナイ、六ノ
「伐採跡地ハ天然更新法(人工植栽)ニ依リ
其ノ繁殖ヲ圖ルヘシ」斯ウ云フコトガ施業
案ニナルト思ヒマス、無論施業案ニハ此ノ
アトニアルヤウナ圖ハ拵ヘナケレバナラ
ス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松尾(四)委員 施業案ノ最モ肝要ナル基
本トナルノハ、其ノ森林ノ將來行フベキ施
業ノ方法ヲ豫メ決メル、ソコドウ云フコ
トヲ豫メ決メルカト云ヘバ、何年目ニ間伐
ヲスル、又何年目ニハ次ノ間伐ヲ行フ、次
ノ間伐ハ何年目ダト云フ風ニ、其ノ森林ノ
成長ノ狀態ニ依ツテ漸次山林ノ整理ヲ行ツ
テ行クト云フコトガ、施業ノ基本デアラウ
ト思ヒマス、ソレハ間違ナイト思ヒマス、

若シソレニ間違ガアレバモウ話ガ變リマス
カラ、其ノ點ヲ一ツ先ニ伺ツテ置キタイト
思ヒマス

○村上政府委員 間伐ヲスルコトハ無論書
カナケレバナラスノデアリマスガ、ソレモ
三年トカ四年トカ書イデアリマスガ、三年
ガ四年ニナツタライカストカ、四年ガ三年
ニナツテハイカストカ云フヤウナモノデハ
アリマセヌ

○松尾(四)委員 サウ致シマスドウ云フ
コトヲ決メルノデス、若シサウ云フ伐採ノ
順序等ヲ決メナイナラバ、施業案ト云フモ
ノハドウ云フコトヲ決メルノデスカ、コンナ
區域ナドハ初メカラ決ツテ居ルカラ別ニ拵
ヘル必要ハナイ、ダカラ山林ノ經營ヲ將來
ドウシテ行クカ……

○村上政府委員 一町歩、二町歩ノ山ノ伐
採ノ順序ヲ決メルト云フヤウナコトハ無用
ナコトデアリマス、大面積ノ森林ノ場合ニ於
テハ伐採ノ順序ヲ決メテ、コチカラ伐採
シナケレバナラス、個々ノ森林所有者ガ一
町歩二町歩ナラバ、伐採ノ順序ヲ決メルト
云フヤウナコトハ、是ハ一々書カナクデモ
宜シイ、大キナ森林デアレバ一年々々ノ連
年收入ト云フモノヲ確立スル爲ニ、一年ノ
伐採數量ハ此ノ位デ、何處カラ伐採シテ行

ク、國有林ノヤウニ一ツガ一万町歩モアルヤ
ウナ山デアレバ、伐採ノ順序、伐採ノ方法
等ヲヤカマシクヤツテ行カナケレバイケマ
セヌガ、個人ノ一町歩、二町歩ノ山ニ付テ
一々伐採ノ順序方法ヲ書キ、サウシテソレ
ヲ三年目、四年目ニ必ズ間伐スベシ、サウ
云フヤカマシイコトハ必要トシナイ、ソコ
マデハ今度ノ法規デハ要求シテ居リマセヌ、
今度ノ法規デ要求スルコトハ、森林ノ荒廢
ヲ防ギ、伐採シタ土地ニハ造林スル、是ガ
主タル要求デアリマスカラ、其ノ要求ニ即
スルヤウナ簡易ナル施業案ヲ作ツテ戴ケレ
バ宜シイ、斯ウ云フ譯デアリマス

○松尾(四)委員 ソレナラバ更ニ御尋致シ
マスガ、個々ノ民有林ヲ集メテ、一箇村ヲ單
位トシタ森林組合ヲ作ラシムルト云フコト
ガ此ノ法案ノ趣旨ニナツテ居リマス、其ノ森
林組合ハ施業案ヲ作ラナイノデスカ、若シ施
業案ヲ作ルノナラバ、其ノ森林組合ガ個々
ノ小サナモノデアラウトモ、ヤハリ其ハ施
業案ノ中ニ含マレル、施業案ノ中ニ含マレ
レバ大キナ山林モ小サナモノモ同ジコト
デス、ヤハリ施業案ノ一分子デス、ダカ
ラ大キナモノダケ作ツテ、小サナモノハ
作ラナイト云フノナラ、森林組合ノ必要
ハ更ニナイ、森林組合ヲ作ルト云フコト

ハ、施業案ヲ實行スルニ便ナラシムル爲
ニ作ル、私ハサウ思フ、無論ソレ以外ニ、
林道ヲ開設シ或ハ其ノ他ノ作業上ノ便宜
ト云フ上ニ於テ森林組合ヲ作ルト云フコト
モ掲ゲテアルガ、併シナガラ此ノ法案ヲ讀
ムト、施業案ヲ作ルト云フコトハ、即チ濫
伐ヲ防グト云フコトノ爲ニ施業案ヲ作ルト
云フコトニナツテ居リマスカラ、ドウモ施
業案ガ第九條ノ骨子ノヤウデス、ソレデ森
林組合デ施業案ヲ作ラウトスレバ、ヤハリ
個々ノ森林ニ及バナケレバ作レナイと思ヒ
マスガ、ソレハドウ云フコトニナリマスカ
○村上政府委員 森林組合デ施業案ヲ作ル、
サウシテ施業案ノ中ニハ又各人別ノ施業ノ
計畫ヲ定メ、ソレヲ森林組合ノ施業案トシ
テ決メル、例ヘバ何某ノ森林ハ伐期ハドウ
デ斯ウ、次ニ何某ノ森林ハ伐期ハドウデ斯
ウ、斯ウ云フモノヲ集メタモノガ森林組合
ノ施業案デアリマス、例ヘバ林道ヲツケル
ト云フヤウナ場合ニ於テハ、或ル所ダケハ
造林ハ困ル、林道ノ敷地ニシナケレバナラ
スト云フヤウナコトモアラウト思ヒマス、又
上カラ木出シヲスルト云フ場合ニ於テ、下
ノ造林地ヲ踏ミ潰スト云フ、サウ云フ木出
シノ方法デハ困ルカラ、サウ云フコトデ森
林組合ヲ作ツタ以上、各人ガ獨立シテ施業

スル時トハ多少其處ニ調節スルト云フコト
ハ是ハ無論アル、其ノ意味ニ於テ森林組合
ヲ作ツテ、サウシテ各人ノ間ノ施業ノ調節
ヲ圖ツテ行カウ、斯ウ云フ譯デアリマス、
ソコデ各人ハ大體現状ニ於テ林業ヲ合
理的ニヤツテ居ル方デアレバ、今ノ施業
其ノ儘デ森林組合ニ入リマシテモ其ノ儘
認メラレル、ダカラ換言致シマスレバ、
其ノ一町歩或ハ二町歩ノ森林所有者ガ施
業案ヲ作ツテ、其ノ儘認可ヲ得テ行ツテモ
ソレハ差支ナイカモ知レマセヌ、併シ
ナガラソレデハ行政官廳ノ方カラ言ヘバ煩
ニ堪ヘナイコトニナリマス、小サナモノヲ
一ツノ認可スルト云フコトハ周圍ノ關係
モ分ラズ、認可ノ仕様モナカラウト思フ、
所ガ森林組合ニ纏ツテ参リマスレバ、大體
ソコノ各人ノ施業ト云フコトモ一目デ分ル
コトニナリマスシ、行政官廳ノ方デ認可ス
ル場合ニモ、周圍ノ關係ヲ十分ニ考慮シ
テ、其ノ適切ナリヤ否ヤト云フコトガ能ク
分リマスカラ、ソレデサウ云フ風ニシタイ
ト云フ譯デアリマス

○松尾(四)委員 結局今ノアナタノ御説明
ニ依ルト、ヤハリ各人ニ施業案ヲ作ラシメ
ルト言フノデス、各人ノ施業案ヲ作ツタモ
ノヲ森林組合ガ調整スル、斯ウ仰セラレ

ル、サウスルト各人ガ個々ノ小サナ施業案
ヲ作ツテ居ル、又個々ニ作ラナケレバ其ノ
調整スル基本ガ何處ニアルカ、唯漠然ト施業
案ノナイモノヲ調整ノ仕様ガナイ、個々ノ者
ニモ施業案ヲ作ラシメル必要ガアルカ否ヤ、
此ノ點アルト今アナタガ話サレタガ、若シナ
カツタラ出來ナイデセウ、其ノ點ヲ伺ヒタイ
○村上政府委員 ソレハ個々ノ人々ガ作ル
ト云フケレドモ、個々ノ人ハ、總テノ人ガ
文字ヲ知ツテ居ルモノデモナカラウシ、各
人ガ作ツテ文書ニシテ出ス必要ハナイノ
デ、ソコハ森林組合ガ各人ノ希望ヲ容レ、
個々ノ人ノ施業方法ヲ容レテ、例ヘバ此ノ
森林組合ノ施業案ト云フノハ、圖ヲ描ケバ
個人々々ノ所有別ノ森林ハ明ニ一ツノ
林班ニナラナケレバナラス、サウシテ個人
ノ所有ノ違フニ伴ツテ一ツノ林班ガ出來
ル、其ノ林班ニ付テハ斯ウ云フヤウナ施業
ヲスルト云フヤウナ施業案ガ出來ル、隨テ
個々ノ人モ施業案ガ出來ナケレバナラス、
ソレヲ作ル人ハ個々ノ人ガ作ルノデナクシ
テ、一ツノ森林組合ガ出來レバ、森林組合
ガ個々ノ人ニ代ツテ個々ノ施業案ヲ作ル、
斯ウ云フコトデアリマス

○松尾(四)委員 サウスルト施業案ヲ作ル
ノハ作ルノダケレドモ、個々ノ者ガ作ルノ

デナシニ森林組合ガ作ル、併シヤハリ個々ノ森林ニ付テ施業方法ヲ御考ヘニナルト云フノデスカ、ソコハドウデスカ、餘リドウモ局長ノ御考ガ私ノ考ヘテ居ルコトト違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、施業案ガ斯ウ云フ嚴格ナモノデナクテモ作ツテナケレバ、今アナタノ言ハレルヤウニ伐期モ大體決ツタモノ、又山林ノ状態ヲ描イタモノ、ソレニ對シテ將來斯ウ云フ施業ヲシテ行クト云フコトガ施業案ダト思フ、唯嚴格トカ簡易ト云フコトニハ區別ハアルデセウガ、施業案ニ違ヒナイノデス、其ノ施業案ヲ作ラナイデ、森林組合ガ個別ニ個々ノ山林ヲ統制スルト云フコトハ出來ナイ、大體基本ノ立場ガ、其ノモノノ施業案ナシニ、大キナ施業案ダケデ——ソレデモ大キナ施業案ダケデアルト云フノナラバ、ソレハサウ云フコトニ説明ヲ聽キマシタナラバ私ハ又次ノ質問シマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

ノ施業案ハドウヤツテドウ、其ノ次ノ何某ハドウヤツテドウ、斯ウ云フモノガズツト施業案トシテ出テ來ル譯デス、ダカラ森林組合ノ施業案ト云フモノハ結局個々ノ施業案ヲ綜合シタモノデアル、ソレデ森林組合ガ作ル場合ハ、個々ニ其ノ人ノ意見ヲ聽イテ、其ノ人ガ作ツタト同様ニナル譯デス、唯、所々多少ノ調整ヲシナイトウマク施業ノ出來ナイヤウナ所ハ、ソコハ造林ヲヤメテ貰ヒタイ、ソコハ斯ウシタ方ガ宜カラウトハ言ヒマス、言ヒマスガ大體ニ於テ個々ノ人ノ施業案ガ即チ一ツノ林班々々ニナツテ來ルノデスカラ、ダカラ個々ノ人ノ施業案ガ出來テ、ソレニ依ツテ作ルノデ、サウ云フモノヲ見ナイデ森林組合ガザツト作ルノデハアリマセヌ

○松尾(四)委員 私ハソレデハ松村政務次官ニ一ツ此ノ點ヲ御尋シテ見マス、今先程カラノ質問ハ政務次官ニ於テドウ云フ風ニ御考ニナラレマスカ、私ハ個々ノ山林ニ付テ施業案ガ出來テ——ソレガナケレバ調整モ統制モ取レヌト思フ、森林組合デ施業案ヲ作ツテモ、ヤハリ個々ノ山林ニ付テ施業案ガ必要デアルト思フ、デスカラソレハドウ御考ニナラレマスカ、一ツ政務次官ニ御尋シマス、ドウモ局長ノ御答デハ私ハ満足仕

兼ネルノデアリマス

○松村政府委員 ドウモ専門家ノ御答辯デ足りナイデ、素人ノ私ニ御聽キ下サルノハ恐縮デアリマスガ、私ハ斯ウ云フ風ニ了解シテ居ルノデアリマス、ズツト小サイ山林ノ所有者ヲ綜合シテ一ツノ組合ガ出來ルノデアリマシテ、之ヲ全體ヲ綜合シタル計畫ハ勿論立チマスガ、其ノ綜合シタル計畫ノ中ニハズツト個々ノ所有者ガ澤山アリマスカラ、其ノ所有シテ居ル山林ノ状態ニ從ヒマシテ、又所有シテ居ル人ノ將來經營ノ意思ヲ尊重致シマシテ、サウシテ其ノ個々ノ計畫モ立テ、之ヲ更ニ全體ニ綜合シテ全體的ノ計畫ヲ立テル、斯ウ云フ譯ニナリマス、隨テ之ヲ一ツノ計畫ガ立ツノデハナイカト云ハレマスカラバ、ソレモヤハリサウ云フ形デハアリマスカレドモ、ソレハ綜合シタル計畫ノ中ニ個々ノモノノ所有者ノ意向及ビ計畫ヲモ加ヘテ全體的ノモノヲ作ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、即チ了解ハ十分行カナイカモ知レマセヌケレドモ、アナタノ御考ニナツテ居リマスノモ、山林局長ノ考ヘテ居リマスノモ、大體煎じ詰メレバ同ジコトデハナイカト私ハ聽イテ居ツタノデアリマスガ、如何ナモノデアリマセウカ

○村上政府委員 洵ニ私ハ松尾サンノ御意見ト私ノ意見ハ一致シテ居ルト思ツテ居ルノデス、チヨトモソコニ食違ヒガナイヤウニ思ツテ居リマス、ヤハリ個々ノ組合員ガ個々ニ作ツタト同様ナ施業方法ヲ集メテ森林組合ノ施業案ガ出來ル、ダカラヤリ方トスレバ各人ガ施業案ヲ作ツテ、ソレヲ森林組合ノ書記カ何カガ纏メテ、少シ變ナ所ヲ訂正シテ、ソレヲ一ツノ森林組合ノ施業案トシテ、サウシテ役所ニ出サレテモソレハ宜イ、併シ各人ノ間ニハ全クノ百姓ツ子デ、字ノ書ケナイ者モアリ、地況林況ナシカラ書ケナイ人モアリマセウカラ、ソレハヤハリ各人ノ施業方法ト云フモノハ十分ニ各人ニ聽イテ、サウシテソレヲ纏メテ森林組合ガ一ツノ施業案ヲ作ルト云フコトニナル、全ク同ジコトデ、各人ノ施業案ガ出來ナケレバ森林組合ノ施業案ト云フモノハ無論出來マセヌ、各人ノ施業案ガ出來テ、ソレヲ綜合シタモノガ、森林組合ノ施業案トナル、ダカラ各人ノ持チ山ガ即チ一林班々々ニナル譯デス、小サナ林班ガ出來ル譯デアリマス

○松尾(四)委員 ソレデハツキリシテ來マシタ、勿論私ガ聽キ方ガ惡カツタカモ知レマセヌガ、最初ノ政府委員ノ言ハレタ言葉ト

ハ大分變ツテ居ル、併シコンナコトハ等フ
場合デアリマセヌカラソレデ宜シウゴザイ
マス、ソコデヤハリ個々ノ山林ニ付テ施業

レバ擔保價格ト云フモノニ相當影響ガアル
ト思ヒマスガ、ソレハドウ御考ニナラレマ
スカ

案ガ出來ルト云フコトハハツキリ致シマシ
タ、初メノハドウモ作ラヌノダ斯ウ云フ話
デアリマシタカラ私ハ御尋シタノデアリマ
スガ、ソレガハツキリシテ來レバ問題ハナ
イノデス、作ラナケレバ出來マセヌ、ソコ
デ施業案ト云フモノハ山林ヲ各自ノ自由ニ
伐採スルコトヲ制限シテ居ルコトニナルト
思フ、山林ヲ自由ニ伐採スルコトハ何時タ
リトモ出來ナイ、出來ナイト云フコトハ換
價スルコトガ出來ナイコトデアル、ソコヲ
私ハ聽キタイ、サウスルト山ヲ處分シテ、
之ヲ昨日申上ゲマシタヤウニ抵當權ニナツ
テ居ツテ、抵當權ヲ實行シテ處分スルニ當
ツテ換價スルコトハ非常ニ困難ニナル、斯
ウ云フコトガ將來起ルト思フノデス、山林
ガ何時デモ伐リ得ル狀態ニアツテ初メテ市
場ニ出テ換價ガ出來ルガ、何時デモ伐採ス
ルコトヲ制限サレテ居ルノガ施業案デス、
施業案ト云フモノハ豫メ伐ル日ヲ定メラレ
テ居ルノデスカラ、其ノ以外ニ伐ルコトガ
出來ナイ、所ガ直グ木材トシテ市場ニ出シ
マスノニ、何時デモ山林ヲ伐ラナケレバナ
ラヌ、是ニ於テ山林ノ値ガ、即チ申シテ見

○村上政府委員 施業案ガ出來マシテ大體
伐採計畫等ガ立テラレマスレバ、其ノ方
ガ擔保價格ハ私ハ上ルト思ヒマス、勿論森
林ハ何時デモ伐リ得ラレナケレバナラヌ、
斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ經濟的伐
期ニ達シタ時ニ何時デモ伐リ得ラレナケレ
バナラヌト云フノデアリマス、二十年以下デ
伐ルト云フヤウナコトハ是ハ費用カラモ損
ナノデス、御承知ノ通り二十年以下ノ造林
ト云フノハ、特殊ノ場合ヲ除キマシテハ、
之ヲ賣リマシテモ新ノ値段ニモ達シナイ、
造林費ヲ掛ケタ費用ニモ達シマセヌカラ伐
期ニナラナイ森林ヲ伐採スルコトハ計算カ
ラ見テモ遙ニ價ノ低イモノデス、サウ云フ
モノヲ伐ルト云フコトハ普通ハナイ、ソコ
デ大體利用價值ノ出タ場合ニ於テ森林ガ伐
レル、斯ウ云フコトガ必要ナノデス、施業
案デモサウ云フヤウニシテ作ラナケレバナ
ラヌ、利用價值ノ出タ所ノ森林ヲ伐ルヤウ
ニスルノガ施業案ダト思ヒマス、勿論例ヘ
バ施業案ニハ伐期ガ五十年トナツテ居ル、
然ルニ三十年デ伐ラナケレバナラヌ、ソレガ
直グ施業案違反ダカラ伐採停止ヲ命ズル、

斯ウ云フヤウナ問題ガ起ルダラウト言ハレ
マスガ、私共ハサウハ考ヘテ居リマセヌ、
伐採停止ヲ命ズルト云フコトハ、要スルニ
ソレニ依ツテ森林ノ荒廢ヲ來スト云フヤウ
ナ場合ニ其ノ必要ガ起ルノデアリマシテ、施
業案ノ通りニヤラナカツタカラ直チニソレ
ニ依ツテ伐採ノ停止ヲ致スト云フヤウナ必
要ハナイ、又サウ云フ場合ニ於テハ豫メ施
業案ノ變更ト云フコトモ認メテ差支ナイ、
即チ森林收入ノ採算ノ採レルヤウナ時ニナ
リマシテ木ヲ伐ルト云フコトハ、是ハ保安
林トカ何トカ云フ場合ハ兎モ角トシテ、普
通ノ場合ニ於テハソレニ依ツテ森林ノ保護
モ害セヌシ、又森林ノ荒廢ヲ來ス所以デモ
ナイノデアリマスカラ、普通ノ場合ニ於テ
ハ擔保價值等ヲ減少スルコトモ全クナイト
思ヒマス、尙ホ特ニ是ニモ書イテアリマス
ヤウニ、生活ヲ維持スル爲ニ已ムヲ得ザル
伐採ハ仕方ガナイト云フコトモアリマスカ
ラ、其ノ人ガ破産スルト云フ時ハ伐採モ已
ムヲ得ナイ、是ハ伐採停止ヲ致サヌト云フ
コトヲ法文デ明ニ致シテ居リマス、左様御
承知ヲ願ヒマス

六十年度アルガ、三十年以上ニナツテ來マ
シテ、ソレデ經濟價值ガアレバ伐ルコトヲ
許ス、施業案ガアツテモ構ハヌト云フコト
ニナレバ法律モ何モ要ラナイ、心配ハ要ラ
ナイ、併シナガラ法律ガアツテ、地方長官
ガ命ジテ施業案ヲ立テタ以上ハ、ソレヲ行
ツテ行ク、又行ハシムベキモノデアル、ソ
レガ本當ノ此ノ法律ノ運用ノ實際的效果ヲ
發揮スル、然ルニ伐期ニナラナイデモ其ノ
場合ニハ許スノダ、斯ウ云フコトニナツテ
ハ餘リ裕トリガアリマシテ、寧ろ私ハコンナ
法律ハナイ方ガ宜イ、斯ウ云フコトカラ聽
イテ見ナケレバナラナイノデアリマス、餘
リ議論ニナリマスガ、ドウデスカ施業案ト
云フモノヲ拵ヘタラ、ヤハリ伐期ニナラナ
ケレバ伐レナイノダト云フコトガ原則デハ
ナイカト思ヒマス、今ノ御話ノヤウニドウ
モ伐期ニナラヌデモ伐ツテモ宜イト云フコ
トニナルナラバ、施業案ハ必要デハナイ、
二十年モ三十年モ木材ノ伐期ニ裕トリガア
ルト言フナラバ森林保護モ何モ要ラナイ、
其ノ點ニ付テモウ一度……

○松村政府委員 ドウモ答辯ヲ誘導サレ
ヤウデアリマスガ、實ハ大體ノ上カラ申シ
マシテ此ノ法律ニ依ツテ荒廢シテ居ル民有
林ノ一定ノ規格ガ立チ、サウシテ森林生産

ノ確保、維持、増進ガ出来マスレバ、ソレ
デ此ノ法ノ目的ハ達シテ居ルノデアリマシ
テ、之ヲ國有林ニヤツテ居リマス施業ノヤ
ウニ、嚴格ナ考ヲ持ツテ居ル譯デハアリマ
セヌ、而モ國有林ノヤウナ嚴格ナ施業ヲヤ
ツテ居リマス所デモ、ヤハリ不況時代ニナツ
テ、國ノ財政ガ都合惡イ時ハ、随分伐ツタコ
トモアルノデアリマスカラ、此ノ民有林ニ對
スル施業案ト云フモノニ付テハ是ハ其ノ所
有者ノ意思モ十分酌入レテ、自分ハ此ノ山林
ヲ此ノ位ノ間ニ伐ツテ、サウシテ之ニ依ツテ
繼續シタ收入ヲ得タイト云フ個人ノ施業案ニ
對スル考ヘ方モ、十分採入レル譯デアリマスカ
ラ、所謂極メテ自由ト申シマスカ、アナタカラ
申シマスレバ頗ル統制ノナイダラシナイト
云フ御考ガアルカモ知レマセヌケレドモ、
サウ云フコトデアリマス、ソレカラ又其ノ
施業案ノ通りニ嚴格ニヤラスデモ、大體其
ノ目的ヲ達スルナラバ所有者ノ意思モ尊重
スルト云フコトニヤツテ、全體のニ於テハ
十分ニ此ノ民有林ノ更新、森林生産ノ保護
ノ目的ヲ達スルト云フ所ニ、此ノ法律ノ妙味
ガアルノデハナイカト思フノデアリマス

○松尾(四)委員 此ノ法案ニ依ツテ民有林
ノ受ケル打撃ヲ少クシヨウト云フコトニ付
テハ、非常ニ御同情ノアル政府ノ御考ニ依
ツテサウ云フ御解釋ガ出来テ居ル、局長ハ
餘程此ノ點ヲ心配シテ居ラレマシテ、個々
ノ民有林ガヒドイ打撃ヲ受ケテハ困ルダラ
ウト云フ所ニ、非常ニ御同情ガアルカラ、今
言フヤウナ裕トリノアル御答辯ガ出来ル、
其ノ點御同情ノアル所カラ起ツテ居ルト云
フコトニ付テハ、其ノ御答辯ニ對シテ満足
シマス、併シ此ノ法案ヲ今度實行シテ行ク時
ニハ大體誰ガヤルノカト云フト、此ノ建前
ハ森林組合ガヤルヤウニナツテ居ル、ソコ
デ森林組合ノ構成ハドシナモノカト云フト
大抵村ノ村長サンガ大將ニナラレマシガ、
村ノオ役人サンガヤラレル、今政府ノ言ハ
レルヤウニ、緩ヤカナ裕トリノアル施業案
デアルト言ヒマシテモ、ソシナ事ハ此ノ法
案ニハ一ツモ書イデアリマセヌカラ、將來
實行スルト云フコトニナルト、中々難カシ
クナルカモ知レナイ、今ハサウ云フ氣持デ
此ノ法案ヲ出シテ居ラレマスケレドモ——
ソレハ決シテ今出シテ居ラレル政府ノ方
ニ惡意ガアルト云フコトハ斷ジテ思ヒマセ
ヌガ、法律ヲ出ス時ニ緩ヤカデアツテモ、
段々出テカラ強クナツテ首ガ締ツテドウニ
モナラヌト云フコトニナルノデアリマス、
ソレデ私ハ將來ノ個々ノ民有林ノ所有者ニ
同情シテ居ルノデ、此ノ點カラ御伺スル

ノデアリマス、サウデスカラ何處マデモ私
ハ施業案ト云フモノデ、山林ノ伐採ヲ約束
付ケラレテシマフト云フコトニナレバ、何
時デモ伐採ヲシテ處分ガ出来テ、木材ヲ市
場ニ出セルト云フ時ヨリハ、確ニ山林ノ價
値ハ下落スルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ
私ハ考ヘマス、今局長ハ下落シナイ、寧ロ
上ルト言ハレマシタ、是ハ相當意見ノ相違
デアリマスカラ、其ノ意見ノ相違ニ對シテ
ハ尙ホ更ニ御尋シマス

ソコデ其ノ點ニ付テ森林組合ノコトヲ聽
イテ置カナケレバ施業案ヲ作ルノニ非常ニ
關係スルコトガアルノデス、此ノ森林組合
ヲ作ルノニ、組合員タル資格アル者ノ三分
ノ二以上ノ同意アルコト、其ノ地域内ニ於
ケル總面積ノ三分ノ二以上デアアル、斯ウ云
フコトニ第六十六條デ決ツテ居リマス、此
ノ森林ノ總面積ノ三分ノ二ト云フ面積ノ上
カラト、人ノ上カラトデスガ、ソコデ此ノ
組合員ノ總デノ決議ハヤハリ多數決デオヤ
リニナルト思ヒマス、決議權ヲ持ツ個々ノ
資格者ハ山林ヲ多ク持ツテ居ツテモ少ク持
ツテ居ツテモ同一デスカ、負擔其ノ他ニ付
テハ茲ニ一ツノ基準ヲ設ケラレテ居リマス
ルガ、組合ノ決議ニ對スル權利ハ、是ハ同
一ニナツテ居リマスカ伺ヒタイ

○村上政府委員 組合ノ役員ハ組合員カラ
デナケレバ選出スルコトハ出来ナイコトニ
ナツテ居リマス、隨テ山ヲ持タナケレバ村
長デモ有力家デモ是ハナレナイ、山ノ所有
者ガ役員ニナル譯デアリマス、隨テ山ノ所
有者ガ皆役員ニナリマスカラ、山ノ所有者
ニ不利ナヤウナ施業案ヲ作ツテ、自分等ガ
首ヲ締メルヤウナコトハ先ヅナイト私共ハ
思ヒマス、ソレカラ議決權ハ森林組合令ノ
二十六條ニアリマシテ、大體定款ヲ以テ決
メルコトニナツテ居リマス、定款デハヤハ
リ面積ト云フヤウナモノヲ相當考慮シテヤ
ツテ宜シイコトニナツテ居リマス、但シ其
ノ二項ニ「各組合員ノ議決權ハ一箇以上トス
但シ議決權總數ノ五分ノ二ヲ超ユルコトヲ
得ス」一人ノ人ガ五分ノ二以上ヲ持ツテハ
イカヌ、一人デ過半数以上ヲ持ツテハイカ
ヌ、斯ウ云フ制限ガアリマス、大體森林ノ
面積等ニ依リマシテ議決權ニ相違ヲ設ケテ
アルノガ今マデノ實例デゴザイマス

○松尾(四)委員 モウ一遍組合員ノ議決權
ヲ行使スル資格ヲ説明シテ戴キタイ

○村上政府委員 組合ノ議決權ハ森林組合
令ノ二十六條ニ其ノ規定ガ今アリマス、ソ
レデ「各組合員ノ議決權ハ一箇以上トス、但
シ議決權總數ノ五分ノ二ヲ超ユルコトヲ得

ス」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、隨テ議決權ノ内容ハ各人一票ト云フコトモソレハ定款デ出來ナイコトモナイデセウケレドモ、普通ノ定款ニ於キマシテハ、森林ノ面積ニ比例シテ或人ハ一箇、或人ハ二箇、或人ハ三箇ト云フヤウナ議決權ヲ持ツテ居ル、是ガ今ノ森林組合ノ現狀デゴザイマス、勿論一人デ五分ノ二以上ヲ持ツコトハ出來ナイト云フ規定ガゴザイマスカラ、ソレハ出來マセヌケレドモ、五町歩以下ハ幾ラ、十町歩以上ハ幾ラ、斯ウ云ツタヤウナコトデ段々議決權ノ數ヲ殖ヤシテ行ク、斯ウ云フコトニ今ナツテ居リマス、此ノ現狀ハ今後モ變更スル必要ハナイト考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 サウ云フコトハ原定款ニ決メナケレバナラスノデス、即チ設立當時ノ定款ニ決メナケレバйкаスト思ヒマス、ソレハ後デ變更スルコトハ非常ニ困難デアノミナラズ、私ノ申シマスノハ、小サナ山林家ガ非常ニ多イ、個々ノ民有林ト云フモノニハ大小ノ懸隔ガ非常ニ多イノデス、非常ニ大キイモノト小サイモノガアル、ソレガ皆同ジ一ツノ權利ダト云フコトニナルト、是ハ産業組合ノ組合員ノ出資ナドトハ餘程趣ガ違フト思ヒマスカラ、私ハ其ノ點ヲドンナ御取扱ニナルカラ伺ヒタイ、ソコ

デ是モ何カ基準ヲ——是ハ唯定款ニ決メ得ルノダト云フコトハ今ノ御説明デ分リマシタガ、政府ニ於テドウ云フ風ナコトヲヤラシテ決メルト云フ御腹案デモアリマスカ、ソレガアレバ此ノ際明ニシテ置イテ戴ケレバ、將來是ハ非常ニ便利ダト思ヒマスガ……

○村上政府委員 面積ニ依リマシテ大體議決權ヲ決メテ行キタイ、但シ面積ニ正確ニ比例スルト云フコトハ出來マセヌカラ、一町歩以下ハ一トカ、一町歩乃至何町歩マデハ二トカ、ソレカラ上ハ三トカ、斯ウ云フ風ニ段々面積ニ比例シテ上ゲテ行ク、斯ウ云フヤウナ議決權ノ決メ方ヲシテ行キタイト思ヒマス、但シ此ノ組合令ノ二十六條ノ二ニアルヤウナ所ハ、是ハヤハリヤツテ置カナケレバナラス、一人ノ人ガ五分ノ二以上、即チ過半数以上ヲ持ツテシマフト云フコトニナルト、組合トシテ是ハ一人ノ人ノ專制ニナリマスカラ、如何ニ面積ガ大キクテモ五分ノ二以上ハ出來ヌ、サウ云フコトニ制限ヲシテ行キタイ、大體ソレマデノ間ハ面積ニ標準ヲ置イテ實行ヲ期シテ行キタイ、普通ノ場合ニ於キマシテハ大體斯ウ云フコトニシテ行キタイノデアリマス

○松尾(四)委員 ソレデハ其ノ次ヲ伺ヒマス、サウスルト今度ハ組合員ニハ、是ハ未

成年者或ハ妻ノ名義ニナツテモ夫ガ同意ヲシナケレバナラスト云フ財産ニ對スル色々ナ制限ガ民法上規定サレテ居リマスガ、是ハ組合員ニハナレル、ソレカラサウ云フ人ハ役員ニナツテモ、ヤハリ所謂法人ノ代表者トシテノ行爲ハ行ハヌカラ、組合員トシテハ差支ナイト思ヒマスガ、役員ニハ無論ナラヌト思ヒマス、ソレハドウ云フコトニナツテ居リマスカ

○村上政府委員 妻及ビ未成年者ト雖モ組合員ニナレマス、隨テ議決權ハ未成年者ノ場合ニ於テハ法定代理人ガ代行ヲスルト云フコトニナリマス

○松尾(四)委員 ソレデハモウ一ツ伺ヒタイト思ヒマスガ、此ノ施業案ハ第六十二條デハ「森林組合ハ組合員ノ所有スル森林ニ付テ自ラ施業ヲ爲シ又ハ組合員ノ施業ヲ調整シ以テ森林生産ノ保護ヲ圖ルヲ以テ目的トス」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、此ノ六十二條ノ場合ノ費用ノ負擔ハ、命令規定ノ第五ニ於テ決メラレテ居リマス、「組合員ニ分賦シ得ベキ經費ハ役員及施業技術者ノ給料旅費、事務所費、會議費等ノ事務費並ニ施業案編成及檢訂費等ノ事業費ニ之ヲ限定スルモノトスルコト」ト書イテアル、サウスルト斯ウ云フ事務的ノ仕事ニハヤレルノ

デスガ、其ノ他ノコトハ行ヘナイノデスネ、若シ資本ヲ貸シテヤラナケレバナラスヤウナ場合ニハ貸セナイヤウニ思フノデスガ、ソレデ宜シイカ

○村上政府委員 出資ヲ爲サシメ得ル組合ニアリマシテハ、資金ノ貸付ト云フヤウナコトハ出資ノ方カラセシムベキモノデアリマシテ、一般事務費ニ互ルヤウナモノノミヲ經費ノ分賦デ行ク、斯ウ云フコトニシタノデアリマス

○松尾(四)委員 サウスルト此ノ出資ノ組合ト云フモノハ、第七十條ノ二ト云フモノヲ見レバ分ルノデスガ、此ノ事ヲ言ハレルノデスカ、第七十條ノ二ニハ出資ヲ爲サシメテ組合ヲ作ル、斯ウ云フコトモ亦明ニ書イテアル、此ノ關係ガドウモ一寸分ラヌノデスガ

○村上政府委員 第六十九條ノ二デ「森林組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ經費ヲ組合員ニ分賦スルコトヲ得」ト書イテアリマス、二項デ第七十條第一項ノ規定ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムル所ノ森林組合ニ付テハ、無制限ニ經費ノ分賦ガ出來ルモノデハナイ、唯「六十二條第二項ニ規定スル事業ニ關シ命令ヲ以テ定ムル經費ニ限ル」斯ウ云フコトニシタノデアリマス、即チ組合ノ經常費ト云

フモノ以外ハ分賦ガ出來ナイ、無出資森林組合ニ於キマシテハ是ハ經費ノ分賦デヤツテ行カナケレバ收入ノ途ガナイノデアリマス、出資組合ニ付テハ、片方デ出資シテ、片方デ無制限ニ經費ヲ分擔サセテシマツタノデハ、折角出資ヲサセタト云フコトト竝立シナイコトニナリマスカラ、サウ云フ組合ニ付テハ經費ノ分賦ニ付テ斯ウ云フ制限規定ヲ設ケタノデアリマス

○松尾(四)委員 サウスルト出資組合ニアラザレバ、施業案ヲ其ノ組合ニ代ツテ實行スルコトハ出來ナイヤウニナルト思ヒマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスガ

○村上政府委員 出資組合以外デモ組合ニ代ツテ施業案ヲ實行スルコトハ出來マス、施業案ヲ實行スルコト云フノハドウ云フ意味カト云フト、一寸私モ分リ兼ねマスガ、施業案ヲ編成スルコトハ出來マス、唯、此處ニモアリマスヤウニ、其ノ組合員ニ代ツテ自ラソレヲ引受ケテ、信託ノニ組合自ラヤルト云フコトハ出資組合デナケレバ出來マセヌ

○松尾(四)委員 サウ致シマス、其ノ出資組合ト云フモノハ、此ノ七十條ノ二ノ方ニ限ル譯デスネ、ソレノ方ガ、此ノ資料ヲ見マス、一口三十圓ヲ限度トシタル出資

者ヲ集メテ組合ヲ作ツテ、ソレガ出資組合トナリ、ソレガ實行ジテ行ク、斯ウ云フコトニナルノデスガ

○村上政府委員 御解釋ノ通りデアリマスモ、此ノ法文ノ規定ニ依ツテ、政府ハ命令ヲスルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、地方長官必要アリト認ムル時ハ組合ヲ作ルコトヲ命ズル、斯ウ書イテアリマス、其ノ命令ノ中ニ入ツテ居リマスガ、是ハ全ク組合任意ノモノデスガ

○村上政府委員 命令ヲスルノハ森林組合ヲ作ルコトダケノ命令デアリマシテ、出資組合ニ對スル命令權ト云フモノハアリマセヌ、森林組合ガ出來上リマシタ時ニ於テ自分等ガ出資スルカシナイカ、出資組合ニスルカシナイカト云フコトハ組合員ノ任意デアリマス、定款ニ依ツテサウ云フコトヲ定メルノデアリマシテ、政府ハ出資組合ノ設立ヲ命令スルコトハ、法律上出來ナイコトニナツテ居リマス

○松尾(四)委員 サウ致シマス七十條ノ二ニ依ツテ初メテ組合員ノ施業案ヲ實行スル仕事等ガ行ハレルト思フノデアリマスガ、今ノヤウナ御見解デアツテ、強制スルコトハシナイト云フ方針デアリマシタラ、是ハ

山林ヲ相當澤山持ツテ居ル人ハ命令的ニ組合員ニナラヌデモ宜イ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ宜シイノデスガ

○村上政府委員 ソレハ違ヒマス、森林組合ノ設立ニ付テハ前ニモアリマスヤウニ、必要ガアル場合ニ於テハ政府ガ設立ヲ命ズルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、隨テ森林組合ガ設立シマスレバ同意者ハ勿論、其ノ地域内ニ於テ森林ヲ持ツテ居ル者ハ當然組合員ニナル、組合員ニハ無論ナリマス、但シ出資組合ニナルカナラヌカト云フコトハ、ソレハ組合ガ出來タ後ニ於テ組合員ノ意思ニ依ツテ決定スルコトデアリマ

ス

○松尾(四)委員 ソレデハ出資ニアラザル組合ハ命令ニ依ツテ、其ノ設立ヲ地方長官ガ命ズル、ソレカラ後ニ組合員ガ更ニ出資組合ヲ作ルカ作ラヌカハ任意ニ出來ル、斯ウ云フノデスガ、ソレヲ御同致シマス

○村上政府委員 其ノ通りデアリマス

○松尾(四)委員 ソレデハ此ノ組合ガ金融的資本的行爲ヲスルノニハ、出資組合デナケレバナラヌノデアリマスカラ、之ニハ組合員ニナルコトガ便利ナ人ハ入リマスガ、便利ニナラナイ人ハ入ラヌ、サウスルト殆ド現在ノヤウニ民有林ガ個々バラ／＼ニナ

ツテ居ルモノヲ纏メテヤルト云フ趣旨ニハ少シ合ハヌヤウニナリマスガ、是ハ將來ニ於テサウ云フコトハ一寸御考ヘ違ヒデハナイカト思ヒマスカラ更ニ念ヲ押シテ置キマス

モウ一ツ伺ヒタイノハ第六十三條ニ「森林組合ハ營利ヲ目的トセサル社團法人トス」トアリマス、第七十條ノ二ハ相當ハ營利ガ目的ニナルヤウニ思フノデスガ、是ハ矛盾シテ來ルヤウナコトハ起リマセヌデスカ

○村上政府委員 營利ヲ目的トセザル法人ニハ違ヒアリマセヌガ、營利ヲ目的トセザル法人デモ營利事業ヲ致シテハイカスト云フコトデハナイノデアリマス、是ハ御承知ノ通り市町村ノヤウナモノデモ、例ヘバ電車事業ヲ經營シタリ何カスル、併シナガラ市町村ハ無論營利ヲ目的トセザル法人デア

ル、隨テ前ニモ申上ゲマシタヤウニ、此ノ一ノヤウナ事業ハ是ハ積極的ニヤルコトハ出來ナイ、極メテ消極的ニ是ハ解シナケレバナラヌ、斯ウ申上ゲマシタノデ、餘リ都會ニ店舗等ヲ持ツテ來テ材木商ヲ營ムヤウナコトハ、是ハ組合ノ趣旨ニモ反シマスカラ、サウ云フコトハ認メナイト云フノデアリマス

○松尾(四)委員 ソレデハサウ云フ條項ガ

チャント六十三條ニ決メラレテアツテモ、此ノ六十九條ノ六ナシカニハ、ヤハリ相當ナ收益ガアル場合、其ノ收益ヲ森林ノ評價ヲシタ額ニ比例シテ、之ヲ組合員ニ分配スルノダト云フヤウナ工合ニ認メテ居ルノデスカラ、茲ニ少シ問題ガアルヤウニ思フノデスガ、ソレデ差支ナイト云フコトデアレバサウ承ツテ置キマス

ソレカラモウ一ツ伺ヒマスガ、第六十九條ノ六ニ總テ森林ノ評價ト云フコトガ本ニナツテ、其ノ評價ニ依ツテ收益ヲ分配スルト云フコトガアルノデスガ、其ノ評價ヲ定メルノニハドウ云フヤウナ基準ニ依ルノデゴザイマスガ、又「命令ヲ以テ定ムル標準ニ依リ」トアリマスカラ、斯ウ云フ命令ノ御腹案ガアレバ御示シテ願ヒタイ

○村上政府委員 是ハ大體共有林ノヤウナ性質ヲ有スル所ノ森林組合ニ限ツテ、斯ウ云フモノヲ適用シヨウ、普通ノ森林組合ニハ適用致シマセス、即チ森林組合ガ自ラ合同施業ヲスル、是ハ共有林——昔ノ部落有林ノ變形、多數人ノ共有林見タイナモノニ對シテ、斯ウ云フ六十九條ノ六ハ動ク規定デアリマス、隨テソレヲ分配スル場合ニ於テハ、各人ノ持分ト云フモノガ評價ノ對象トナル、ソレカラ共有林ニ付テハ、同一

事業ノ施業ヲスル時ハ、面積ニ依ツテ當然評價額ガ分ツテ來ル、サウシテ評價額ヲ決メマシテ各人ノ評價額ニ依ツテ收益ヲ分配スル、斯ウ云フコトニナルデアリマス

○松尾(四)委員 從テ法人組合等ノ決算ヲ致シマシテ、其ノ利益ヲ分配致シマス時ニハ、其ノ持分ノ口數ニ應ジテ配當ヲスルト云フコトガ原則デス、所ガ茲ニハ收益ト云フモノハ、組合員ノ所有スル森林ノ評價ニ比例シテ渡シヤウニシテアルガ、是ハドウナルノデセウカ、ソレト今言ツテ居リマス口數ニ依ツテ分配スルト云フコトハ、少シ此ノ條項ノ狙ツテ居ル所ト違ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、如何デゴザイマスガ

○村上政府委員 大體御説ノ通り持分ノ口數ニ依ルコトニナリマス

○松尾(四)委員 サウ致シマス此處ニ書イテアルコトト餘程此ノ點ニモ疑問ノ所ガ生ジマスカラ更ニ又其ノ點ヲ伺フコトニ致シマス

私ハモウ一ツ聽イテ今日ノ質問ヲ終リタイト思ヒマスガ、先程出資組合ハ強制シナイト云フコトヲ言ハレマシタガ、餘リ諄々シク駄目ヲ押スヤウデアリマスガ、一般ノ組合ハ作ラセテ置イテ、出資ハ更ニ出資組合ト云フモノヲ又別ニ作ラセルト云フ御趣

旨デスカ、詰リ其ノ組合ガ出資組合ニ一口三十圓見當ノモノデ口數ヲ決メテ組合ヲ作ル、斯ウ云フ風ナモノヲ別ニ作ルノデスカ、又是ハ其ノ組合ガ即チ出資組合ニナルノデスカ、併シ其ノ場合ニハ先ノ組合ノ中デ一般組合ニハ入ツテ居ルケレドモ、其ノ出資ノ方ニハ俺ハ入ラナイト云フ、斯ウ云フコトガ出來ルト思フ、是ハ出資ノ方ハ俺ハ入ラナイト云フ時ニモ、命令ハシナイト云フコトヲ仰セラレマシタガ、命令ハ出來ナイノデスカ、其ノ點ハドウナツテ居ルノデスカ

○村上政府委員 組合ガ出來上リマシタ後ニ、定款デ出資組合ニスルト云フ時ニハ、定款デ出資組合ニナル譯デアリマス、即チ其ノ組合ガ出資組合ニ性質ヲ變更スル譯デアリマス、其ノ場合ニ於テハ總テノ組合員ガ出資ノ義務ガ生ズル譯デアリマス

○松尾(四)委員 其ノ場合ニ於テハ出資ハ自由デゴザイマスガ——サウ致シマス、出資ニアラザル組合モ亦出來テ居ル、ソレカラ一方ニハ出資ニ依ル組合ガ出來テ居ルト云フコトデ、ドウモ少シ妙ナモノガ出來ルト思フノデス、其ノ場合ニ於テハ出資ニアラザル組合ハ一應解散デモシテシマツテ、出資組合ニナツテシマハナケレバ何ダカ別

ニ又組合ガ出來テ組合ガ二ツ出來ルヤウニナルト思ヒマスガ、若シドツチニモ入ラナイヤウナ場合ハドウナルノデスカ、其處ハドウ云フヤウニ考ヘタラ宜イノデスカ

○村上政府委員 組合員ニハ皆ナツテ居ルノデス、出資組合員ニナルト云フノハ定款ノ變更デスカラ、人格ノ變更デヤゴザイマセヌ、即チ定款ガ變更サレテ今マデノ非出資組合ガ出資組合ニナル譯デス、サウシマスルト、各人ハ少クトモ一口以上持タナケレバナラヌ譯デアリマス、デアリマスカラ森林組合ノ設立ハ是ハ場合ニ依ツテハ、強制ト言ツテハ多少語弊ガアリマスケレドモ、政府ガ命令シテ作ラセルコトガアリマス、併シナガラ作ツタ森林組合ガ非出資組合ノ儘デ居ルカ、或ハ出資組合ニナルカハ是ハ組合員ノ多數ノ意思ニ從フ、其ノ多數ノ意思ガ出資組合ニナルト云フ場合ニ於テハ、定款ニ依ツテサウ云フ風ニ議決スレバ、今マデ出來マシタ所ノ非出資組合ガ出資組合ニナル譯デス、サウナレバ各人ハ必ズ一口以上ハ出資シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○松尾(四)委員 ソレデハツキリ分ツテ參リマシタ、所ガサウ云フ場合ニ於キマシテ、出資ニアラザル組合ハ政府ガ命令ヲシテ作

ラセルコトが出來ルコトニナツテ居ル、ソ
レカラ今度ハ定款ノ變更ニ依ツテ所謂組合
員ノ意思ニ依ツテ出資組合ヲ作ルノデア
ル、斯ウ云フ御話デス、ソコ此ノ定款ノ
變更ニ依ツテ出資組合ヲ作ルト云フコト
ハ、政府ハ命令ヲセナイト云フ初メノ御話
デシタカラ命令ヲセナイト思ヒマスガ、尙
ホ念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○村上政府委員 命令ヲスル規定ガゴザイ
マセヌカラハ法規上絕對ニ命令ハ出來マ
セヌ

○松尾(四)委員 宜シウゴザイマス、私ハ
是デ終リマス

○伊東委員 極ク簡單デアリマスガ、關聯
事項デ……、只今松尾委員カラ非常ニ詳細
ニ互ツテ質問ガアリマシテ私共モ非常ニ參
考ニナリマシタガ、特ニ此ノ施業案ノ内容
ガハツキリシマシタ、斯ウ云フ工合ニ解釋
シテ宜イダラウト思フノデス、部分林
ハ施業案ガ施行サレテ居ル部分林モ、伐
期ガ五十年トナツテ居ツテモ、必要ナ
場合ニハ三十年或ハ四十年ニ伐期ノ變更
ガ出來ルノデアリマスルカラ

(馬岡委員長代理退席、小山委員長代
理著席)

左様ニ解釋シテアア云フ風ナ建前ノモノダ

ト解釋スルコトガ一番宜イと思フノデアリ
マスガ、サウ云フ工合ニ解釋シテ宜イノデ
アリマスルカ

續イテハツキリシテ置キタイコトガモウ
一點アリマス、是ハ特ニ政務次官カラ御答
ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、地方トシテ
モ弱ツテ居ル問題デアリマスガ、林木伐採
稅ノ問題デアリマス、林業ノ課稅ニ付テハ
非常ニ不合理ナモノガアリマスケレドモ、
是ハ次ニ行ハレル稅制改革ノ時ニ十分善處
シテ貰ヘバ宜イノデアリマス、此ノ中伐採
稅ハ地方財政調整交付金制度ノ確立ト共
ニ、地方稅ハ廢稅ニナツタノデアリマス、

林業家ハ非常ニ悅ンデ居ツタノデアリマ
ス、サリナガラ森林ガ非常ニ多い町村ニ於
キマシテハ、森林開發ノ立場デ、地方ノ町
村費デ村道里道ヲ開鑿シテ、相當ナル經費
ヲ注ギ込ンデ居ルノデアリマス、而シテ是
ガ修繕費ハ相當ノ金額デアリマスノデ、斯
ウ云ツタヤウナ、特別ニ町村稅トシテ伐採
稅ヲ設定スルト云フ町村ガアツテ、今ヤ出
願シテ許可ヲ受ケテ、町村稅ヲ特別ニ賦課
シテ居ル町村モアルノデス、是等ニ付テハ
私當然ト思ツテ居リマス、無論運搬費ガ、
材木ノ原價ニ非常ニ影響ガアリマスノデ、
其ノ町村ガ町道若ハ里道ヲ開鑿シテ、林業

者ノ運搬ニ便ナラシメルト云フ所カラ生産
費ガ減ズル、ダカラ將來ノ修繕費等ニ充當
スル爲ニ、伐採稅ヲ町村稅トシテ設定スルコ
トハ當然ダト思ツテ居リマスケレドモ、宮
崎縣ニモアル問題デアリマスガ、此ノ場合
ニ林業者ガ舉ツテ反對ヲシテ居ル、縣デハ
山林會ナドガ、此ノ伐採稅設定ニ對スル猛
烈ナル反對ヲ起シテ居ルノデアリマス、地
方廳アタリデモ稍、困ツテ居ルヤウニ見受
ケテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テハツ
キリサシテ戴クコトガ、斯ウ云ツタヤウナ
反對ノ運動ヲ止メサセル一ツノ方法ダト思
フノデアリマスガ、此ノ場合ニ此ノ伐採稅ニ
對スル農林省ノ態度ヲハツキリシテ戴イテ、
サウシテ方針ヲ御明示シテ戴クコトガ必要
ダト思フノデゴザイマスガ如何デゴザイマ
スカ

○松村政府委員 是ハ農林省限リニ於テハツ
キリシタコトヲ申上ゲルコトハ出來得マ
セヌデゴザイマスガ、唯吾々ト致シマシテ
ハ出來ル限リサウ云フ林業ノ發達ヲ阻碍ス
ルヤウナ稅制ハ避ケタガ宜イトハ思ヒマ
スケレドモ、併シ道路ガ傷ミマストカ、ソ
レカラソレ等ノ利便ヲ増加スルトカ云フ爲
ニ、サウ云フ稅ヲ課スルト云フコトニ對シ
テ、絕對的ニイカナイト申スコトハ、此處

デ申上ゲ兼ネルコトト思ヒマス、サウ云フ
ヤウナ材木ノ運搬ノ爲ニ道路ガ非常ニ特ニ
傷ムト云フヤウナモノニ對シテハ、或ル程
度マデノ課稅モ亦已ムヲ得ナイノデハナカ
ラウカ、斯ウ云フヤウニ存ジテ居リマス、
尙ホ事務當局ノ方ニ御意見ガアレバ申上ゲ
マス

○村上政府委員 只今松村政務次官ノ御答
辯ノ通りデアリマス、尙ホ前段ノコトニ付
テハ伊東サンノ仰セノ通り、施業案ニ付テ
モ無論サウ云フ事實ハ認メナケレバナラス
ト思ヒマス

○小山委員長 伊東サン、アナタノ御質問
ハ其ノ程度ニ御願ヒシタイノデスガ……

○伊東委員 モウ終リマス——只今ノ松村
政務次官ノ御答辯デハ、少シハツキリシ
イノデスガ、之ニ付テハ大藏省トシテモ地
方財政調整交付金制度ガ出來タ時ニ、斯ウ
云ツタヤウナ雜種稅ハ廢止スル方針デ一應
進ンダノデアリマス、所ガ其ノ後先程申上
ゲマスヤウナ事情ノ下ニ、町村自體ガ其ノ
町村ノ獨立稅トシテ之ヲ設定スルコトニナ
ツテ、既ニ内務省モ承認シ、大藏省モ承認
ラシテ、現在伐採稅ヲ課シテ居ルノデアリ
マス、ダカラ方針ハハツキリ事實ガ證明シ
テ居ルニモ拘ラズ、右申上ゲルヤウナ反對

ノ運動が起ル、今ノヤウナ御答辯ヲサレルト益、是ノ反對ノ聲ガ大キクナツテ、妙ナモノニナリハシナイカト思ヒマスノデ、今ヤツテ居ル事實ガ、其ノ通りノ方針ダト云フコトニシテ戴イデ、山林業者ノ利益モ亦林道ノ開發ニ依ツテ助ケラレ、茲ニ一ツノ光明ヲ見出シテ、圓滿ニ進ムコトガ必要ダト思フ、ソコデ私ハ地方ノ事實ヲ基礎ニシテ御尋致シマシタガ、サウ云フ争ヲサセルコトハ寧ロ森林ノ發展ヲ阻碍スルト思ツテ居リマス、ソコデ現在ノ事實ノヤウニ、必要ガアル町村ハ伐採稅ヲ許ス、是ガ方針ダト承知シテ宜シイノデアリマスガ、此ノ點デアリマス

○松村政府委員 只今御話ノ通り、此ノ場合ニ關係各省ノ方針ヲ明確ニシテ置クコトハ極メテ必要ナコトダト思ヒマス、就キマシテハ私ノ廳ノ意見ノミナラス、關係各省トモ打合セテ致シマシテ、改メテ明確ニ御答ヲ申上ゲマス

○小山委員長 小山田君

○小山田委員 私ノ質問ハ極メテ簡單デゴザイマス、質問ノ要旨トスル所ハ農林大臣ニ對スル質問ガ適當デアルト考ヘマスガ、先程伊東君ノ農林大臣ニ對スル質問ノ要領ヲ伺ヒマスルト、其ノ御答辯ガ頗ル徹底ヲ

缺クヤノ感ガアルノデゴザイマス、寧ロ多年農政問題ニ對シテ、非常ナ御理解ト深キ關係ヲ持ツテ居ラツシヤル松村次官ニ御伺スルコトガ、却テ私ノ質問ノ要旨ヲ徹底セシムル上ニ於キマシテ宜シカラウト考ヘマス、且ツ又松村次官ハ農政問題ニ對スル民政黨内ノ「エキス・パート」トシテ來ラレタ關係モアリマシテ、大臣ヨリモ次官ノ方ガ却テ御答辯ヲ願ヒマスルニ都合ガ宜カラウト考ヘマスノデ、次官竝ニ政府委員ニ對シテ極ク簡單ニ一言申上ゲタイ、森林事業ハ申上ゲルマデモナク、他ノ産業ト異リマシテ、一朝一夕ダ其ノ收益ヲ舉ゲルコトハ到底不可能デアリマス、所謂百年ノ大計ニ屬シ、或ハ又二百年ノ大計ニ屬スルト云フヤウナコトデアリマシテ、是ガ爲ニハ本改正法律案ノ御趣旨ノヤウニ、一定ノ施業案ヲ確立シテ計畫ヲ立テナケレバナラナイト云フコトハ勿論デゴザイマス、併ナガラ國有林野ノヤウニ國ノ經費ヲ以テ立案計畫スルモノハ宜イト致シマシテモ、公有林或ハ私有林ノヤウナモノニ取リマシテハ、此ノ計畫ヲ實施經營シマス上ニ於キマシテ、中々容易ナラザル問題ノヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、施業案ヲ實施經營スベキ經濟的ノ力ガ伴ハナケレバ、到底遂行ヲ期スル

コトハ困難デアリマス、御承知ノヤウニ殊ニ山村地方ニ於キマシテハ、近年疲弊困憊ノ程度ガ最モ甚シイノデアリマシテ、農耕其ノ他ノ生業ニ乏シイ關係上、農村ヲ通ジマシテ最モ窮迫セル實情ニアルコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、而モ此ノ窮迫セル山村ノ財政ヲ以テシテ、森林事業ノ經營ヲ爲シテ行クコトハ、相當程度以上ノ困難ヲ伴フモノデアルト思フ、ノミナラズ是等ノ地方ノ林野ハ多年荒廢ノ儘ニ委セラレテ居ツタモノガ多イノデアリマシテ、今施業案ヲ立テタトシテモ、之ヲ實施經營スルニ足ルベキ經濟力ニ缺クモノガアリマシテハ、折角ノ案ノ實行モ期セラレナイノデアリマス、田畑ノヤウニ毎年收益ヲ豫想セラレルモノト違ヒ、永イ年月ニ互ツテノ經營ニ要スル費用ハ決シテ少クナイノデアリマシテ、是ガ遂行ヲ期スル爲ニハ、政府ニ於テ相當思ヒ切ツタ助成ヲ爲スコトガ、町村ノ實情ヨリ考ヘマシテ、又本案ノ趣旨ヲ遂行スル意味ニ於キマシテモ、極メテ私ハ緊要ノ事柄デアルト考ヘマス、先ツ此ノ點ニ關スル農林當局ノ御所見、竝ニ計畫遂行ニ關スル財政的ノ基礎ヲ何處ニ求ムルヤ、此ノ點ニ付キマシテ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 此ノ施業案ノ實行ニ付キマシテハ、一方ニ於キマシテ造林ノ助成ノ徹底化、林道開發ノ助成ノ徹底及ビ施業案編成或ハ森林技術員ノ設置ニ對スル助成、斯ウ云フモノガ伴ハナケレバナラヌト思ヒマス、造林ニ付キマシテハ、明年度ヨリ六十五萬圓バカリ増シマシテ、造林助成ノ強化ノ一端ニ資シタ譯デアリマス、尙ホ是ハ今後更ニ増額ヲ期シタイト思ヒマス、尙ホ林道ニ付キマシテハ、此ノ委員會デ前ニ申上ゲマシタヤウニ、明年以降ニ於キマシテ、相當經費ヲ増額シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、又施業案編成等ニ付キマシテハ、本年度ニ於キマシテハ四十二萬圓デアリマスガ、將來ニ於キマシテハ二百萬圓位ノ額ニ致シマシテ、造林補助ノ徹底ヲ期シタイト思ヒマス

○小山田委員 政府ノ助成方針ニ付テノ只今ノ御答辯ヲ承リマス、或ハ林業技術員ニ對スル補助、或ハ又林道ノ開發ニ對スル補助ト云フヤウナ從來ノ補助關係ヲ綜合シタモノノ外ニ、一步モ出ナイヤウナ補助政策ノヤウニ承リマスガ、提案ナサレマシタ改正法律案ニ依リマス、所謂森林資源ノ問題ニ互ル所ノ非常ナ重要ナル法律案ト思フノデアリマスガ、此ノ計畫ヲ立テマスニ

付テノ政府ノ補助政策ト云フモノハ、只今御話ニナツタヤウナ程度ノモノデハ、私ハ相當困難ヲ伴フモノト思フノデアリマス、將來ニ互ツテ此ノ補助額ヲ増額シテ、益、本法改正ノ趣旨ニ副ヒタイト云フヤウナ意味ノ御話モアツタノデアリマスガ、單ニ斯ウ云フ法律ヲ今出シマシテモ、之ニ伴フ所ノ經濟的ノ基礎ヲ與ヘル、町村團體ニ對シテ、或ハ森林組合等ニ對シテ、積極的ニ助成スルヤウナ方法ヲ具體的ニ立テナケレバ、私ハ所謂佛作ツテ魂入レズト云フヤウナ結果ニナルコトヲ憂ヘル者デアリマス、モツト此ノ方面ニ對シテ政府ニ於テハ積極的ニ御考ニナツテ、單ニ法文ノ改正ト云フコトノミ止マルコトナクシテ、本法改正ノ趣旨徹底ノ上カラ、一段ノ御考慮ヲ私ハ御願致シタイト思フノデアリマス、只今林道ノ開鑿ニ對スル補助ト云フヤウナ御話モアツタガ、是ハ從來カラアツタコトノヤウニ思ハレマス、此ノ問題ニ關聯シマシテ私一寸御伺シタイノデアリマス、殊ニ最近「パルプ」原木ノ供給ノ問題ハ、非常ニ重大ニナツテ來テ居ルノデアリマシテ、「パルプ」原木ハ主トシテ國有林地帯ノ山ノ奥ノ、而モ地理的ニ非常ニ不便ナ場所カラ搬出スル場合ガ多イダラウト思フノデアリマ

ス、是ハ一ツノ例デアリマスガ、秋田ノ營林局デハ島海山麓ニアリマス千古斧鉞ヲ入レザル天然木、之ヲ一箇年二十万石ノ原木ヲ搬出スルト云フ計畫ヲ立テラレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、之ニ必要ナル所謂林道ノ開發ト云フヤウナコトハ、缺クベカラザル要件デアルヤウデアリマスガ、最近鐵材ノ使用ノ制限ト云フコトハ、申スマデモナク御承知ノ通りデアリマシテ、林道ヲ開發シマシテモ、斯ウ云フ「パルプ」ノ原料トナルベキ原木ヲ、山ノ奥カラ搬出スルト云フガ爲ニハ、此ノ鐵材ノ使用ガ制限サレテ居リマス爲ニ、軌道ノ關係ニ私ハ非常ニ重大ナル影響ヲ齎スモノデハナイカト云フコトヲ心配シテ居ルノデアリマス、此ノ鐵材使用ノ關係、現在鐵道デアリマシテモ鐵ヲ節約シナケレバナラナイ關係デ、鐵道ノ建設計畫モ全然止メテ居ルヤウナ現状ニアルノデアリマシテ、果シテ農林省ノ今「パルプ」原木ノ搬出ト云フヤウナ方面ニ、鐵材ヲ使用スルコトガ出來ルカドウカト云フコトノ問題ヲ併セ考ヘテ見マス場合ニハ、極メテ重大ナ問題ノヤウニモ思ハレマスノデ、之ニ對スル對策ヲ私ハ御伺シタイノデアリマス、是ハ林業開發上ニ非常ニ障礙トナル問題デアルトモ思ハレマ

スノデ、鐵材供給ノ問題ニ對シテハ、ドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、之ヲ御伺シタイト思ヒマス

○松村政府委員 只今御話ノ點、即チ森林政策ニ對シテ、唯法規ヲ以テ其ノ達成ヲ圖ルト云フコトハ出來ナイノデアツテ、相當ノ助成ヲセネバナラヌト云フ御話デアリマスガ、ソレハ其ノ通りデアリマス、併シナガラ私共ノ考ヘ方ハ、林業家ニ根本ニ於テ政府ノ力ニ依存セシムルト云フヤウナ考ヲ持タセルト云フヤウナコトハ宜シクアリマセヌカラ、建前ハ何處マデモサウ云フ力ニ依存シナイデ、自分デヤツテ行ケル、而モソレガ經濟的ニヤツテ行ケルト云フコトヲ根柢トシナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、併シナガラソレハ中々今日ノ狀態デハ、殊ニ非常ニ長イ期間ヲ要スル森林事業ニハ、其ノ通りニモ行カヌコトデアリマスカラ、之ニ對スル助成ハ或ル程度マデハ是非必要デアル、サウシテ林業家自身ノ努力ト國ノ助成、更ニ法規ノ保護トニ依ツテ、初メテ本當ノ林政ノ實ヲ擧ゲルコトガ出來ルト思ツテ居リマス、隨テ此ノ助成ニ付キマシテモ、今日ノヤリ方ヲ以テ勿論十分デアルトハ考ヘテ居リマセヌデ、例ヘバ昨日モ山林當局ノ方カラ御答モアリマシタ通りニ、植

栽ノ助成ノ如キモ現在ノ狀態デハ足りマセヌノデ、十分ノ助成ヲシテ、此ノ法案ノ施行ト相俟ツテ效果ヲ擧ゲタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ今御話ノ林道ノコト、殊ニ材木運搬ニ要スル鐵其ノ他ノ資材ニ付キマシテハ、御話ノ通りデアリマシテ、私共ハ林道ニ付キマシテハ、近年是程山村ノ施設トシテ效果ヲ擧ゲテ居ルモノハナイト思ヒマス、齋藤内閣ノ時以來ノ農山村救済ノ事業ノ中デ、目立ツテ效果ヲ擧ゲテ居リマスノハ林道デアルコトハ、申スマデモナイコトデアリマスガ、之ヲ今日或ハ薪炭材或ハ木材ヲ出シマスノニ、全力ヲ擧ゲテヤリタイ、今年アタリモ或ハ一ツ追加豫算ニ、ウシント出シタイト考ヘテ居ツタノデアリマスガ、モウ時ガ遅クテ、今度ノ追加豫算ニハ出スコトガ出來マセヌケレドモ、其ノ考ヲ以テ此ノ次カラハヤリタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、鐵ノ資材ニ付キマシテハ、島海山麓ノ開發ノミナラズ、他ニモ鐵材ノ不足ノ爲ニ非常ニ困ツテ居ル所ガアリマス、是ハ山林ノ開發ノミナラズ、其ノ他水利ノ上カラ言ヒマシテモ、改良ノ上カラ言ツテモ、鐵材ノ足ラナイコトノ爲ニ、非常ニ困ツテ居ルデアリマシテ、之ニ對シテモ商工省其ノ他ト打合ヲ致シマシテ、出來ル

ダケノ資材ヲ取リタイト思ツテ、大イニ努力致シテ居ル所デアリマス、只今ハ非常ニ困難ハ致シテ居リマスケレドモ、漸次鐵ノ供給ガ裕カニナルニ從ツテ、遠カラズ我が農林關係ニ於テ要求スルモノハ、或ル程度マデハ得ラレルコトデアラウト考ヘテ居リマス

○小山田委員 先程伊東君ノ方カラモ御質問ガアツタノデアリマスガ、國有林野ノ所在町村ニ對スル交付金ノ問題デアリマス、大臣ノ御答辯ハ頗ル模糊トシテ捕捉スルコトガ出來ナイ、色々御考慮ヲナサルヤウナ御御答辯デアツタノデアリマスガ、私ハモツト此ノ問題ヲ眞劍ニ農林當局ニ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、現在地方經濟ガ漸次萎靡不振ニ陥ツテ居ルト云フコトハ、山林方面カラ考ヘテ見マスト、民有林野ノ荒廢ガ益々甚シキヲ加ヘルト云フコトニナルノデアリマス、此ノ地方ノ財政經濟ヲ窮迫ナラシメル一ツノ大キナ原因トシテ、此ノ課稅財源デアルベキ所ノ土地ガ國有林野ニ屬スル爲ニ、之ニ對シテ稅金ヲ課シ得ナイト云フコトガ擧ゲラレテ居ルノデアリマス、殊ニ山林ニ於キマシテハ最モ其ノ影響ガ大キイノデアリマシテ、成程政府ニ於キマシテハ、現在國有林野所在町村ニ對シテ

ハ、大體地租附加稅ニ相當スル所ノ交付金ヲ下付シテ居ルノデアリマスケレドモ、餘リニソレデハ效果ガ微弱デアリマシテ、到底ソレニ依ツテ山村ガ民有林野ニ相當スル所ノ課稅ヲ爲シ得ナイ結果ヲ見テ居ルノデアリマス、國有林野ノ面積ガ多イ程、其ノ地方ノ財政ガ窮迫ニ陥ルト云フヤウナ現象ヲ呈シテ居ルノデアリマシテ、是ハ國トシマシテハ、一ツ眞劍ニ御考慮ヲ私ハ御願シナケレバナラス所ノ重大ナ問題デアルト思ツテ居リマス、單ニ國有林野ノ地租附加稅ニ相當スル所ノ稅額ヲ交付金トシテ交付スルト云フコトバカリデハ甚ダ不合理デアル、ヤハリ其ノ收益課稅ト云フ點ニ付テモ相當考慮シナケレバナナイモノデアルト信ジテ居リマス、東北地方ニ於キマシテハ、交付金ヲ下付サレテ居ルノデアリマスガ、課稅財源ノ衡平ヲ期スルト云フ意味ニ於キマシテモ、民有林野ノ課稅率ニ依ル所ノ地方稅額ニ相當スル交付金ノ下付ヲシナケレバナナイモノデハナイカ、サウデナケレバ課稅財源ニ對シテ甚ダ均衡ヲ缺クト云フ結果ニナルノデアリマシテ、此ノ問題ハ國有林野處在町村多年ノ叫ビデアリマス、併シ未ダニ解決セラレナイ儘ニ放任セラレテ居リマスノハ、所謂林業開發、

山村振興ノ爲ニ甚ダ不合理ノコトデアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、一面此ノ問題ハ單ニ地方財政ノ窮乏ヲ救フ爲ノ合理的ノ解決ノ方策デアルバカリデナク、之ニ依ツテ多年荒廢地ヲ拂フ狀態ニアル所ノ林野開發ノ資ヲ得ル爲ニモ、又此ノ改正法律案ノ趣旨ニ副フ爲ニモ、一ツ此ノ交付金ノ問題、即チ民有林野ノ課稅率ニ依ル所ノ地方稅額ニ相當スル交付金ヲ下付スベキモノデアルト云フコトヲ私ハ考ヘマスルガ故ニ、先程農林大臣ノ御答辯ガアツタノデアリマスケレドモ、モツト、私ハ徹底シテ、理窟ニ適ツタ御答辯ヲ伺ヒタイト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○松村政府委員 其ノ御話ハ多年ノ懸案デアリマスガ、色々各方面ノ關係モゴザイマシテ、農林省ダケノ考決マルコトデモアリマセヌ爲ニ、先刻大臣ガ申サレタ通り、只今此處デ明確ナ御答辯ヲ申上ゲルコトノ出來ナイコトヲ非常ニ遺憾ト致シマス、唯是ハ申上グルマデモナイコトデアリマシテ、出來得ルダケサウ云フ地方ノ御要望ニハ應ジタイト思ツテ居リマスルノト、又山林局ノ方針ト致シマシテハ——是ハ山林局ト申シマスヨリモ、農林省ノ傳統的ノ方針ト致シマシテハ、ドウカ此ノ事業ハ、其ノ國有林ノアル地方ノ利益ト結ビ付キマシテ、サウシテ共存共榮ノ途ヲ辿ツテ行キタイト云フコトガ在來ノ方針デアリマス、隨テ近來東北地方初メ國有林ノアリマス所ニ農林省トシテヤツテ居リマスコトハ、悉ク此ノ趣旨ニ依ツテヤツテ居リマスノデ、ソレ等ノ例ハ相當ニ多イノデアリマス、農村觀乏ノ際ニ各地ノ營林署ガ其ノ地方ニ對シテ執リマシタコトナドハ能ク御存ジデアリマスガ、是ハ一ニサウ云フ方針カラ割出サレタコトデアリマシテ、今後モ地方ニ對スル交付ノ問題ハソレトシテ又考ヘマスルケレドモ、一ツニハ地方ノ利益ト結ビ付イテヤツテ行キタイ、斯ウ云フ積リデ居ルノデアリマス、是ガ爲ニ稅金其ノ他ノ點ニ付テ、東北地方トシテハ非常ニ御困リノコトハ能ク分ツテ居リマスガ、若シモ是ガ民有林デアツテ、サウシテ今日國有林ガ維持シテ居リマスヤウナ林相ヲ失ツテシマツタ時ニハ、地方ノ不利益ハ今日ヨリモ更ニ一層大キイモノガアツタデアラウ、國有林デアリ、サウシテ地方ト結ビ付イタガ爲ニ、民有林デアツタヨリモ國有林デアツタ方ガ宜イト云フコトハ、吾々モ左様ニ信ジ又將來トモ其ノ意味ヲ更ニ擴充致シタイ、斯ウ

云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小山田委員 非常ニ御親切ナ御答辯ヲ承ツタノデアリマスガ、唯私ノ考ヘマスル重點ハ、國有林野ノ面積ガ多イ程其ノ地方ノ財政ガ窮迫シテ居ルト云フ、其ノ不合理ナ現象ヲ除去スル爲ニ交付金制度ト云フモノヲモット徹底サセナケレバナラナイト云フ一ツノ「イデオロギー」ニ基イテ申上ゲテ居ルノデアリマス、所謂共存共榮ノ趣旨ニ則ツテ現在農林省デオヤリニナツテ居ル事柄ニ對シテハ洵ニ結構ニ考ヘルノデゴザイマスルガ、單ニ共存共榮ト云フヤウナ、其ノ現ヘタ事柄ニ對シテ、其ノ場限りノト申シテハ甚ダ語弊ガアリマスガ、サウ云フコトデナク、モット根本ニ觸レタ農林行政ノ建前デナケレバ本當ニ山村救済、或ハ林業ノ開發ノ根本ノ問題ニ觸レナイコトニナルノデハナイカト云フヤウナ事柄ヲ私ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ對シテハ今後十分ニ御研究ヲ願フテ、無論農林省ダケノ問題デナクシテ、大藏省等ノ問題モアリマスルガ、要スルニ事柄ハ極メテ重大デアリマスノデ、所謂主管省トシテノ農林省ガ之ニ對シテ實力ヲ出サレル場合ニ於キマシテハ、案外私ハ速ニ解決セラルル問題デハナイカトモ考ヘマスルノデ、ヨリ以上ノ御研究ト善處トヲ

私ハ御願致シタイト思ヒマス

次ニ先程カラモ問題ニナツテ居ツタ事柄デアリマスガ、本案ノ第十條或ハ第十一條ノ、伐採ニ關スル問題デアリマス、私有林ニ對スル伐採制限ト云フヤウナコトノ問題ハ、考ヘヤウニ依リマシテハ私有財産ニ對シテ一種ノ制限ヲ加ヘルト云フヤウナコトニモナリマスルノデ、極メテ重大ナ問題デアルト考ヘテ居リマス、先程伊東君ノ御質問ノ中ニ、教育費ヲ生ミ出ス爲ニ植林ヲシテ居ル者ニ對シテ、非常ナ不便ヲ與ヘルノデハナイカト云フヤウナ事柄ガアリマシタノデアリマスガ、單ニ子供ノ教育ノ爲ノ財源トシテ山林ヲ植栽シテ、ソレヲ伐採ガ出來ナイト云フヤウナコトノミノ問題デハナクシテ、詰リ個人ノ生活内容ニ對シテモ法律ガ所謂一種ノ干渉ヲスル、吾々ガ山ニ對シテ植栽ヲシテ、相當ノ年數ヲ經テソレヲ伐採シヨウト思ヒマシテモ、或ハ又生活ノ窮迫ノ爲ニシナケレバナラヌ事柄デアツテモ、ヤハリソコニ一ツノ制限ヲ加ヘラレ、制壓ヲ加ヘラレルト云フコトハ、單ニ是ダケノ問題デハナクシテ、根本的ニ所謂私有財産制度ニ對スル一種ノ制壓ヲ加ヘルト云フヤウナコトニマデモ、考ヲ及ボサナケレバナラナイ問題デハナイカト思フノデ

アリマスガ、事柄ハ極メテ重大デアリマス爲ニ、之ニ對スル政府ノ御見解ハ如何デアリマスルカ、ハツキリト一ツ御伺ヲシテ置キタイト思フ

○松村政府委員 ソレハ先程モ申上ゲマシタガ、之ヲ非常ニ嚴格ナ施業案、其ノ他伐採期ナドニ付キマシテ、嚴格ナ意味ニ御解シ下サイマスナラバ、今御話ノヤウナ御心配ハ確ニアルト存ジマス、併シナガラ先程來モ申シマシタ通りニ、是ハ決シテサウ云フ意味デ國有林同様ノ嚴格ナ施業案ニ依ツテソレヲ厲行スルト云フ意味デハアリマセスノデ、其ノ施業案其ノモノニモ個人ノ經營ノ方針、ソレカラ教育ノ爲ニ伐リタイカラ是カラ樹ヲ植エルト云フヤウナ、ソレ等ノ考ヘ方ニモ應ジテ施業案ヲ立テテ戴キマシテ、伐採ノ期間モ、先程當局カラ申上ゲマシタ通りニ、其ノ時ノ必要ニ應ジテ幾ラモ變更ガ出來、又假ニ餘計伐ツタシテモ、ソレニ對シテ特ニ彼此レ申スヤウナ譯デハナイノデアリマスカラ、サウ云フ意味ニ於テハ相當ニ餘裕ノアル考ヘ方デアツテ、然ラバサウ云フ餘裕ヲ持ツナラバ、ドウモ其ノ實ガ擧ラナイデヤナイカト言ハレマスケレドモ、是ダケノ餘裕ヲ以テシテモ、此ノ法律ガアリマスナラバ、民有林ノ方針ガ

相當ニ目的ヲ達シ得ル、此ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、私有財産ノ制限ト申シマスレバ相當ニ大袈裟ニナリマスケレドモ、以前カラモ林政ニハ相當ニ國ガ干涉シタ、マダノ嚴重ニ干涉シタ例ガ舊藩時代カラ澤山アリマスノデ、例ヘバ東北地方ニ美林ガ残り、殊ニ秋田ノアノ立派ナ美林ガ今日ニ殘ツテ、非常ナ國ノ用ニナツテ居リマスコトモ、アノ藩政時代ニ相當ナ強イ藩ノ力ヲ以テアノ林政ヲ維持シタノガ原因デアリマスコトハ御承知ノ通デアリマスカラ、今日ノミナラズ、ズット藩政以來ノ方針デアリマシテ、林政ト云フモノハ大體國ノ力ガ或ル程度マデ加ハラナクテハナラヌノデハナイカ、而モ其ノ加ハリ方ガ強烈ナ加ハリ方デハイケマセスノデ、ソコニ相當ニ伸縮ノアル力ノ加ハリ方、法ノ行届キ方ニ依ツテ林政ノ目的ガ達セラレル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、強イ意味デナイコトヲ御諒承願ヒタイト存ジマス

○小山田委員 只今ノ農林次官ノ御答辯ニ依ツテ諒解致シマシタガ農林當局ノ御方針ガサウデアリマシテモ、ドウモ地方廳ナドデハ一旦確定致シタ施業案ニ對シテハ、ソレヲ變更スル、或ハ森林ノ所有者ノ申出ニ依ツテ彈力ノアルヤウナ措置ヲ講ジテ下サルト云

フヤウナコトハ、甚ダ稀デアルノデアリマス、
本法ノ只今ノ御説明ノ趣旨ヲ能ク徹底サセ
マシテ、本案ノ運用ノ上ニ遺憾ノナイヤウ

ヤウニ御願致シマス、本日ハ之ヲ以テ散會
致シマス

午後五時三十七分散會

ニセラレタイト云フコトヲ、私ハ御願ヲ致シ
タイト思フノデアリマス、尙ホ色々質問シ
タイノデアリマスガ、大體前ノ質問者ニ依
ツテ盡サレテ居ル事柄モアリマスルシ、時
間モ經過シテ居リマスノデ、私ハ此ノ程度
デ質問ヲ打切りタイト思ヒマス

○松村政府委員 只今御答致シタ趣旨ヲ十
分ニ徹底スルヤウニト云フ御注意ハ御尤デ
アリマスノデ此ノ案ガ通りマシタナラバ、
政府ガ屢申シタ如キ方針ニ悖ラナイヤウ
ニ、一ツ府縣ニ能ク徹底スルヤウニ致シマ
ス

○小山委員長 本日ハ此ノ程度ニ止メテ、
次回ノ委員會ハ明日午前十時ヨリ致シタイ
ト思ヒマス、明日ノ質問ハ伊藤委員ヨリ進
メテ貰ヒタイト思ヒマス

○伊藤委員 明日ハ荒木文部大臣ノ御出席
ヲ願フヤウニシテ戴キタイ

○小山委員長 御答致シマス、荒木文部大
臣ハ明日ハ貴族院ノ豫算總會ノ方デ相當長
時間答辯ノ必要ガアルヤウデアリマス、午
前十時ニコチラニ出席シテ貰フヤウニ打合
セシテ戴キマシタカラ、正確ニ開會出來ル